

## 平成 28 年度授業評価実施結果についての概要

東京医療保健大学医療保健学部  
助産学専攻科

- 本学では、毎年度全授業科目について学生による授業評価を実施しています。この授業評価結果については当該教員に配布し、記述内容を確認した後、調査結果に対する感想及び授業内容・方法への改善などの取り組みについて記述したレポートを各教員から直接各学科長等に提出することとしており、各学科長等は感想をまとめ学科長会議で報告した後、授業評価結果と併せて公表しております。
- 授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか。」及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。」について尋ねる記述式の質問を加えております。
- 授業評価結果の各質問項目別の集計結果については、「そう思う」、「ややそう思う」、「どちらともいえない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」及び「無回答」のそれぞれの割合(%)により表記しております。また、自由記述については、「授業に対する肯定的評価」、「授業に対する要望等」及び「施設・設備等に関する要望等」について、その内容の主なものを表記しております。
- 平成 28 年度の授業評価結果では「講義・演習科目」と「実習・実験科目」における共通質問項目について、肯定的な回答の「そう思う」及び「ややそう思う」の割合の前年度との比較でみるとポイントの高い順では、次のとおりです。

		前年度
・ 学生として、自分自身の授業態度について	81.7%	(81.2%)
・ 教員の姿勢について	76.4%	(76.6%)
・ 教員の教え方について	76.0%	(75.9%)
・ 授業内容について	75.2%	(74.6%)

- 授業評価結果の経年比較では、年度によって各項目のポイントに多少の増減が見られますが、授業評価実施の効果が確実に上がっており学生及び教員の双方に、良い結果をもたらしていると評価することができます。これらの集計結果を公表することにより、授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるものと判断されます。

## 平成 28 年度 医療保健学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部看護学科長  
坂本 すが

### 1. 授業評価の結果について

- 授業・実習ともに比較的高い評価を得られており、これからも学生の意欲に応え、取り組みを支援する授業を提供したいと思います。
- 少数ではありますが、評価の低い回答がありました。今年度は新カリキュラム導入後 2 年目を迎えますが、新カリキュラムは全学年に適用されていないこともあり、満足度や学習意欲に差が見られます。今後は、学生自身が主体的に学習できる教育方法をさらに取り入れ、学科全体で改善・工夫を重ねていきます。

### 2. 授業において工夫した点について

- 基礎実習では、往還型の学習システムを取り入れていますが、学習の順序を考慮しながら、実習で活用できる実践的な資料を作成するなど、教材も工夫しました。評価は追って行っています。
- 学生が明確な目標をもって学べるように、ルーブリック表を用いて評価を行いました。縦軸に学習内容と評価の視点、横軸に到達度を明示し、多くの教員が同じ視点で、公平に評価できるように工夫したものです。
- また、学生にも公表されていることから、学生自身も目標が明確にでき、教員と目標を共有しながら進めていける評価システムだと考えています。
- 今後、基礎領域で継続的に評価・改善をしながら、全領域に導入できるかどうか、検討していきたいと考えています。

### 3. 今後の授業への生かし方について

- 新カリキュラムは導入後 2 年目ですが、学生からの評価を真摯に受け止め、改善していきたいと考えています。
- 特に、今後も重点をおくのは、学生が主体的に学ぶことです。学生の関心を引き出し、主体的な取り組みを促進するために、グループダイナミクスの活用や、学生のモチベーションに働きかける工夫、教材やテーマなどを工夫していきます。
- 具体的には、小テストや中間テスト等のフィードバックを充実させるほか、よりリアルな体験ができるように、今後は、授業における患者の参加(模擬患者など)も検討していきたいと思っています。

### 4. その他

- 今回、良い評価をいただいた項目については、今後も継続しながら、興味のわく授業になるよう、内容の更新や改善を重ねていきます。
- 厳しい評価をいただいた項目については、学生の現状の能力や多様なニーズに対応できるプログラムや資料を作成し、授業内容をわかりやすく伝える等、支援体制を検討していきたいと考えています。
- また、社会の変化が激しい時代、未来を担っていく学生が、さらなる未知の課題を乗り換えるために必要な力を身に付けられるよう、教員自らも「先を見る力」を養い、学生を支援していく必要があると考えています。

## 平成 28 年度 医療栄養学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療栄養学科長  
小西 敏郎

医療栄養学科では、社会で活躍できる優れた管理栄養士の育成を目指し、卒業時には学生全員が管理栄養士国家試験に合格できることを目標に授業を行っています。そのために、学科の教員全員が、毎年学生の皆さんからいただく授業評価を参考にして、それぞれが授業の改善・工夫の努力をしています。

本年度の評価をまとめると、多くの授業は非常によい評価を受けているので、学生の多くは集中して授業に取り組めたものと判断しています。しかし、厳しい評価の授業もあり、また具体的な問題点や改善希望の指摘も多くいただいたので、授業改善のためにさらなる努力を重ねていく必要があると考えています。以下に教員の主な意見をまとめました。

### 1. 授業評価に関する感想

厳しい評価を受けた授業だけでなく、よい評価を受けた授業も、教員はさらなる改善に取り組んでいます。全体的な評価点数だけでなく、個々の学生の意見も参考にして、学生が何を授業に期待しているか、どのような点を不満に感じているかを判断しながら、来年度以降の授業改善を図っていきたいと考えています。そして、学生の皆さんが教員に対して、授業中に感じた不満点を指摘したり、あるいは改善希望点を具体的に提案できるように、教員も努力したいと思います。

### 2. 授業において工夫した点について

これまで少なかった「アクティブラーニング」をもっともっと取り入れる必要があると、ほとんどの教員は感じており、授業の中に学生参加型スタイルを取り入れるように改善しています。ミニテストや宿題形式で、前回の授業のまとめを次回の授業の冒頭に行っている教員が増えていますが、その際に、ミニテストの解答を学生がプレゼンテーションすることで、学生参加型の機会を増やす工夫をしています。また、東京都食育フェアにクラス全員が参加するように改善したり、授業中に Q&A 形式の講義で学生が発言する機会を設ける工夫も行っています。

これまでスライドよりも板書を重視した授業を行ってきた教員もいますが、「字が読み難い」「内容が理解しにくい」「ノートがとりにくい」との投書が多いことから、スライドとプリント配付に切り替えることが多くなっています。またプリントは重要な部分を空白にして、授業中に学生自身が書き込むようにすることや、重要箇所はカラーや太字とすることなどで、学生の注意力・集中力を高めるようにしています。

毎回の授業にミニテストを取り入れて、前回の授業を復習できるようにしている教員が増えていますが、なかにはミニテストに、学生からの質問や希望を

学生が書き込める欄をつくり、次回の授業でそれを取りあげることで、より多くの学生が重要点が理解できるように改善を図っています。授業によっては、授業の終わりに「まとめ」を行うことで、学生の理解度が増してきているように感じている教員もいます。このように授業ごとに講義内容を整理する方法を変えていく工夫を取り入れています。

### 3. 今後の授業について

今年度の新学年から新カリキュラムによる授業が開始されました。今後、科目間の流れもよくなり、授業展開も大きく改善されていくことと思います。

自由記載で「レジュメがわかりやすかった」という意見もありました。しかし、「字が小さい」あるいは「背景が黒のスライドのプリントでは字の書き込みが難しい」との意見もいただきました。また教員によっては、自由記載欄で「テンポの良い授業なので集中できた」「楽しく授業を受けることができた」とよい評価を受けた反面「スライドの切り替えが早い」「レジュメの字が小さく読み難い」などと逆に厳しい意見もありました。このような場合は、今後ノートを書き写す時間にも配慮したり、レジュメの内容を改善・工夫していきたいと教員は考えています。評価が低い、あるいは厳しい指摘の項目については、反省して改善し、来年以降の授業計画や授業展開に積極的に反映していきます。

多くの教員は、同じ授業を同じように行っても、学年やクラスによって学生の授業中の態度や授業に対する評価が異なることが少なくないと感じています。学年、クラスによって学生の傾向や雰囲気異なることが今回の評価を分析してもよく理解できました。これからは、年度ごとに、あるいはクラスごとに、授業中の学生の状態や反応を見極めて、同一の授業方法ではなく、授業展開を変えていく工夫をいたします。

また基礎学力が足りないことから授業の理解が不十分で不満をもつ学生がいるのも確かなので、そのような学生を早く見出し、できるだけ多くの学生が理解できるような授業方法を考えていきたいと、多くの教員は考えています。

### 4. 学生に対して

授業中に私語を交わす、居眠りする学生が少なくありません。「授業がつまらない」「わかりにくい」「専門すぎる」「なぜこの授業が自分に必要なかわからない」などが理由と思われます。教員も学生がもっと熱心に授業を受けようになればと授業の改善を考えていますので、学生も具体的な改善点の希望があれば教員に伝えるようにしてほしいと思います。

能力、意欲に大きく個人差のある学生諸君に対して、学ぶことの楽しさや学び方に学生が興味を持って取り組めるように、教員全体が熱意をもって授業改善に努めて取り組んでいます。学生諸君は、それをよく理解して、授業中に自分が理解できないことがあれば、自ら質問し、不満があればその都度教員に伝えてもらいたいと思います。むしろ教員から学生諸君に質問はないか問いかけても反応がないことが多いので、もし、授業中に質問するのは恥ずかしい、気後れがするようならば、授業終了後でも構わないので、どんどん質問し、また意見を述べてほしいと思います。

## 平成 28 年度 医療情報学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療情報学科長  
石原 照夫

### 1. 授業評価結果アンケート結果の感想

- 本学科の場合、多くの科目で各評価項目の得点が全科目平均よりも低い評価になっています。この結果は、真摯に受け止め、各科目で分析・検討し、今後の授業計画に反映させていきたいと思えます。
- これまでの授業評価結果に基づいて、講義内容の変更や講義方法の改善に努めた科目の中には、必ずしも学生による評価の向上につながっていないものがあります。この点については更なる改善に取り組んでいきたいと思えます。
- 2 クラス展開の授業では、授業内容が同じにもかかわらず、評価がクラスによって異なる結果がみられています。クラス毎の学生の理解度をチェックしながら、きめ細かな講義の調整が必要と感じました。
- 複数科目を担当している教員の場合、科目によって評価が大きく異なるものが見受けられます。各教員においてその背景(教員の得意分野か否か、科目特性にあった講義方法を行っているか否か、学生の理解度のチェックは十分か等)を分析して、改善に結びつけていきたいと思えます。
- 重要項目が不明の配付資料があるとの指摘を受けました。科目によって資料配付の目的が異なると思えますが、授業中にその配付の目的を説明すると同時に、分かりやすい資料の作成に努めるようにいたします。
- 1 年次、2 年次の臨床医学総論・各論等の医学的な内容に関する科目の評価が低くなっています。また、これらの科目については、特に私語が多く、授業環境が悪く、その対応を求める意見が多く見られます。授業内容のレベル(専門的な内容)、一方向的な座学中心であることにその一因があると思えます。

将来、実際に患者を診療することになるのであれば、積極的なアクティブ・ラーニングの活用を考えますが、医学・医療の現場を知る、診療録の内容を理解できるようにするというところに到達目標が設定されると、最初の段階ではどうしても知識中心の座学にならざるを得ない面があるかと思えます。医学においては反復学習が重要ですが、本学科の科目構成もその配慮がなされ、これら科目の内容は応用臨床医学、診療情報論演習、医療管理総論で違った観点からの授業が組まれています。また、これらの科目ではアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れているものもあります。医療・医学に対する個々の学生の関心の程度にはむらがあることから、専門的内容に偏り空回りしないように配慮し、医学への入門編である臨床医学総論・各論では網羅的でなく、ポイントを絞った、ゆったりした講義を検討していきたいと思えます。また、私語については、集中力が途切れないような授業を工夫しますが、注意喚起も厳しく行いたいと思えます。ただ、他の科目でも私語が問題となっているものがあり、推移によっては、学科としての統一した対応を考えたいと思えます。

- 患者シミュレータや教育用電子カルテ等の整備を行い、アクティブラーニングを行いやすい環境にした科目では、学生評価は例年同様平均的なものでした。原因を分析しつつ、改善に努めていきたいと思えます。
- 情報系の科目では、例えば情報ワークショップⅡのように新しい技術について講義をする時に内容をどのレベルに設定すればよいのか、判断が難しい点があります。28年度は多くの学生に理解してもらうために、一定レベルに内容を設定し、教材を選択しましたが、満足できない学生が多い結果になってしまいました。今回の授業結果で平均的なレベルが把握できましたので、次年度から修正したいと考えています。

## 2. 授業において工夫した点について

すべての科目に共通した工夫は行っていませんが、科目の特性を考慮に入れ、各担当教員によって次のような工夫を行いました。なお、平成 28 年度入学生からは新カリキュラムを導入し、体験型学習を増加させています。

- 自学自習のための工夫
  - ・ デスクネットに事前・事後学習を準備したこと(医療情報総合演習Ⅱ)。
  - ・ 演習問題を多くして、自学自習のための素材を提供、予習の習慣をつけるために予習テストを実施(プログラミング演習Ⅰ)。
  - ・ 過去の講義の配付資料と講義動画を閲覧できるように「講義アーカイブ」サイトを設置(情報システム開発論)。
- 授業内容の工夫
  - ・ 講義の最初に授業に期待するもの、情報関連の知識、将来の就職についてのアンケートをとり、その結果を授業に反映(地域医療情報システム論)。
  - ・ 病院での経営管理部門の責任者による講演と見学(医療産業研究)。
  - ・ 就職試験のグループ面接に備え、グループでの議論や即興的表現の練習(キャリア教育Ⅱ)。
  - ・ 実験科目では実験前に、内容の理解を進めるために演習問題を追加。
  - ・ 資格試験に対応した授業では、講義を 30-60 分とし、演習主体の授業としたこと(応用医療管理学)。
  - ・ 診療情報管理士認定試験対応の授業では、過去問が公開されていないので、受験した学生から聞き取った問題について小テストに取り込んだり、解説を行ったこと。
  - ・ 患者シミュレータを用いた電子カルテ記載体験のブラッシュアップを行い、会話の記録を取りやすくするため部分的に合成音声を採用(医療情報総合演習Ⅳ)。
  - ・ DPC の公開データを用いた演習(医療情報総合演習Ⅳ)。
  - ・ 病院実習では、クリティカルパス委員会を実習引き受け部門とする新たな形態の実習を導入。
  - ・ 医学系の授業では、理解しやすいように病態生理をできるだけ図表化。
  - ・ 配付資料に穴埋め箇所やメモを取るスペースを設けたこと(情報システム開発論)。
  - ・ グループ毎の演習の進捗状況に差がでず、落ちこぼれがでないようにするため、PC での操作や分析方法、背景などを細かくマニュアル化したこと(生体情報演習Ⅰ)。

- ・ 学びを共有することで主体的な学びが広がるようにシンク・ペア・シェア法を導入(データベース論)。
- 学生の理解度等のチェックと対応
  - ・ 提出課題に対してのコメントの充実(情報システム開発論、IT 入門)。
  - ・ 学生の集中時間が短いクラスでは、小テストの回数を増加(英会話)。
  - ・ 重要項目について授業終了時にミニテスト・レポートを課し、全学生の理解度を評価し、次回授業で理解が不十分な点を重点的に復習するようにしたこと(臨床医学総論、臨床医学各論 I・II・V)

### 3. 今後の授業にどう生かすか

- 全科目において、授業開始時に他の科目との関連性をより明確化したいと考えています。
- 対外活動(学会、国際モダンホスピタルショウ等への参加)は、学生にとって重要な課外学習と考えています。その場合の授業振替が負担をもたらすことも起こりえますので、他の科目とも調整して負荷がかからないようにしていきたいと考えます。
- キャリア教育 II では就職活動での企業選択やインターンシップでのグループワークでも活用できる内容を加えていきます。
- 医療産業研究では医業経営コンサルタントの資格試験の対策の一環として、概念の理解を深めるために財務分析シミュレーションや TMQ 演習などを実施したいと考えています。
- DPC 公開データを用いた演習では、学生ならではの新鮮な視点からの分析がみられ、有意義な演習だったと思われますので、今後もこのような医療ビッグデータを用いた演習を増やしていきたいと考えています。
- 医療情報の重要な源の一つである診療記録を通じ人体の構造・機能や病態生理を考え、診療情報の奥深さに興味を持てるように支援していくようにしたいと思います。
- 病院実習は学生にとって貴重な体験と考えていますので、今後も多様な実習形態を開拓し、学生のニーズに合った実習ができるよう取り組んでいきたいと考えております。

### 4. その他

- 授業評価を次年度の授業に生かせるように、結果が早く(当該年度 3 月末)出るようなアンケート法を考えて頂けたらと思います。授業の印象が残っているうちに評価を頂くと、改善の取り組みも円滑になるように思います。
- 集計結果に、学科平均値、度数分布も知らせていただくと分析、改善策の検討に役立つのではないかと考えます。本学科の学生の各科目への意欲や意識には二極化の傾向がみられます。また、自由記述では「分かりやすかった」とあっても、各質問内容の評価では全科目平均よりも低くなっていることが少なくありません。高評価群と低評価群に値が分かれる二極分布なのか、平均値付近に値が集まっている正規分布なのか、分布とコメント内容を合わせて改善の手がかりにしたいと考えています。また、各項目の結果をレーダーチャートなどを用いて表示して頂けると、比較も容易になると思いますので、ご検討いただくと有り難いです。

## 平成 28 年度 助産学専攻科の授業評価結果に対する考察

助産学専攻科長 坂本 すが

### 1. 授業評価に関する感想

- 1) 助産学専攻科の科目全体において 4.2 以上の評価であり、助産学実習全体の評価は 4.3 以上でした。学生が自ら評価する「意欲的に授業に出席したかどうか」の項目では、学生の出席率が高い点になっていました。学生にとってより重要である「授業内容がよく理解できたか」という評価も同様でした。
- 2) 幅広い知識や技術を得るために、医師や多分野の講師による授業展開、また、授業の一環としてセミナーや学会に参加することなどを盛り込むことで周産期医療の最新の動きを理解することに繋がっていると考えています。
- 3) 教員の姿勢については、助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱなど、課題に対する症例検討やグループワーク、記録の方法などに関して、2年前に教員による指導の違いなどの指摘を受けました。今年度はそのような指摘はありませんでしたが、今後も学生が授業を理解し、分かる授業を目指していきます。

### 2. 授業において工夫した点について

- 1) 授業等では、授業と演習科目の連動を意識し、進行状況に合わせて具体的な支援方法について教員間であらかじめ詳細にすり合わせをして授業に望むことを継続しています。
- 2) 演習形式の授業は、学生の理解度が図れるように、デモンストレーションや質問への対応などのため、複数の教員で対応しています。
- 3) 実習開始後に全体で帰校する日程を調整し、全学生に対して、臨地実習における実際例での分娩記録などの展開に関する問題や課題を検討し、施行の訓練などを実施しています。分娩時の助産診断などの理解に繋いでいます。
- 4) 学生の実践力を高めるために、シナリオディベートなどを導入して、実践の中から学生の聞く力や伝える力、考える力などの育成に反映させています。

### 3. 今後の授業について

授業や実習の評価を分析し、課題やグループワークの持ち方など、教員間での授業や実習などの教育目標や指導方針を十分に共有してよい授業や教育が行えるように発展させていきます。

### 4. 学生に対して

助産学専攻科においては、大学を卒業し、すでに看護師の国家試験に合格し、国家資格を持った方々を対象として助産師を育成しております。助産学の修得には、大変な分娩介助実習等の壁を越えなければいけません、そのためにも学生の皆さんには学びに対して自立した姿勢が求められます。今後、助産師として自ら考え行動できる能力を培えるように一緒に頑張っていきたいと思います。

## 平成28年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○全科目数 340科目    ○調査対象者数 23,623人（延人数）  
 ○総回答数 20,274枚（回答率 85.8%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果  
 〈上段（ ）は平成27年度アンケート結果〉  
 〈質問項目番号の（ ）は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉

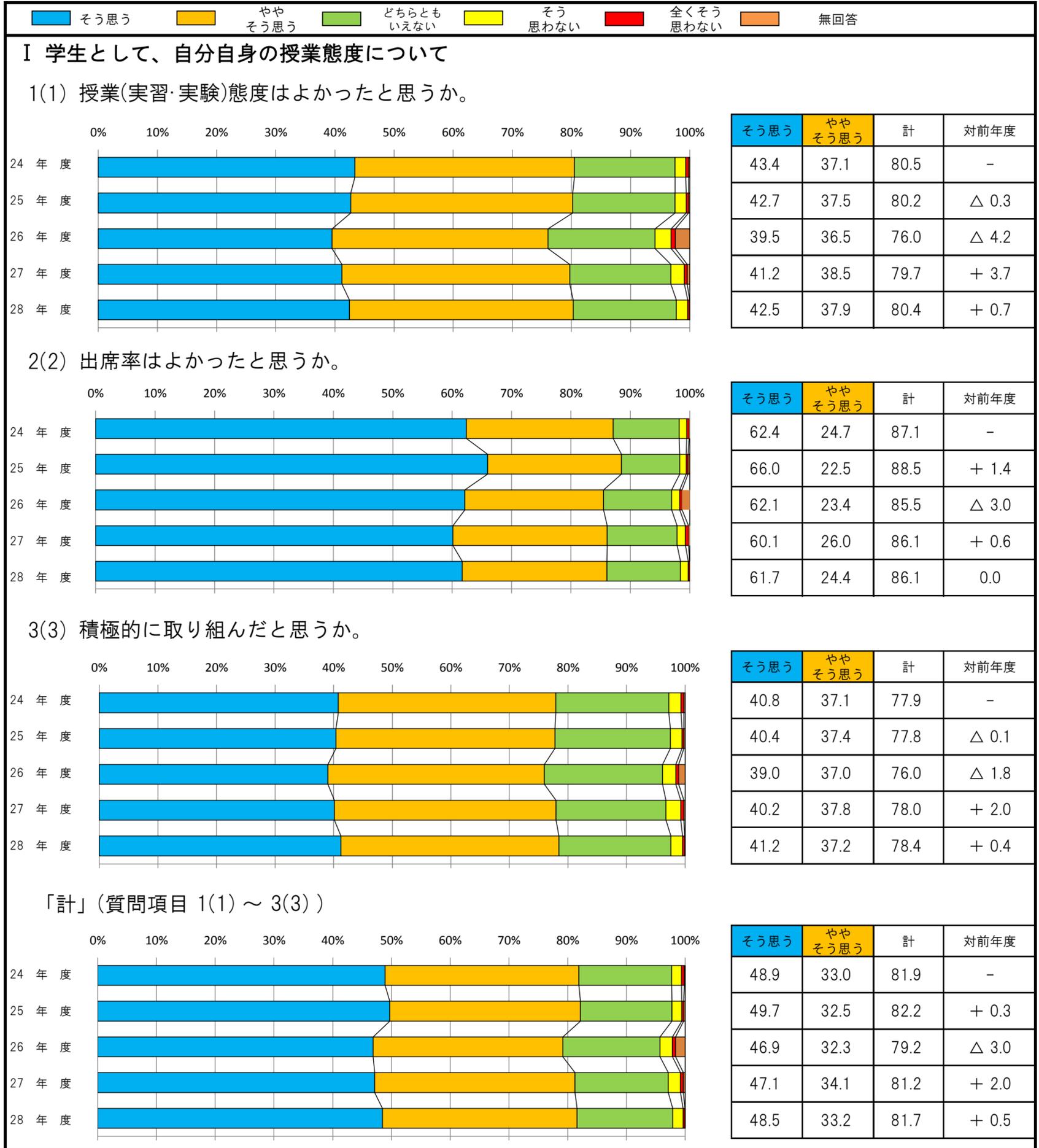
質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
<b>I 学生として、自分自身の授業態度について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)態度はよかったと思うか。	(41.2)	(38.5)	(17.1)	(2.3)	(0.5)	(0.4)	(100)
	42.5	37.9	17.4	1.9	0.3	0.0	100
2(2) 出席率はよかったと思うか。	(60.1)	(26.0)	(11.8)	(1.4)	(0.5)	(0.2)	(100)
	61.7	24.4	12.4	1.3	0.2	0.0	100
3(3) 積極的に取り組んだと思うか。	(40.2)	(37.8)	(18.8)	(2.5)	(0.5)	(0.2)	(100)
	41.2	37.2	19.1	2.0	0.4	0.1	100
計	(47.1)	(34.1)	(15.9)	(2.1)	(0.5)	(0.3)	(100)
	48.5	33.2	16.3	1.7	0.3	0.0	100
<b>II 授業内容について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)に興味・関心が持てたと思うか。	(34.8)	(40.7)	(19.5)	(3.4)	(1.1)	(0.5)	(100)
	35.3	40.9	20.0	2.9	0.8	0.1	100
5(5) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(29.2)	(41.4)	(23.3)	(4.4)	(1.2)	(0.5)	(100)
	29.2	41.8	23.8	4.0	1.2	0.0	100
6(6) この授業(実習・実験)内容は将来役立つと思うか。	(40.8)	(37.0)	(18.1)	(2.6)	(1.1)	(0.4)	(100)
	41.6	36.7	18.6	2.4	0.7	0.0	100
計	(34.9)	(39.7)	(20.3)	(3.5)	(1.1)	(0.5)	(100)
	35.4	39.8	20.8	3.1	0.9	0.0	100
<b>III 教員の教え方について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(7) 授業(実習・実験)はシラバスに沿って行われたと思うか。	(39.8)	(37.5)	(19.0)	(2.2)	(0.8)	(0.7)	(100)
	40.0	37.3	20.4	1.8	0.5	0.0	100
14(9) 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(37.6)	(36.8)	(20.8)	(2.7)	(1.2)	(0.9)	(100)
	38.1	36.6	21.5	2.8	0.9	0.1	100
計	(38.7)	(37.2)	(19.9)	(2.4)	(1.0)	(0.8)	(100)
	39.0	37.0	20.9	2.3	0.7	0.1	100
<b>IV 教員の姿勢について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15(10) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(40.3)	(37.3)	(17.8)	(2.7)	(1.2)	(0.7)	(100)
	40.3	37.2	19.0	2.5	0.8	0.2	100
16(11) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(41.9)	(36.4)	(17.2)	(2.2)	(1.1)	(1.2)	(100)
	42.2	36.3	18.4	2.2	0.7	0.2	100
17(12) 教員は学生のレベルを把握して授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(36.0)	(37.9)	(20.2)	(3.4)	(1.6)	(0.9)	(100)
	35.9	37.3	21.9	3.3	1.3	0.3	100
計	(39.4)	(37.2)	(18.4)	(2.8)	(1.3)	(0.9)	(100)
	39.5	36.9	19.8	2.6	1.0	0.2	100
<b>V 総合評価</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
18(13) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(34.5)	(37.7)	(19.3)	(3.0)	(1.4)	(4.1)	(100)
	34.7	39.1	20.1	2.9	1.1	2.1	100
<b>全質問項目の平均</b>	(39.7)	(37.1)	(18.6)	(2.7)	(1.0)	(0.9)	(100)
	40.2	36.9	19.4	2.5	0.7	0.3	100

# 授業評価アンケート集計結果 年度別比較

## ◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

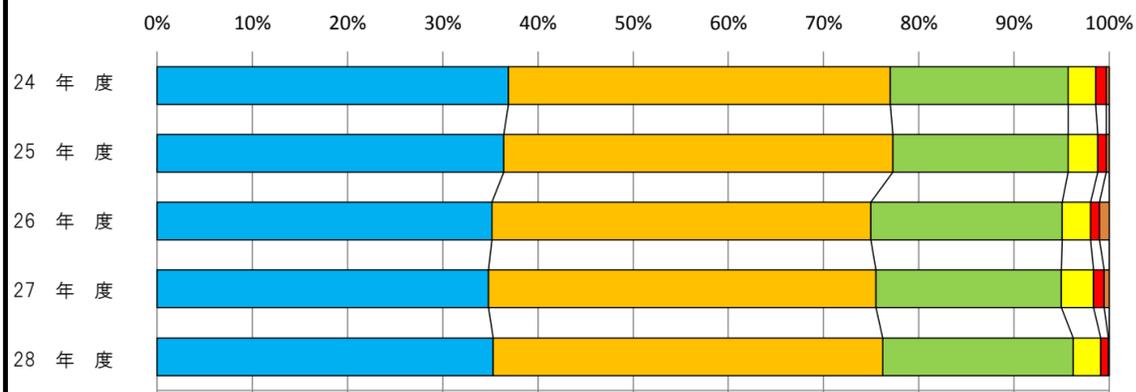
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
全科目数	324科目	314科目	327科目	340科目	340科目
調査対象者数	29,322人	25,791人	25,157人	24,002人	23,623人
総回答数(回答率)	19,599枚(66.8%)	20,937枚(81.2%)	22,510枚(89.5%)	20,563枚(85.7%)	20,274枚(85.8%)

## ◆ 年度別・質問項目別 集計結果



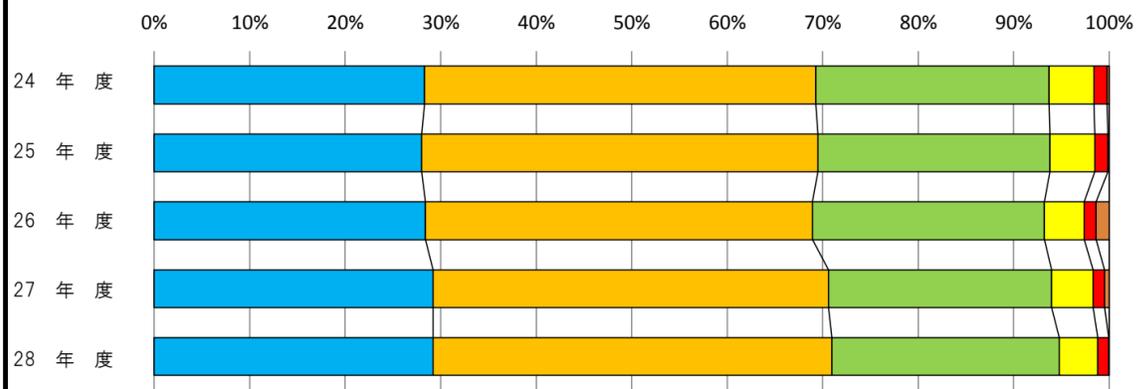
## Ⅱ 授業内容について

### 4(4) 授業(実習・実験)に興味・関心が持てたと思うか。



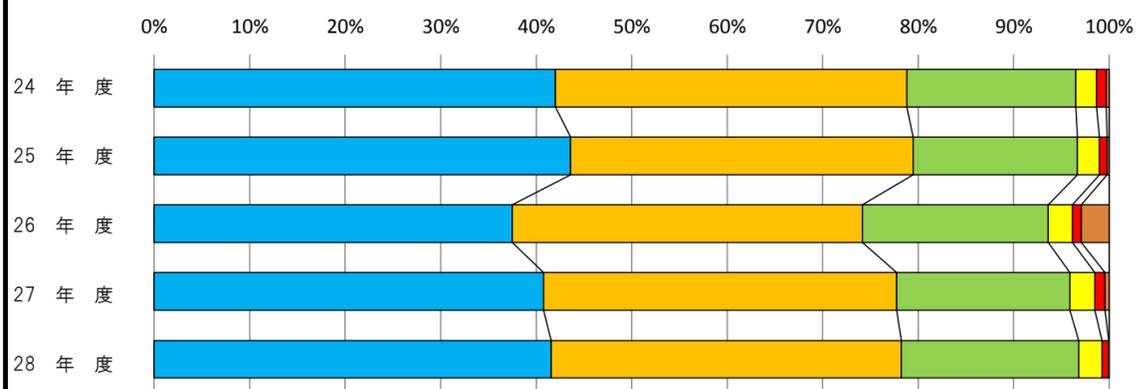
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.9	40.1	77.0	-
36.4	40.9	77.3	+ 0.3
35.2	39.8	75.0	△ 2.3
34.8	40.7	75.5	+ 0.5
35.3	40.9	76.2	+ 0.7

### 5(5) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



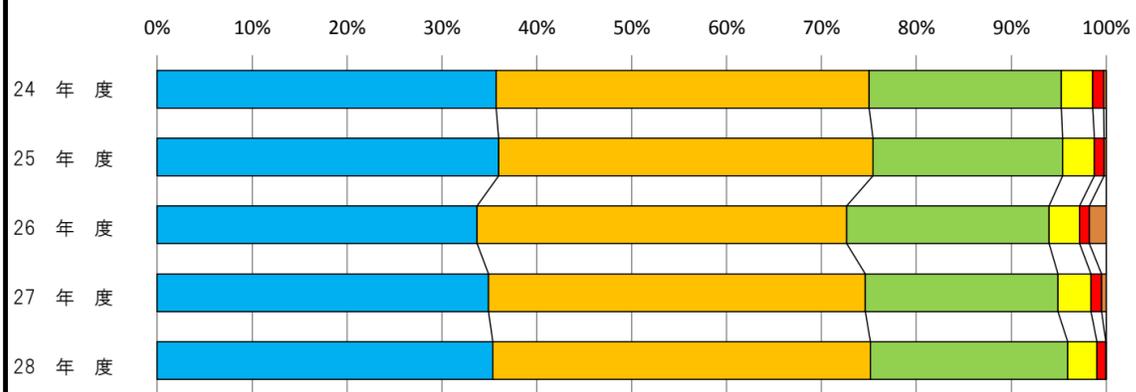
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
28.3	41.0	69.3	-
28.0	41.5	69.5	+ 0.2
28.4	40.5	68.9	△ 0.6
29.2	41.4	70.6	+ 1.7
29.2	41.8	71.0	+ 0.4

### 6(6) この授業(実習・実験)内容は将来役立つと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.0	36.8	78.8	-
43.6	35.9	79.5	+ 0.7
37.5	36.7	74.2	△ 5.3
40.8	37.0	77.8	+ 3.6
41.6	36.7	78.3	+ 0.5

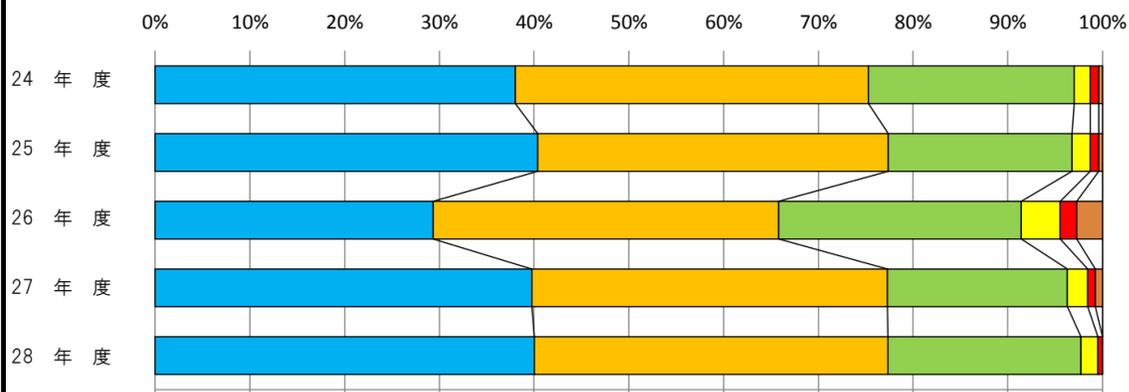
### 「計」(質問項目 4(4) ~ 6(6))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.7	39.3	75.0	-
36.0	39.4	75.4	+ 0.4
33.7	39.0	72.7	△ 2.7
34.9	39.7	74.6	+ 1.9
35.4	39.8	75.2	+ 0.6

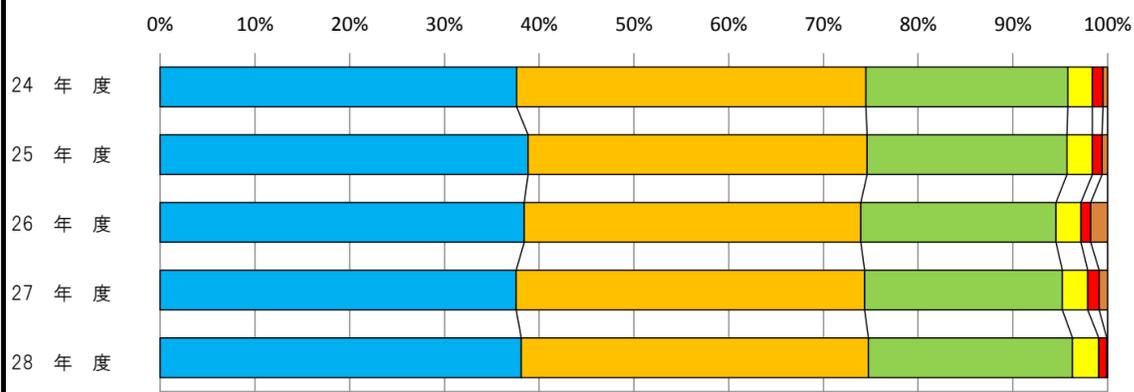
### Ⅲ 教員の教え方について

8(7) 授業(実習・実験)はシラバスに沿って行われたと思うか。



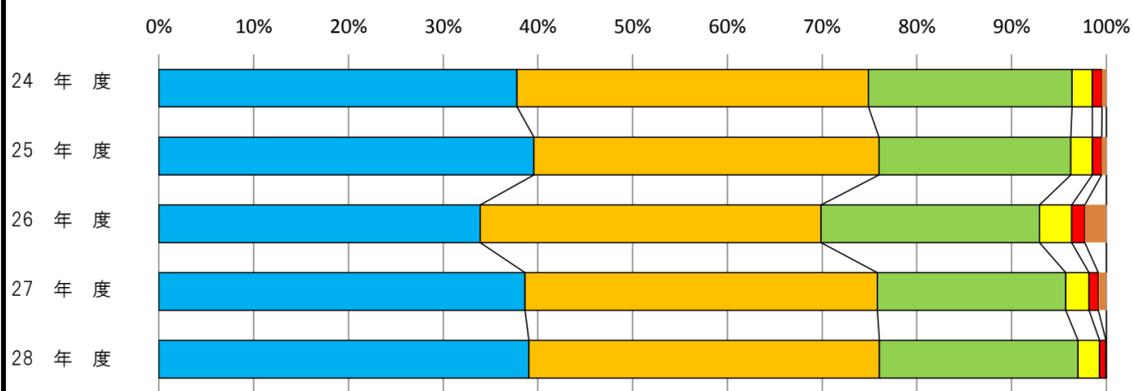
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.0	37.3	75.3	-
40.4	37.0	77.4	+ 2.1
29.4	36.5	65.9	△ 11.5
39.8	37.5	77.3	+ 11.4
40.0	37.3	77.3	0.0

14(9) 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.6	36.9	74.5	-
38.8	35.8	74.6	+ 0.1
38.4	35.5	73.9	△ 0.7
37.6	36.8	74.4	+ 0.5
38.1	36.6	74.7	+ 0.3

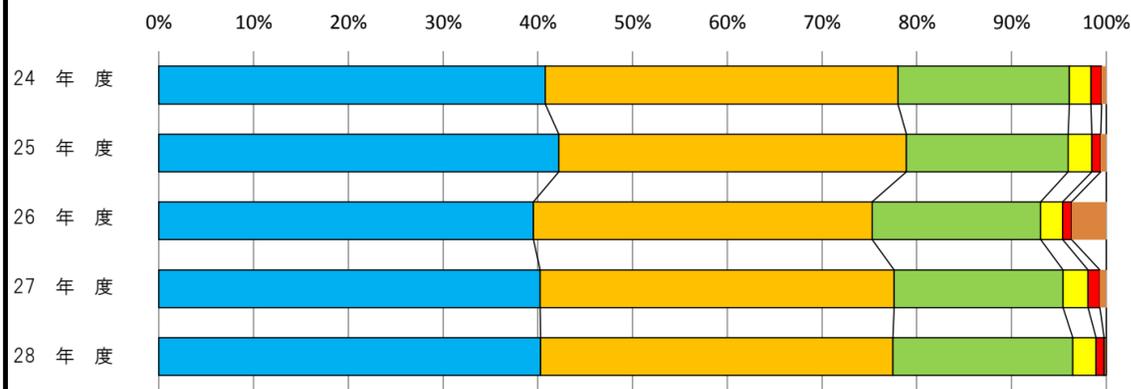
「計」(質問項目 8(7)・14(9))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.8	37.1	74.9	-
39.6	36.4	76.0	+ 1.1
33.9	36.0	69.9	△ 6.1
38.7	37.2	75.9	+ 6.0
39.0	37.0	76.0	+ 0.1

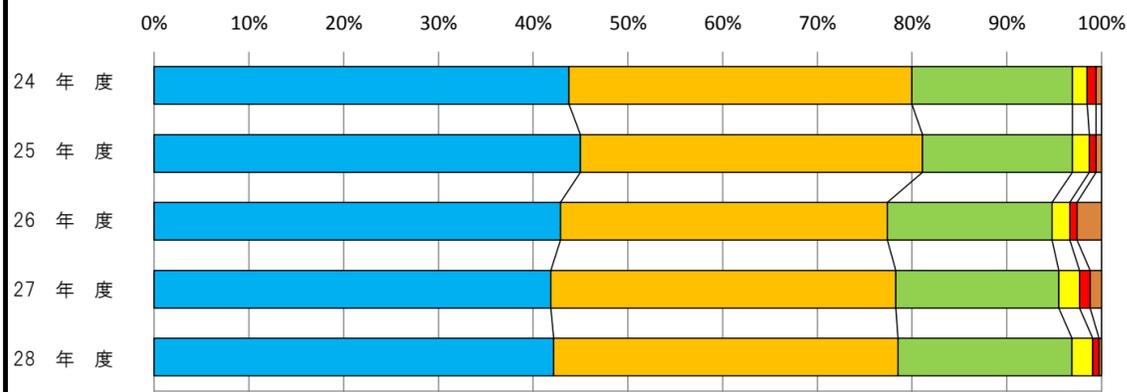
#### IV 教員の姿勢について

15(10) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



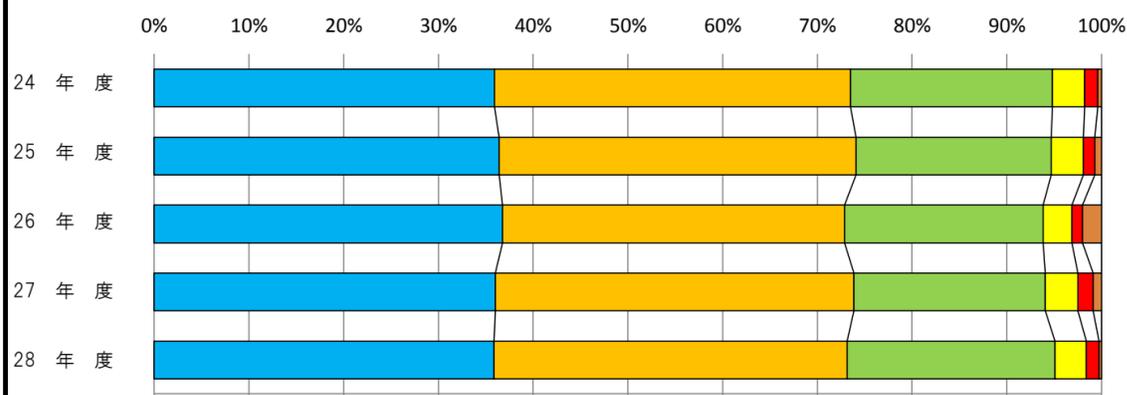
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.8	37.2	78.0	-
42.2	36.7	78.9	+ 0.9
39.5	35.8	75.3	△ 3.6
40.3	37.3	77.6	+ 2.3
40.3	37.2	77.5	△ 0.1

16(11) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って臨んでいたと思うか。



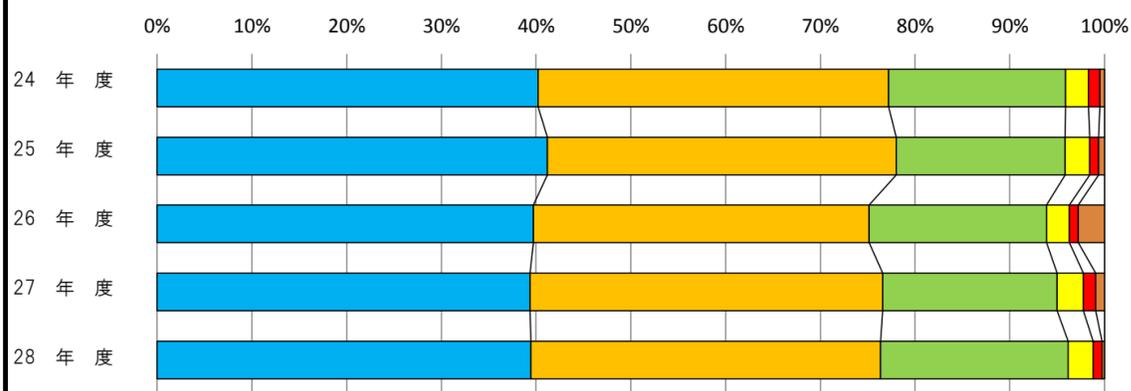
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.8	36.2	80.0	-
45.0	36.1	81.1	+ 1.1
42.8	34.5	77.3	△ 3.8
41.9	36.4	78.3	+ 1.0
42.2	36.3	78.5	+ 0.2

17(12) 教員は学生のレベルを把握して授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.9	37.6	73.5	-
36.4	37.7	74.1	+ 0.6
36.8	36.1	72.9	△ 1.2
36.0	37.9	73.9	+ 1.0
35.9	37.3	73.2	△ 0.7

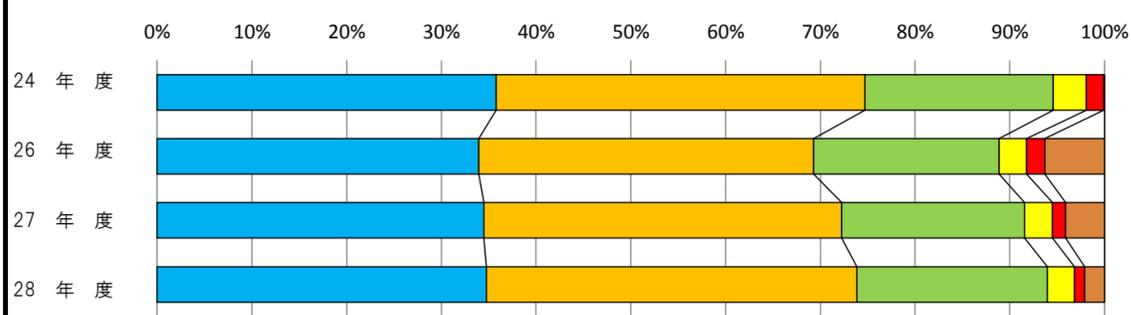
「計」(質問項目 15(10) ~ 17(12))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.2	37.0	77.2	-
41.2	36.8	78.0	+ 0.8
39.7	35.5	75.2	△ 2.8
39.4	37.2	76.6	+ 1.4
39.5	36.9	76.4	△ 0.2

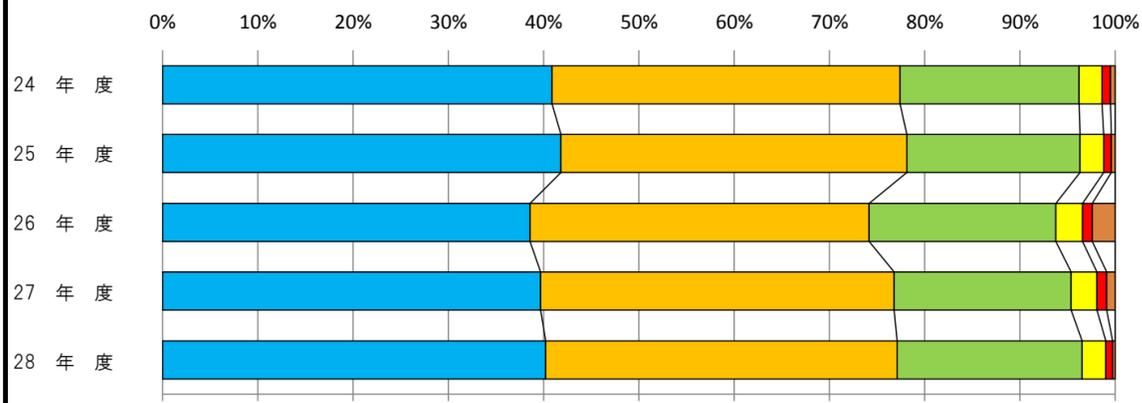
#### V 総合評価

18(13) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.8	38.9	74.7	-
34.0	35.3	69.3	△ 5.4
34.5	37.7	72.2	+ 2.9
34.7	39.1	73.8	+ 1.6

### 全質問項目の平均

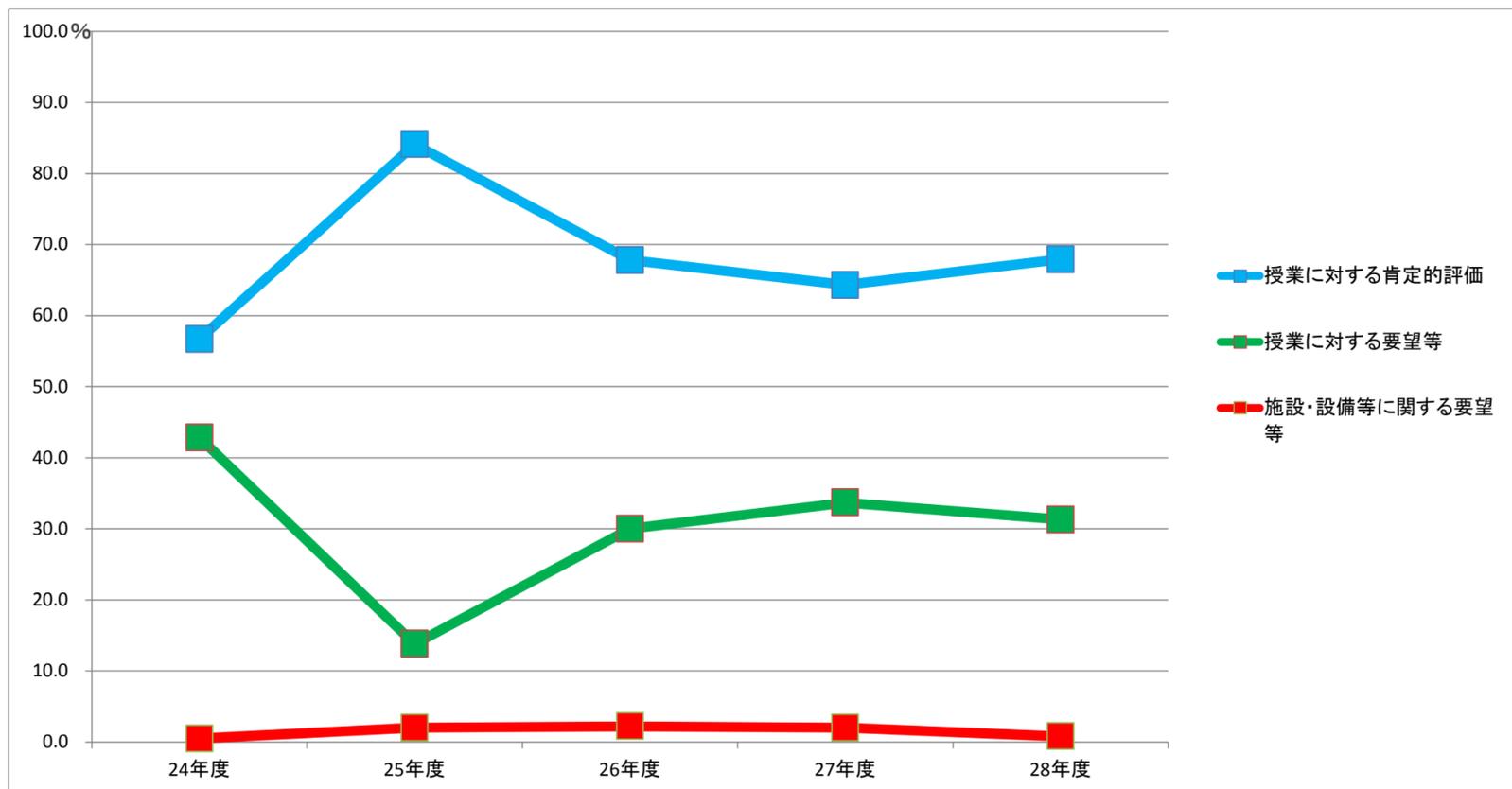


	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24 年 度	40.9	36.5	77.4	-
25 年 度	41.8	36.3	78.1	+ 0.7
26 年 度	38.6	35.6	74.2	△ 3.9
27 年 度	39.7	37.1	76.8	+ 2.6
28 年 度	40.2	36.9	77.1	+ 0.3

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
授業に対する肯定的評価	(56.7%)	546	(84.2%)	745	(67.8%)	429	(64.3%)	383	(66.8%)	427
授業に対する要望等	(42.8%)	413	(13.8%)	122	(30.0%)	190	(33.7%)	201	(32.1%)	205
施設・設備等に関する要望等	(0.5%)	5	(2.0%)	18	(2.2%)	14	(2.0%)	12	(1.1%)	7
総件数	(100.0%)	964	(100.0%)	885	(100.0%)	633	(100.0%)	596	(100.0%)	639

※ ( ) 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	427	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで取り組みをすることが多く、コミュニケーションのとりかた、チーム医療の難しさを痛感する授業でした。</li> <li>・最新の情報を分かりやすく、誤りなく伝えようとしていると感じました。講義アーカイブサイトも復習する上で非常に役立ちました。</li> <li>・パワーポイントがとても上手くまとまっており、復習する際に多いに役立った。配布資料が充実していた。</li> <li>・実習を受講して、精神科を目指すよいきっかけとなりました。</li> <li>・実験中に腸内細菌の話をしてくれたとき、おもしろい内容で関心ある内容でした。</li> <li>・1つのテーマに関して、深く考えさせてくれる、受講生を奮起させてくれるような考えたと相まって楽しい授業でした。</li> </ul>
授業に対する要望等	205	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題取り組み時間が短く、中途半端な授業で終わることが多かった。スライド発表では発表者のスライドを印刷して配布して頂けると、後から復習がしやすい。</li> <li>・最後の中間テストのような形式のものをストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系と分岐があると、より勉強しやすかったように思います。</li> <li>・日程変更する際は早めに言ってほしい。メールでの通知ミスや、冬期休暇以前と後で言っていることが違うことがあったので少し困りました。</li> <li>・レポートはパソコンにしてほしい。手書きだと色付けとかで評価が変わってしまうが、PC書きなら文字のみで差が生まれないと思う。</li> </ul>
施設・設備等に関する要望等	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子の下に荷物を置くと汚れてしまうので、特に試験前の時は掃除してほしい。</li> <li>・室温が適正でなかったり、換気していてもカビ臭いなど、環境があまりよくないことがあるので空調を整えてほしい。</li> </ul>
計	639	

## 平成28年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○講義・演習科目数 291科目    ○調査対象者数 20,236人(延人数)  
○総回答数 17,148枚(回答率 84.7%)

### ◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は平成27年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
<b>I 学生として、自分自身の授業態度について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業態度はよかったと思うか。	(38.4)	(39.8)	(18.5)	(2.4)	(0.5)	(0.4)	(100)
	39.6	39.2	18.7	2.2	0.3	0.0	100
2. 出席率はよかったと思うか。	(58.3)	(26.8)	(12.7)	(1.4)	(0.5)	(0.3)	(100)
	59.7	25.6	13.1	1.4	0.2	0.0	100
3. 積極的に取り組んだと思うか。	(37.0)	(39.1)	(20.4)	(2.6)	(0.6)	(0.3)	(100)
	38.1	38.7	20.6	2.2	0.4	0.0	100
計	(44.6)	(35.2)	(17.2)	(2.1)	(0.6)	(0.3)	(100)
	45.8	34.5	17.5	1.9	0.3	0.0	100
<b>II 授業内容について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。	(32.1)	(41.5)	(21.0)	(3.6)	(1.2)	(0.6)	(100)
	32.7	42.0	21.3	3.1	0.9	0.0	100
5. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(26.9)	(41.6)	(24.8)	(4.7)	(1.5)	(0.5)	(100)
	26.8	42.4	25.1	4.4	1.3	0.0	100
6. この授業内容は将来役立つと思うか。	(38.1)	(37.7)	(19.7)	(2.9)	(1.1)	(0.5)	(100)
	39.2	37.7	19.7	2.6	0.8	0.0	100
7. この授業は他学科の学生等にも薦めたいと思うか。	(30.2)	(35.9)	(26.4)	(4.6)	(2.1)	(0.8)	(100)
	30.3	37.5	26.3	4.0	1.8	0.1	100
計	(31.8)	(39.2)	(23.0)	(3.9)	(1.5)	(0.6)	(100)
	32.3	39.9	23.1	3.5	1.2	0.0	100
<b>III 教員の教え方について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。	(37.1)	(38.4)	(20.6)	(2.3)	(0.8)	(0.8)	(100)
	37.2	38.4	21.9	1.9	0.5	0.1	100
9. 授業に集中できる雰囲気は保たれていたと思うか。	(34.0)	(39.1)	(21.2)	(3.7)	(1.4)	(0.6)	(100)
	33.5	38.8	22.7	3.8	1.2	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(37.0)	(37.2)	(20.2)	(3.4)	(1.5)	(0.7)	(100)
	36.2	37.8	21.0	3.7	1.2	0.1	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 わかりやすい板書であったと思うか。	(32.0)	(37.0)	(24.0)	(4.1)	(1.5)	(1.4)	(100)
	31.4	36.9	26.0	3.5	1.3	0.9	100
12. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(33.9)	(37.8)	(22.4)	(3.7)	(1.5)	(0.7)	(100)
	33.1	38.6	23.3	3.3	1.2	0.5	100
13. 12の場合に、プリント等が配布された際にパワーポイント による説明を聞くだけではなく、授業内容の要点 を書き留めるよう予め指示等があったと思うか。	(32.1)	(37.2)	(24.5)	(3.7)	(1.5)	(1.0)	(100)
	31.9	37.8	24.9	3.7	1.2	0.5	100
14. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(35.2)	(37.3)	(22.6)	(2.9)	(1.2)	(0.8)	(100)
	35.8	37.4	22.9	2.8	0.9	0.2	100
計	(34.5)	(37.7)	(22.2)	(3.4)	(1.3)	(0.9)	(100)
	34.2	37.9	23.2	3.3	1.1	0.3	100
<b>IV 教員の姿勢について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(38.0)	(38.2)	(19.3)	(2.7)	(1.2)	(0.6)	(100)
	38.0	38.3	20.1	2.5	0.8	0.3	100
16. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(39.4)	(37.1)	(18.6)	(2.3)	(1.2)	(1.4)	(100)
	39.8	37.4	19.6	2.3	0.7	0.2	100
17. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。	(33.6)	(38.6)	(21.8)	(3.6)	(1.6)	(0.8)	(100)
	33.5	38.2	23.2	3.4	1.4	0.3	100
計	(37.0)	(38.0)	(19.9)	(2.9)	(1.3)	(0.9)	(100)
	37.1	38.0	21.0	2.7	0.9	0.3	100
<b>V 総合評価</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
18. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(32.1)	(38.3)	(20.9)	(3.2)	(1.4)	(4.1)	(100)
	32.4	40.1	21.5	3.1	1.1	1.8	100
<b>全質問項目の平均</b>	(35.9)	(37.7)	(21.1)	(3.2)	(1.2)	(0.9)	(100)
	36.1	37.9	21.8	3.0	0.9	0.3	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

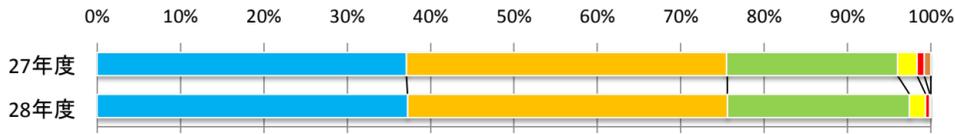
	27年度	28年度
全科目数	293科目	291科目
調査対象者数	20,440人	20,236人
総回答数（回答率）	17,520枚（85.7%）	17,148枚（84.7%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

		そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	
<b>I 学生として、自分自身の授業態度について</b>								
1. 授業態度はよかったと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		38.4	39.8	78.2				
28年度		39.6	39.2	78.8			+ 0.6	
2. 出席率はよかったと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		58.3	26.8	85.1				
28年度		59.7	25.6	85.3			+ 0.2	
3. 積極的に取り組んだと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		37.0	39.1	76.1				
28年度		38.1	38.7	76.8			+ 0.7	
「計」（質問項目 1～3）								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		44.6	35.2	79.8				
28年度		45.8	34.5	80.3			+ 0.5	
<b>II 授業内容について</b>								
4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		32.1	41.5	73.6				
28年度		32.7	42.0	74.7			+ 1.1	
5. 授業内容をよく理解できたと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		26.9	41.6	68.5				
28年度		26.8	42.4	69.2			+ 0.7	
6. この授業内容は将来役立つと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		38.1	37.7	75.8				
28年度		39.2	37.7	76.9			+ 1.1	
7. この授業は他学科の学生等にも薦めたいと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		30.2	35.9	66.1				
28年度		30.3	37.5	67.8			+ 1.7	
「計」（質問項目 4～7）								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		31.8	39.2	71.0				
28年度		32.3	39.9	72.2			+ 1.2	

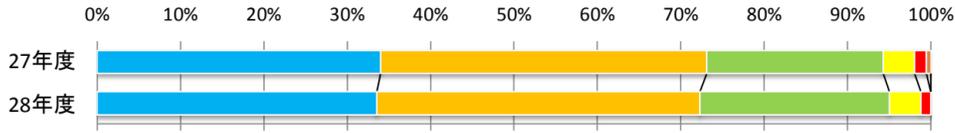
### Ⅲ 教員の教え方について

8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。



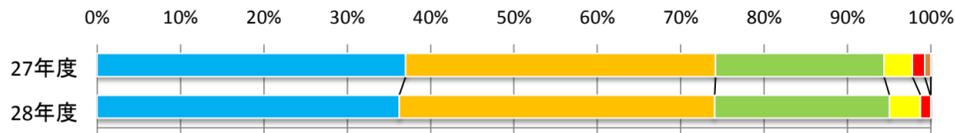
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.1	38.4	75.5	—
37.2	38.4	75.6	+ 0.1

9. 授業に集中できる雰囲気は保たれていたと思うか。



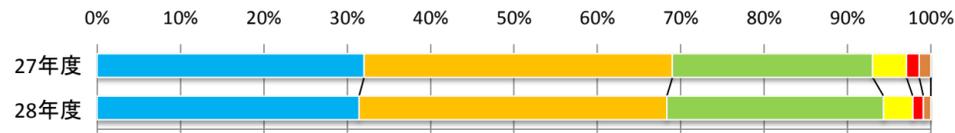
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.0	39.1	73.1	—
33.5	38.8	72.3	△ 0.8

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



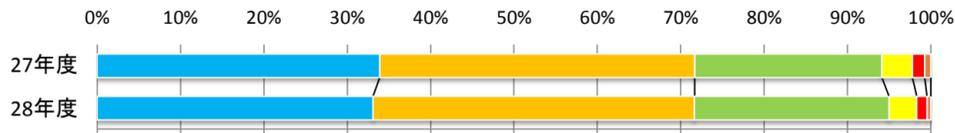
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.0	37.2	74.2	—
36.2	37.8	74.0	△ 0.2

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい板書であったと思うか。



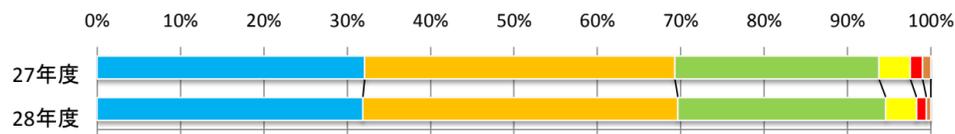
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.0	37.0	69.0	—
31.4	36.9	68.3	△ 0.7

12. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容はわかりやすかったと思うか。



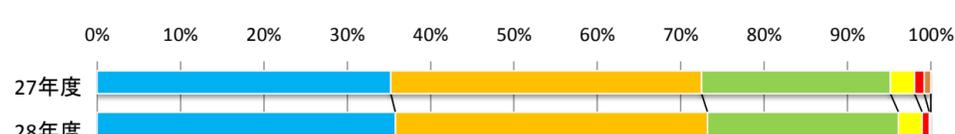
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.9	37.8	71.7	—
33.1	38.6	71.7	0.0

13. 12の場合に、プリント等が配布された際にパワーポイントによる説明を聞くだけでなく、授業内容の要点を書き留めるよう予め指示等があったと思うか。



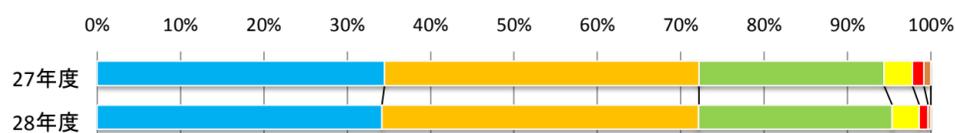
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.1	37.2	69.3	—
31.9	37.8	69.7	+ 0.4

14. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.2	37.3	72.5	—
35.8	37.4	73.2	+ 0.7

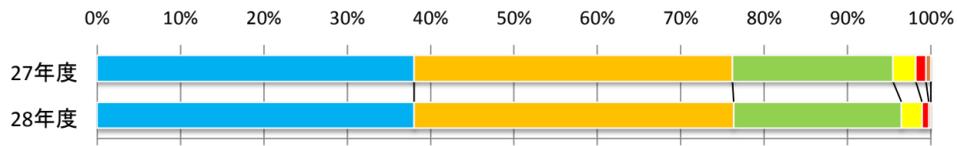
「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.5	37.7	72.2	—
34.2	37.9	72.1	△ 0.1

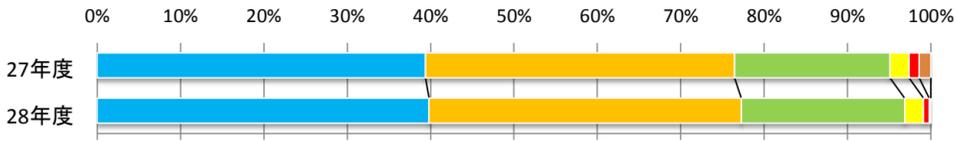
#### IV 教員の姿勢について

15. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



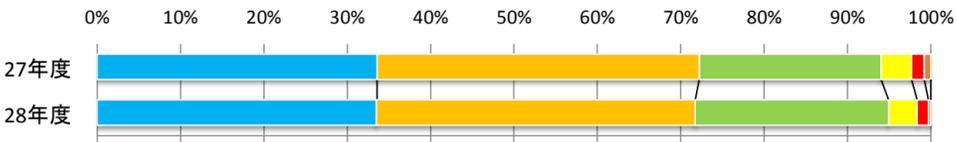
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.0	38.2	76.2	—
38.0	38.3	76.3	+ 0.1

16. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。



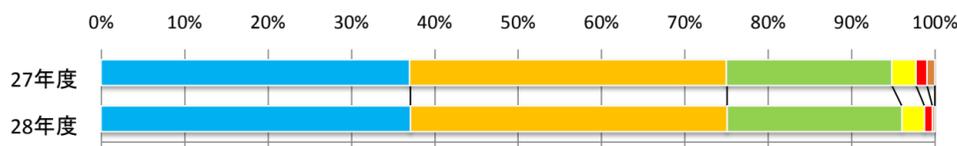
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.4	37.1	76.5	—
39.8	37.4	77.2	+ 0.7

17. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.6	38.6	72.2	—
33.5	38.2	71.7	△ 0.5

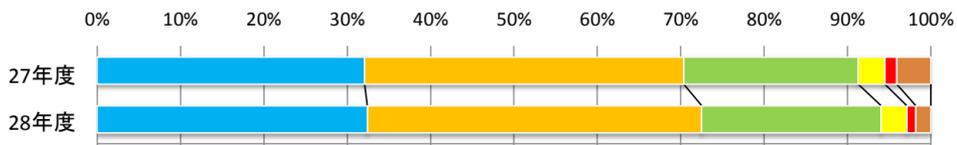
「計」(質問項目 15 ~ 17)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.0	38.0	75.0	—
37.1	38.0	75.1	+ 0.1

#### V 総合評価

18. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.1	38.3	70.4	—
32.4	40.1	72.5	+ 2.1

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.9	37.7	73.6	—
36.1	37.9	74.0	+ 0.4

◆ VII この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 891】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学概論 【1年次前期】	13	基本的な看護の知識を身に付けられた。 自分なりの看護への考えを持つことが出来た。将来働く際に役に立つと感じる。 看護について深まった。
	クリティカルシンキングⅠ 【1年次前期】	11	文章を書くことが苦手でしたが、講義を受けて少し書く内容もスピードも上がったように感じます。 思考力の必要性がわかって良かった。 考え方、展開力がついたと思う。
	機能看護学Ⅰ 【1年次前期】	8	グループワークに慣れた。自分の意見を言えるようになった。 コラボレーションする力が身についた。意見を発する、人の意見を聞く・取り込むということができるようになった。 他人からの自分の評価がわかって良かった。
	基礎看護援助方法Ⅰ 【1年次前期】	8	まず知識を頭に入れてから演習をしたおかげで十分に理解することができた。『体の仕組みと働き』の復習になった。 専門的に学べた。
	治療学総論 【1年次後期】	4	臨床に興味をもてた。 看護技術は看護師になるためにとても重要なものなので、様々なことが学べて良かったです。
	精神看護援助論Ⅱ 【2年次後期】	3	先生方がみんな親切で授業も楽しかった。
医療栄養学科	総合学習Ⅰ 【1年次前期】	18	栄養士になるための良い知識がたくさんあって良かったです。 複数の授業と内容が繋がっていたので、他の授業での理解が進みました。 食品成分など、将来役に立つことが多かった。
	基礎栄養学特論 【2年次前期】	13	スライドや話しだけでなく実際にサプリメントなど配ってくれて興味がより深まった。 管理栄養士の国家試験に必要な内容、先生が研究している内容がとても面白かったです。 将来為になる内容がたくさんあり、楽しかったです。
	応用栄養学Ⅰ 【2年次前期】	7	先生の実体験を合わせて話して下さったのがわかりやすかった。 妊娠期や授乳期のことを学べて良かった。
	調理学 【1年次後期】	5	食品についての構造が詳しく知れて、将来とても大切な知識を得ることができました。 学問的な内容だけでなく、身近な事柄についても教えていただいて、日々の生活に役立てられそうだった。
医療情報学科	医療情報総合演習Ⅰ 【1年次前期】	5	レポートに使用する表現が学べて良かった。 メールの出し方を学べたので良かったです。
	臨床検査総論 【3年次後期】	5	難しい分野を出来るだけ簡単に教えて頂きありがとうございます。 内容をとてもわかりやすく教えて下さり、理解しやすかったです。
	臨床医学各論 【1年次後期】	5	専門的な言葉を詳しく説明していたこと。 医学への関心が深まった。

◆ VIII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 506】

	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	急性期看護援助論 【2年次後期】	33	先生たちの意見がバラバラで、結局答えで、正しいのか間違っているのかわからない授業が多く不満。 重要なところをまとめて伝えてほしかった。答えはないといっても、明らかな間違いなどははっきりと伝えてほしかった。 グループワークで途中から発信しない人もでてきて、グループワークの意味がない時もあったと思う。
	地域保健活動演習 【2年次前期】	21	教員ごとに言っていること（説明）が異なる時があったため統一した方がいいと思います。 パワポの提出日を急に10日ほど早められたのは困る。
	クリティカルシンキング I 【1年次前期】	11	課題1つ1つに対して評価をしっかりと伝えてほしい。良かったのか、悪かったのかわからないから、対策ができない。 慣れないPCで課題が多く、大変だった。 クリティカルパスの高齢者の事例がまだ習っていないで考えにくかった。
	疾病治療論 I 【2年次前期】	10	レジュメを最初に配ってほしい。青背景に赤字のスライドは、見づらい。 先生によって、分かりやすさが違った。分かりやすい先生はとても分かりやすかったけれど分かりにくい先生のところは全く理解できなかった。
医療栄養学科	栄養教育論Ⅲ 【3年次前期】	24	スライドを切り替えるタイミングが早すぎてノートがとれない。 スライドに集中しすぎて先生の話聞きとれない。
	医療栄養学概論 I 【2年次後期】	14	スライドの速度がとても速い。時間が取れないならすべてプリントで配るべき。 先生が一方向的に話していて辛い。
	基礎栄養学特論 【2年次前期】	6	まとまりがなく全体として何を学ぶべきなのかわかりづらかった。 パワーポイントを用いる際、メモをするべきところがある場合は、長めに写しておいてほしい。
	献立作成演習 【2年次前期】	6	少しペースがはやくて、理解しないまま進んでしまったのもっと解説をゆっくりしてほしい。 説明をもっと詳しくしてほしいです。ちゃんと理解できませんでした。
医療情報学科	臨床医学各論 【1年次後期】	5	私語が目立ち集中できなかった。しっかり勉強している人のために注意するなど対策をとり、集中できる環境をつくってほしい。 最後に書くレポートを穴うめなどにすることももう少し時間がほしい。時間が足りなくなることが多くあり少し負担である。
	プログラミング演習 I 【1年次後期】	4	レベルにあわせてクラス分けをすべき。 もう少し授業の進行の仕方を変えるべきだと思う。
	プログラム言語 I 【2年次前期】	3	もう少し黒板の文字を大きくしてほしいです。 聞いて欲しいことはわかるが、説明がまわりくどい。教室内を歩いて見て下さるとき、後ろまで回れない理由があるのでしょうか。

## 平成28年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○実習・実験科目数 49科目

○調査対象者数 3,387人(延人数)

○総回答数 3,126枚(回答率 92.3%)

### ◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は平成27年度アンケート結果〉

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
<b>I 学生として、自分自身の実習・実験態度について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験態度はよかったと思うか。	(57.2)	(31.4)	(9.0)	(1.6)	(0.2)	(0.6)	(100)
	58.4	30.0	10.7	0.8	0.1	0.0	100
2. 出席率はよかったと思うか。	(70.3)	(21.5)	(6.3)	(1.2)	(0.4)	(0.3)	(100)
	72.6	17.6	8.6	0.9	0.3	0.0	100
3. 積極的に取り組んだと思うか。	(58.4)	(30.4)	(9.6)	(1.3)	(0.0)	(0.3)	(100)
	58.6	29.2	11.3	0.7	0.1	0.1	100
計	(62.0)	(27.7)	(8.3)	(1.4)	(0.2)	(0.4)	(100)
	63.2	25.6	10.2	0.8	0.2	0.0	100
<b>II 実習・実験内容について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験に興味・関心が持てたと思うか。	(50.7)	(36.1)	(10.4)	(2.0)	(0.5)	(0.3)	(100)
	49.8	35.0	13.3	1.4	0.4	0.1	100
5. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(42.2)	(40.0)	(14.5)	(2.4)	(0.5)	(0.4)	(100)
	41.7	38.5	16.9	2.3	0.6	0.0	100
6. この実習・実験内容は将来役立つと思うか。	(55.6)	(33.0)	(9.2)	(1.5)	(0.5)	(0.2)	(100)
	54.5	30.8	12.9	1.4	0.3	0.1	100
計	(49.5)	(36.4)	(11.3)	(2.0)	(0.5)	(0.3)	(100)
	48.7	34.8	14.4	1.7	0.4	0.0	100
<b>III 教員の実習・実験指導について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
7. 実習・実験はシラバスに沿って行われたと思うか。	(55.1)	(32.8)	(9.9)	(1.3)	(0.6)	(0.3)	(100)
	55.0	31.5	12.2	0.9	0.4	0.0	100
8. 教員の指導は実習・実験内容に応じて適切だったと思うか。	(52.3)	(34.0)	(9.7)	(2.4)	(1.1)	(0.5)	(100)
	52.2	32.7	12.5	1.9	0.7	0.0	100
9. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(51.2)	(34.2)	(10.6)	(2.1)	(0.9)	(1.0)	(100)
	50.7	32.2	13.9	2.3	0.9	0.0	100
計	(52.9)	(33.7)	(10.1)	(1.9)	(0.8)	(0.6)	(100)
	52.6	32.1	12.9	1.7	0.7	0.0	100
<b>IV 教員の姿勢について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
10. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(53.2)	(32.3)	(9.5)	(2.2)	(1.2)	(1.6)	(100)
	52.8	30.9	12.7	2.4	1.1	0.1	100
11. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(56.0)	(32.3)	(9.0)	(1.4)	(1.1)	(0.2)	(100)
	55.3	30.3	11.7	1.7	0.8	0.2	100
12. 教員は学生のレベルを把握して実習・実験を行ったと思うか。	(50.2)	(33.8)	(11.3)	(2.2)	(1.5)	(1.0)	(100)
	48.8	32.1	14.9	2.8	1.3	0.1	100
計	(53.1)	(32.8)	(9.9)	(2.0)	(1.2)	(1.0)	(100)
	52.3	31.1	13.1	2.3	1.1	0.1	100
<b>V 総合評価</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
13. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(48.4)	(34.3)	(10.2)	(1.9)	(0.9)	(4.3)	(100)
	47.4	33.7	12.3	1.6	1.0	4.0	100
<b>全質問項目の平均</b>	(53.9)	(32.8)	(9.9)	(1.8)	(0.7)	(0.9)	(100)
	53.7	31.1	12.6	1.6	0.6	0.4	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

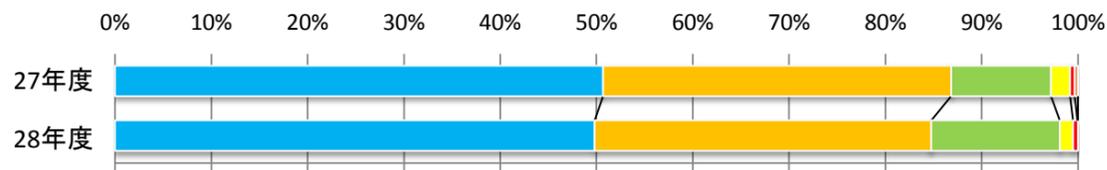
	27年度	28年度
全科目数	47科目	49科目
調査対象者数	3,562人	3,387人
総回答数（回答率）	3,043枚（85.4%）	3,126枚（92.3%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

		■ そう思う	■ やや そう思う	■ どちらとも いえない	■ そう 思わない	■ 全くそう 思わない	■ 無回答	
<b>I 学生として、自分自身の実習・実験態度について</b>								
1. 実習・実験態度はよかったと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		57.2	31.4					
28年度		58.4	30.0					
				計			対前年度	
				88.6			—	
				88.4			△ 0.2	
2. 出席率はよかったと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		70.3	21.5					
28年度		72.6	17.6					
				計			対前年度	
				91.8			—	
				90.2			△ 1.6	
3. 積極的に取り組んだと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		58.4	30.4					
28年度		58.6	29.2					
				計			対前年度	
				88.8			—	
				87.8			△ 1.0	
「計」（質問項目 1～3）								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		62.0	27.7					
28年度		63.2	25.6					
				計			対前年度	
				89.7			—	
				88.8			△ 0.9	

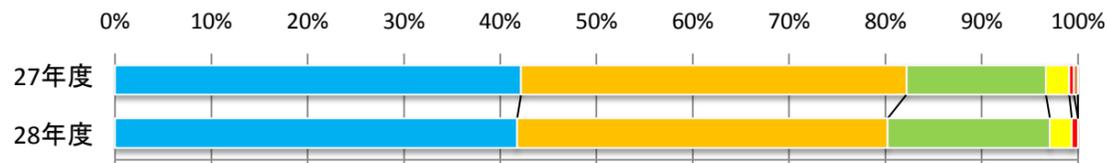
## II 実習・実験内容について

4. 実習・実験に興味・関心が持てたと思うか。



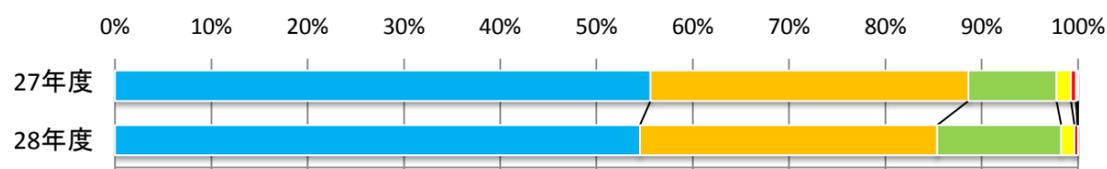
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.7	36.1	86.8	—
49.8	35.0	84.8	△ 2.0

5. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



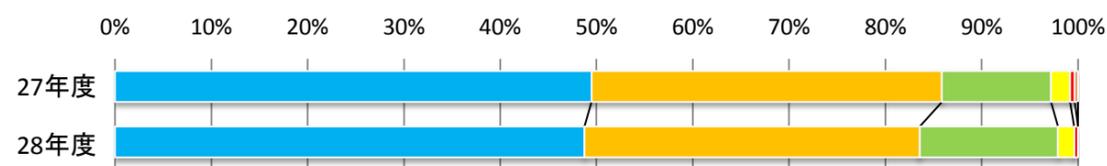
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.2	40.0	82.2	—
41.7	38.5	80.2	△ 2.0

6. この実習・実験内容は将来役立つと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.6	33.0	88.6	—
54.5	30.8	85.3	△ 3.3

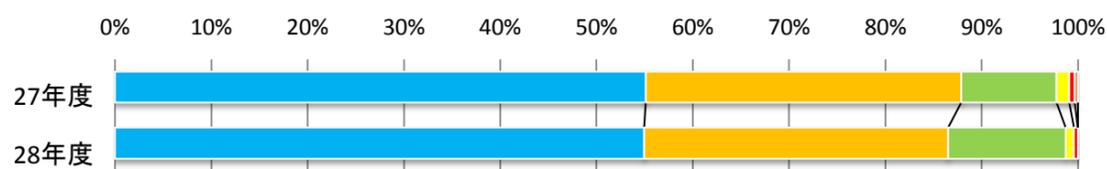
「計」(質問項目 4～6)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.5	36.4	85.9	—
48.7	34.8	83.5	△ 2.4

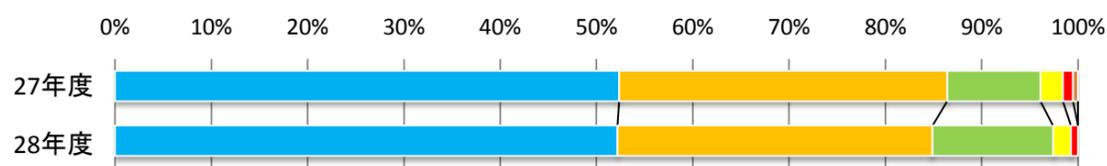
## III 教員の実習・実験指導について

7. 実習・実験はシラバスに沿って行われたと思うか。



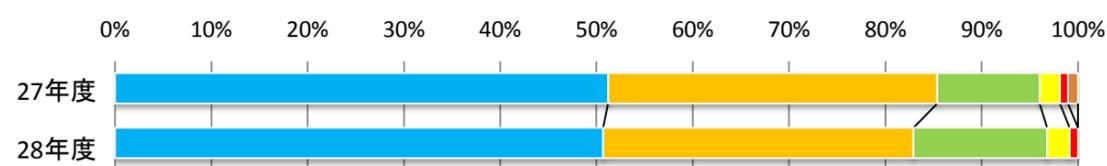
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.1	32.8	87.9	—
55.0	31.5	86.5	△ 1.4

8. 教員の指導は実習・実験内容に応じて適切だったと思うか。



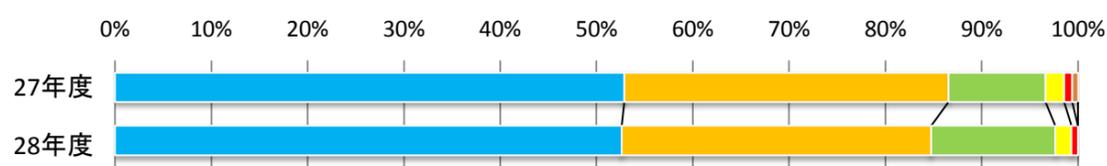
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.3	34.0	86.3	—
52.2	32.7	84.9	△ 1.4

9. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.2	34.2	85.4	—
50.7	32.2	82.9	△ 2.5

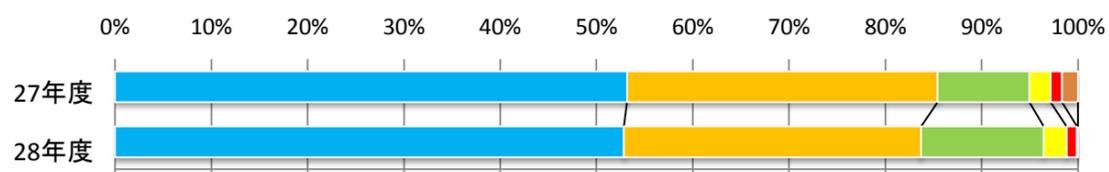
「計」(質問項目 7～9)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.9	33.7	86.6	—
52.6	32.1	84.7	△ 1.9

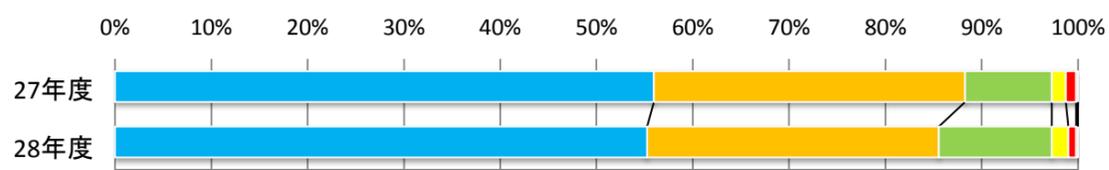
#### IV 教員の姿勢について

10. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



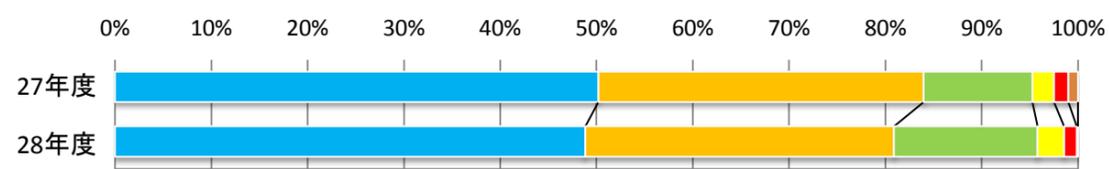
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.2	32.3	85.5	—
52.8	30.9	83.7	△ 1.8

11. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



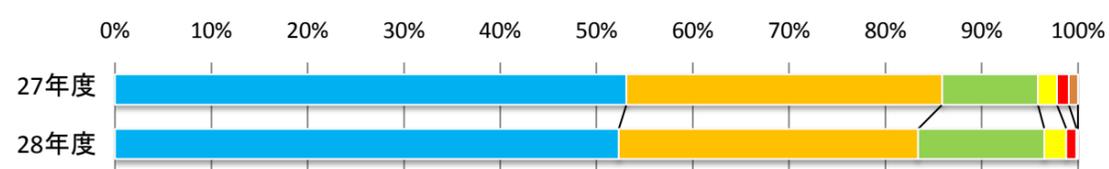
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.0	32.3	88.3	—
55.3	30.3	85.6	△ 2.7

12. 教員は学生のレベルを把握して実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.2	33.8	84.0	—
48.8	32.1	80.9	△ 3.1

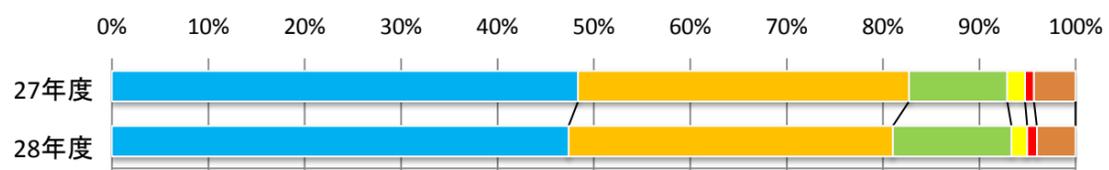
「計」(質問項目 10 ~ 12)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.1	32.8	85.9	—
52.3	31.1	83.4	△ 2.5

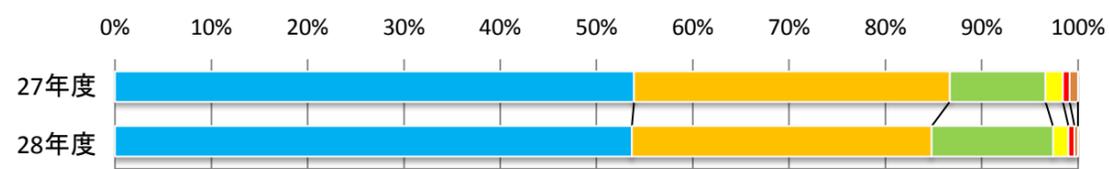
#### V 総合評価

13. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.4	34.3	82.7	—
47.4	33.7	81.1	△ 1.6

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.9	32.8	86.7	—
53.7	31.1	84.8	△ 1.9

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 193】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅰ 【1年次後期】	12	1年生の間から臨地での経験ができて良かったです。 自分の将来を想像することができたこと。 実習でしか学べないことが学べてよかった。 学内では分からない事を知れた。
	小児看護学実習 【3年次後期・4年次前期】	2	小児期の発達段階や健康レベルに合わせた看護について学べた。 先生の指導が良く、頑張ろうと思えた。
医療栄養学科	調理学実習Ⅱ 【1年次後期】	18	調理の下ごしらえの方法など、基礎が身に付けられたので良かったと思う。 将来的に確実に役に立つと思うし必要だと思う。調理の知識はよく身につけて良かった。
	調理学実習Ⅰ 【1年次前期】	15	現場に出る前の厳しくも適確な指導のもと学習できたこと。 包丁の使い方、姿勢を正しく学べて、料理の大変さを知ることができて良かったです。
	栄養教育論実習Ⅰ 【2年次後期】	15	実際に栄養教育を行うことでわかる反省点が見えた。小学生など自分とは違う年代の人へのアプローチについて考えられる良い機会だった。 大変な作業が多かったけれど人前に立つことや正確に情報をとることなどたくさん学べた。
	給食経営管理論実習 【2年次後期】	12	給食における作業の仕方（大人数での）がわかった。 グループワークの難しさや協働力を知ることができた。
医療情報学科	情報システム実験 【2年次前期】	5	PCに詳しくなった。（気がする）先生が面白いから聞きやすい。
	情報ネットワーク実験 【2年次後期】	2	情報システムを頭ではなく身をもって学べたこと。
	病院実習 【3年次後期】	1	病院内での仕事、病院ごとの仕事内容を知ることができて良かったです。

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。【総数 100】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅰ 【1年次後期】	8	2～3回目の実習は間をあげない方がいい。最後の実習後からレポート提出までは一週間程度時間がほしい。 学内実習の時間の配分がよくない。
	小児看護学実習 【3年次後期・4年次前期】	3	行く施設によっての学生の負荷・負担に差がありすぎと思った。 同じ単位なのにNICUと保育園では不平等であると思う。 説明が分かりにくかったです。
医療栄養学科	臨床栄養学実習Ⅰ 【3年次前期】	18	大切な内容のスライドが多いのに、スライドを進めるスピードが速すぎてメモしきれないことが多々あった。 もう少し学生の様子を見てスライドを次に進めて欲しい。 座学の時間が長く、実習時間が短い。実習時間中に課題が終わらないほど課題量が多い。
	解剖生理学実験Ⅱ 【2年次前期】	17	他のクラスもやって3回目の授業なはずなのに先生自身が手順を分かっていたり、時間の使い方が悪かった。 学生の能力を全く把握していないため、実習が時間内に終わらなかったり、おざなりに終わることが目立った。
	食品衛生学実験 【2年次後期】	7	同じ授業を別クラスでやっているにも関わらず手際が悪いときが多かったです。 実験の説明がざっくりな所があったのでもう少し丁寧にしてほしい。
医療情報学科	企業実習 【3年次後期】	3	発表できないグループがあったり、質疑応答の時間がなかったので、実習報告会を二回に分けたほうが良いと思います。
	情報システム実験 【2年次前期】	1	3人でも質問の対応が間に合っていない。

## 平成 28 年度 大学院医療保健学研究科の授業評価結果に対する考察

大学院医療保健学研究科長 坂本 すが

### 1. 授業評価アンケートについて

- 14 の質問項目全体の授業評価集計結果の前年度別比較では、「そう思う」と「ややそう思う」を含めると平均 92.5%で前年度の 94.5%より 2 ポイント減少した。
- 14 項目中「授業内容をよく理解できたと思いますか(85.5%)」「この授業は期待していた通りの内容でしたか(86.4%)」「教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思いますか(86.9%)」以外はすべて 90%以上の評価であった。  
授業評価集計結果より、低下した結果に対しては研究科長会議を開催し、講義方法の改善に努力してゆきたい。今後も院生が授業に積極的に取り組めるような講義方法を行うなどの工夫が必要であると言える。
- 医療機関や関連企業において、感染制御との関わりのある職種においては、基本的感染制御を身に付ける上で大変役立っている様子が窺えた。他領域におけるものとしては、実践に効果があるとの評価を個々にいただいております、さらに内容を発展させたい。
- 大学院の授業評価は対象となる人数も少ないので、面接形式など併用することを検討してもよいのではないかと考えています。
- 質問に対する回答は肯定的だったが、受講人数が少ないことや回答者の背景を考えると、学部と同じアンケート項目である必要はなく、授業評価アンケートの質問内容について再検討すべき点は多いと考えています。

### 2. 授業において工夫した点

- 看護実践開発特論Ⅲは開講 2 年目となるが、オムニバスで行っており、教員間の調整、目標の共有を行えるよう、科目会議を開き、事前学習課題などの共有を行った。
- 履修者はすべて実践家であるため、課題を出す場合は、学習内容が実践と結びつくような内容とし、授業ではディスカッションを積極的に取り入れた。
- 看護実践研究方法論は受講生のニーズに合うように、受講生の論文進捗を考慮して、授業内容を決めた。精神保健学受講生の調べ学習を発表する時間及びディスカッションの時間を十分取るように工夫した。
- 上述した目的を達成しやすくするよう、資料作成にむけてガイドラインを作成し、事前配布と説明を行った。
- 開講日程は、事前課題に取り組む時間と講義内で十分にディスカッションできる時間を確保するよう調整した。
- シラバス全体の中の担当回の授業であることから、他の担当者の授業内容にも配慮し、授業の位置づけや意義について説明している。

- 昨年と違い、学生一人一人のテーマに合わせた、文献の選択、構造的な文献内容の把握の方法を実施した。
- 助産における教育力・実践能力・研究力の向上によるキャリアアップを図ることを目的として大学院に来ているので、課題学習を通して目標の明確化、伝える力をつけるために課題についてプレゼンテーション、その際の学習教材の選択や発表の方法の検討など、学生と共に工夫及び探求を行っている。また、災害看護など、助産学専攻科の学生と共に授業に参加することにより、自己肯定感や教育的指導などに繋がっているようなので、継続していきたいと考えている。さらに、医療機器製造工場の見学や沖縄島嶼医療での体験など、ユニークな取り組みを通しての学習も行っている。
- 例年の研究報告会などから、研究の視点が乏しい院生が多い印象を受けている。授業の中で、業務における漠然とした疑問が明確なリサーチクエスチョンに繋がること、そして遂行した研究結果がその後の医療保健の根拠となっていくことを印象づけるよう工夫している。
- 平成 28 年度の授業では、学生がすでに研究や経験が豊富であったため、現場で役に立つ、もしくは研究ですぐに用いることができる内容をできる限り、学生の意見を聞きながら、新しい論文情報を取り入れるようにした。
- 基本的なガイドラインである日本人の食事摂取基準を主体に、現在の食生活を考えるような流れにした。
- 担当科目が専門特化されているところなので、どの程度の基礎知識があるか学生の背景を考慮して、基礎的なところから現在の最新の状況についてなるべく詳しく説明した。
- 授業を十分に理解できるように授業中及び授業後に質問を受け、また参考資料をできるだけ配付した。

### 3. 授業評価結果を今後の授業にどの様に生かしていくか

- 資料の文字の大きさについても指摘をいただいたので、印刷時の大きさには注意していきたいと思う。
- 高い評価が得られた項目は継続して取り組みたいと思います。質問 1 の「この授業に意欲的に取り組めたと思いますか」や質問 3 の「授業内容をよく理解できたと思いますか」が他の項目と比べると低いため、課題や授業内容を履修者の関心やレベルに合わせて検討していきたい。
- 資料作成ガイドラインをより分かりやすく修正する。
- シラバス全体の中の担当回の授業であることから、他の担当者の授業内容にも配慮し、授業の位置づけや意義についての説明を引き続き行っていきたい。
- 今回の結果から、「学生のレベルを把握して授業を行ったと思いますか」の項目の平均が低かったため、今後は、学生のニーズやレベル等を考慮しながら、授業の組み立てを行っていきたい。

- クリニカル・クwestionからリサーチクwestionへの探求を試み、自らの研究課題を明らかにすること、また、文献検討、まとめを討議するなどの授業の工夫を実践することを通してわかりやすい授業や研究指導を検討していきたい。
- 教員からの意向もあり、英文抄録を読む演習を取り入れており、一部の院生には負担に感じられていることも承知しているが、修士課程では求められるレベルだと思うので、今後も続けていきたい。
- 課題は、こちらの指示するテーマに合った英文論文を探して、概要をまとめるものである。能力として、求めている論文を pubmed で探し出せること、英文の論文を読んでそれを概説できることは求めているが、それが主たる目的ではなく、この科目で学んだポイントを押さえられているかを把握するための課題である。そのあたりを平成 29 年度にはしっかりと伝えていきたい。
- 総合人間栄養学特論の担当 5 コマでも、英論文の課題を出そうと考えていたが、Abstract のみで今年度の院生の様子を見ることにしたい。ライフステージ栄養学特論では、人のライフステージと栄養学との関係を深めることができるように工夫したい。
- 今後は映像など使用し、さらに分かりやすくイメージしやすい授業を実施していきたい。
- 授業を楽しく理解させるために質問に丁寧に答えるとともに研究に対する姿勢を事前の経験を通じて“努力”なくして、成熟しないことを教えていきたい。

#### 4. その他

- 教員は、学生が自ら考え行動できる能力を培える教育を探求し、実行していきたいと思っており、助産学の大学院生として、多くの本や文献を読み、積極的に授業や演習に取り組み、自信を持って頑張りたい。
- 全領域の院生が受講することから、講義内容とそのレベルの設定に、毎年悩んでいる。「期待していた通りの内容」かどうかの設問があるが、こちらの方が院生が何を期待しているのかを知りたい。自由記述にそういったことを書いてもらえるよう工夫できないか。
- 学生達からも学ぶことが多い。今年度の 2 年次学生も 1 年次学生もデータ収集が大変なので、その部分も含めてしっかり整えるサポートをしていきたい。
- 授業内容の不明点についての質問はメールなどでも受け付けるようにしたい。

以上

# 平成28年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 修士課程

○全科目数 53科目

○調査対象者数  
○総回答数

379人（延人数）  
212枚（回答率55.9%）

## ◆ 質問項目別集計結果 【上段（）は平成27年度集計結果】 （%）

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計	
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか	(62.8)	(30.9)	(5.6)	(0.4)	(0.3)	(0.0)	(100.0)	
	71.0	26.0	3.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
2. この授業に興味、関心が持てたと思いますか	(70.6)	(25.7)	(2.6)	(0.4)	(0.4)	(0.3)	(100.0)	
	77.0	19.0	4.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
3. 授業内容をよく理解できたと思いますか	(47.2)	(40.9)	(10.0)	(1.5)	(0.4)	(0.0)	(100.0)	
	47.5	38.0	13.0	1.5	0.0	0.0	100.0	
4. この授業内容は将来役立つと思いますか	(72.5)	(22.7)	(3.7)	(0.7)	(0.0)	(0.4)	(100.0)	
	73.7	20.6	5.7	0.0	0.0	0.0	100.0	
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか	(63.2)	(28.6)	(6.7)	(0.7)	(0.4)	(0.4)	(100.0)	
	63.8	22.6	13.6	0.0	0.0	0.0	100.0	
6. この授業を、ほかの人にも勧めたいと思いますか	(65.4)	(27.5)	(6.0)	(0.0)	(1.1)	(0.0)	(100.0)	
	71.6	18.8	9.6	0.0	0.0	0.0	100.0	
7. 授業はシラバスに沿って行われたと思いますか	(67.3)	(27.5)	(4.1)	(0.7)	(0.4)	(0.0)	(100.0)	
	73.0	22.1	4.9	0.0	0.0	0.0	100.0	
8. この授業の進め方は適切だったと思いますか	(67.7)	(27.9)	(3.0)	(0.7)	(0.7)	(0.0)	(100.0)	
	70.0	23.0	7.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
9. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか	(65.4)	(29.0)	(4.1)	(1.1)	(0.4)	(0.0)	(100.0)	
	69.4	22.8	7.8	0.0	0.0	0.0	100.0	
10. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか	(76.2)	(20.1)	(2.6)	(0.0)	(1.1)	(0.0)	(100.0)	
	72.0	22.0	6.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
11. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思いますか	(71.7)	(25.7)	(0.7)	(0.7)	(0.7)	(0.5)	(100.0)	
	77.0	18.0	5.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
12. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思いますか	(84.0)	(14.1)	(1.1)	(0.4)	(0.4)	(0.0)	(100.0)	
	81.5	16.1	2.4	0.0	0.0	0.0	100.0	
13. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思いますか	(69.5)	(23.4)	(5.6)	(1.1)	(0.4)	(0.0)	(100.0)	
	65.5	21.4	12.6	0.5	0.0	0.0	100.0	
14. この授業は総合的に満足出来たと思いますか	(75.1)	(21.2)	(2.6)	(0.7)	(0.4)	(0.0)	(100.0)	
	71.2	20.5	8.3	0.0	0.0	0.0	100.0	
全質問項目の平均	平成27年度	(68.5)	(26.0)	(4.2)	(0.7)	(0.5)	(0.1)	(100.0)
	平成28年度	70.3	22.2	7.4	0.1	0.0	0.0	100.0

# 授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 修士課程

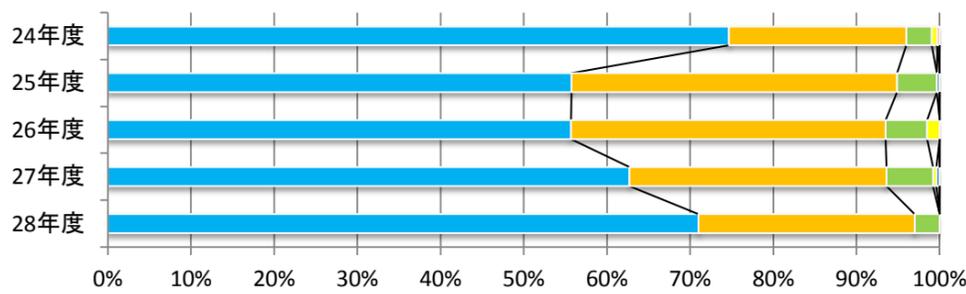
## ◆ 年度別 授業評価集計結果

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
全科目数	44科目	46科目	48科目	55科目	53科目
調査対象者数（延人数）	375人	421人	314人	421人	379人
総回答数（回答率）	323枚（86%）	314枚（75%）	202枚（64%）	269枚（64%）	212枚（56%）

## ◆ 年度別・質問項目別 集計結果

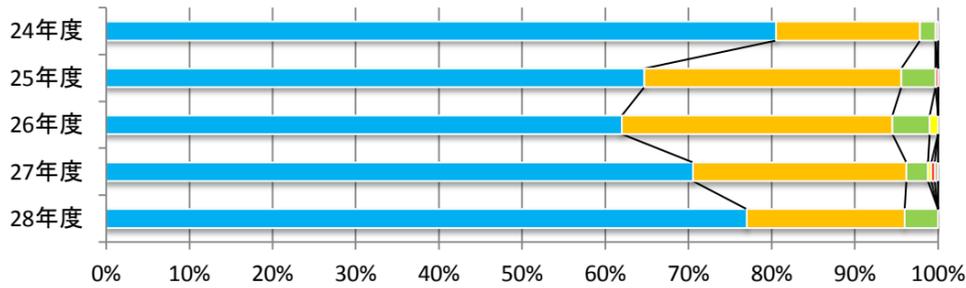
<span style="color: blue;">■</span> そう思う	<span style="color: orange;">■</span> ややそう思う	<span style="color: green;">■</span> どちらとも いえない	<span style="color: yellow;">■</span> そう思わない	<span style="color: red;">■</span> 全くそう 思わない
--	--	--	--	---

### Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか



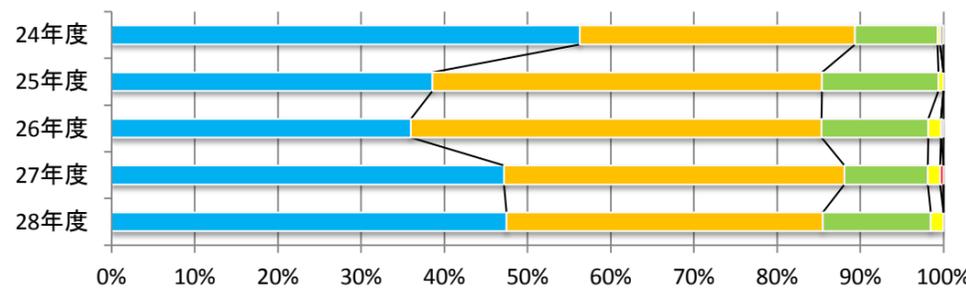
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	74.9	21.4	96.3	-
25年度	55.7	39.2	94.9	△ 1.4
26年度	55.7	37.8	93.5	△ 1.4
27年度	62.8	30.9	93.7	+0.2
28年度	71.0	26.0	97.0	+3.3

### Q2.この授業に興味・関心が持てたと思いますか



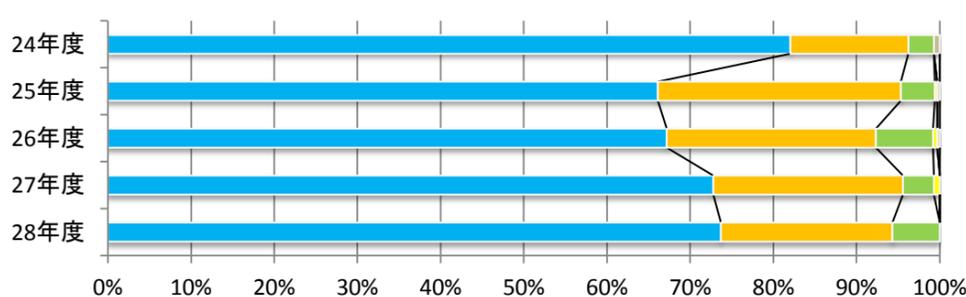
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	80.5	17.3	97.8	-
25年度	64.7	30.9	95.6	△ 2.2
26年度	62.0	32.5	94.5	△ 1.1
27年度	70.6	25.7	96.3	+1.8
28年度	77.0	19.0	96.0	△ 0.3

### Q3.授業内容をよく理解できたと思いますか



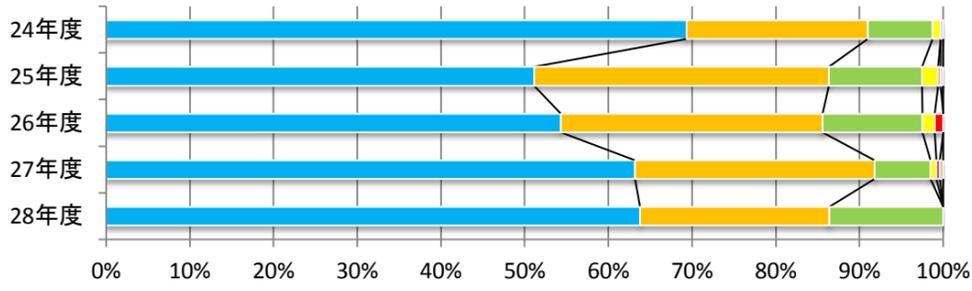
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	56.3	33.1	89.4	-
25年度	38.6	46.8	85.4	△ 4.0
26年度	36.1	49.5	85.6	+0.2
27年度	47.2	40.9	88.1	+2.5
28年度	47.5	38.0	85.5	△ 2.6

### Q4.この授業は将来役立つと思いますか



	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	82.4	14.2	96.6	-
25年度	66.3	29.3	95.6	△ 1.0
26年度	67.4	25.2	92.6	△ 3.0
27年度	72.5	22.7	95.2	+2.6
28年度	73.7	20.6	94.3	△ 0.9

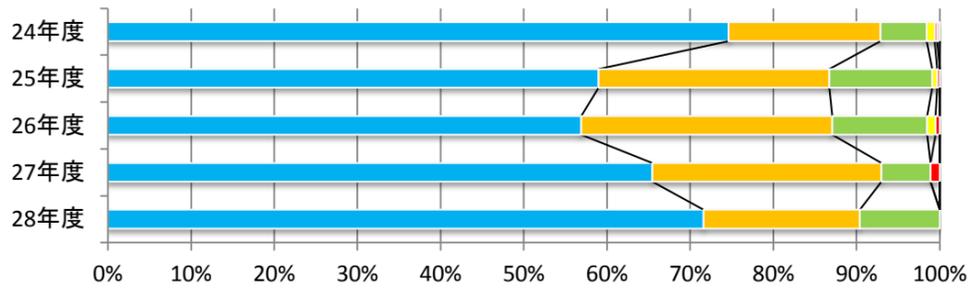
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか



(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	69.3	21.7	91.0	-
25年度	51.3	35.4	86.7	△ 4.3
26年度	54.3	31.3	85.6	△ 1.1
27年度	63.2	28.6	91.8	+6.2
28年度	63.8	22.6	86.4	△ 5.4

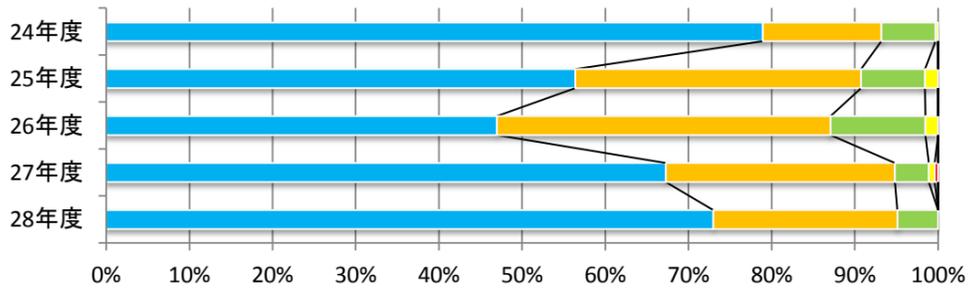
Q6.この授業を、ほかの人にも勧めたいと思いますか



(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	74.6	18.3	92.9	-
25年度	59.0	27.7	86.7	△ 6.2
26年度	56.9	30.2	87.1	+0.4
27年度	65.4	27.5	92.9	+5.8
28年度	71.6	18.8	90.4	△ 2.5

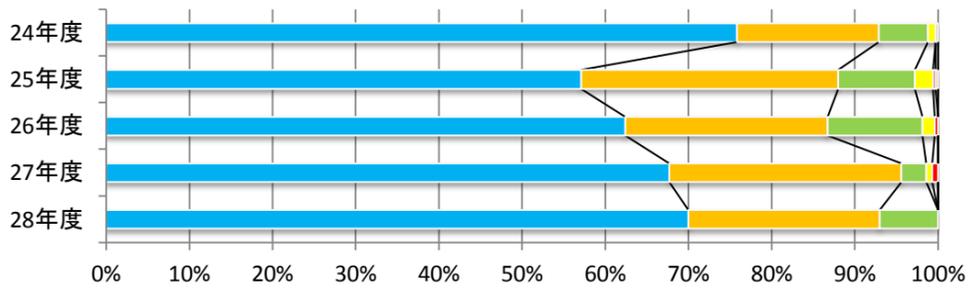
Q7.授業はシラバスに沿って行われたと思いますか



(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	78.9	14.2	93.1	-
25年度	56.4	34.4	90.8	△ 2.3
26年度	47.0	40.1	87.1	△ 3.7
27年度	67.3	27.5	94.8	+7.7
28年度	73.0	22.1	95.1	+0.3

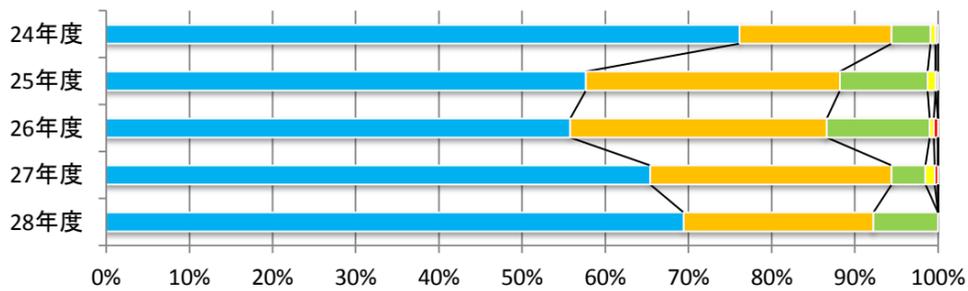
Q8.この授業の進め方は適切だったと思いますか



(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	75.9	17.0	92.9	-
25年度	57.1	30.9	88.0	△ 4.9
26年度	62.4	24.3	86.7	△ 1.3
27年度	67.7	27.9	95.6	+8.9
28年度	70.0	23.0	93.0	△ 2.6

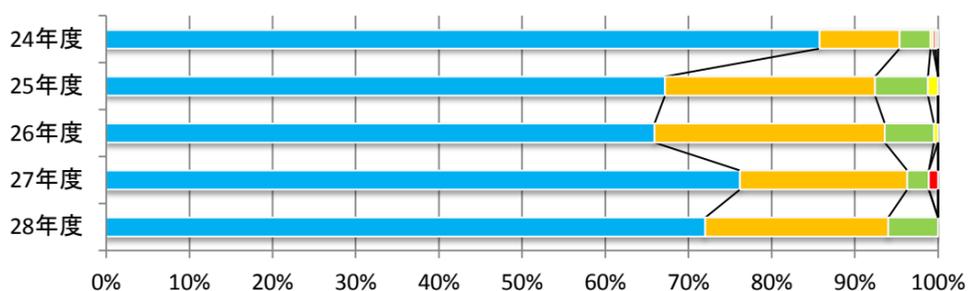
Q9.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか



(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	76.2	18.3	94.5	-
25年度	57.6	30.6	88.2	△ 6.3
26年度	55.8	30.8	86.6	△ 1.6
27年度	65.4	29.0	94.4	+7.8
28年度	69.4	22.8	92.2	△ 2.2

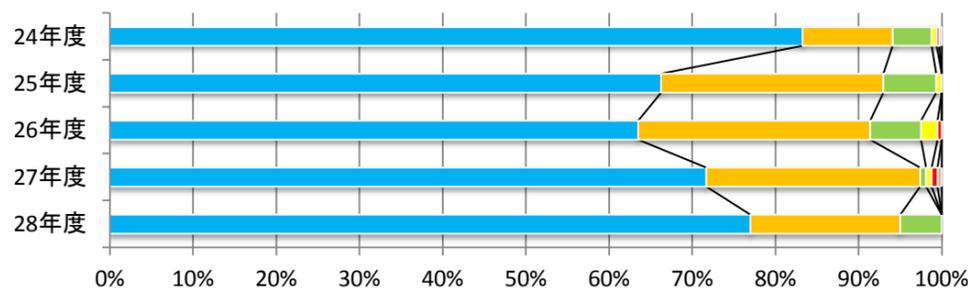
Q10.教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか



(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	85.8	9.6	95.4	—
25年度	67.2	25.2	92.4	△ 3.0
26年度	65.9	27.7	93.6	+1.2
27年度	76.2	20.1	96.3	+2.7
28年度	72.0	22.0	94.0	△ 2.3

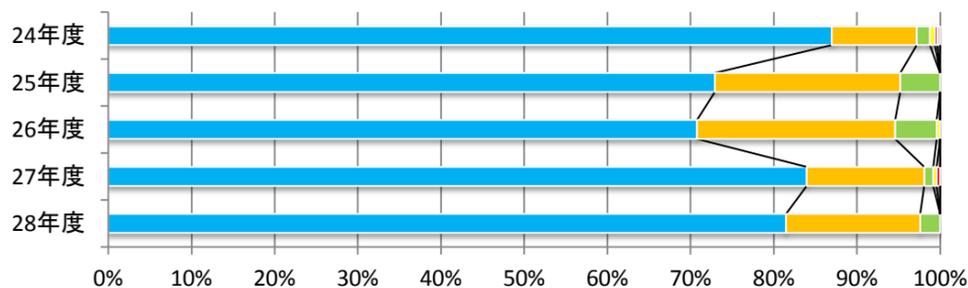
Q11.教員は限られた授業時間を適切に活用したと思いますか



(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	83.3	10.8	94.1	—
25年度	66.2	26.8	93.0	△ 1.1
26年度	63.5	27.9	91.4	△ 1.6
27年度	71.7	25.7	97.4	+6.0
28年度	77.0	18.0	95.0	△ 2.4

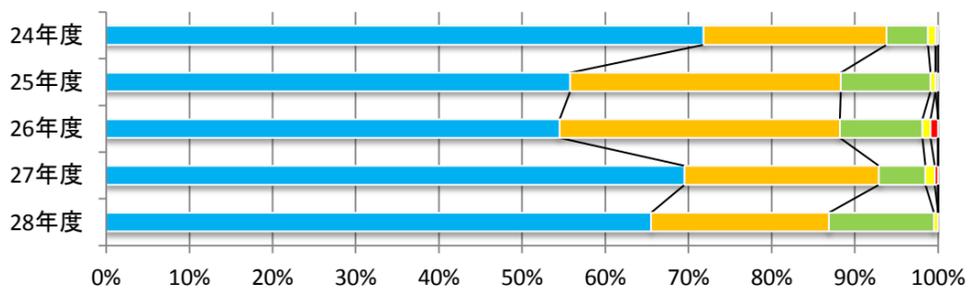
Q12.教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思いますか



(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	87.0	10.2	97.2	—
25年度	72.9	22.3	95.2	△ 2.0
26年度	70.8	23.8	94.6	△ 0.6
27年度	84.0	14.1	98.1	+3.5
28年度	81.5	16.1	97.6	△ 0.5

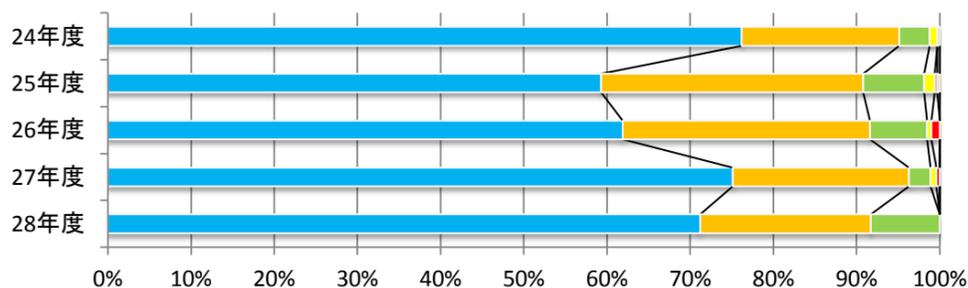
Q13.教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思いますか  
(24年度新規質問項目)



(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	71.8	22.0	93.8	—
25年度	55.8	32.5	88.3	△ 5.5
26年度	54.5	33.7	88.2	△ 0.1
27年度	69.5	23.4	92.9	+4.7
28年度	65.5	21.4	86.9	△ 6.0

Q14.この授業は総合的に満足出来たと思いますか



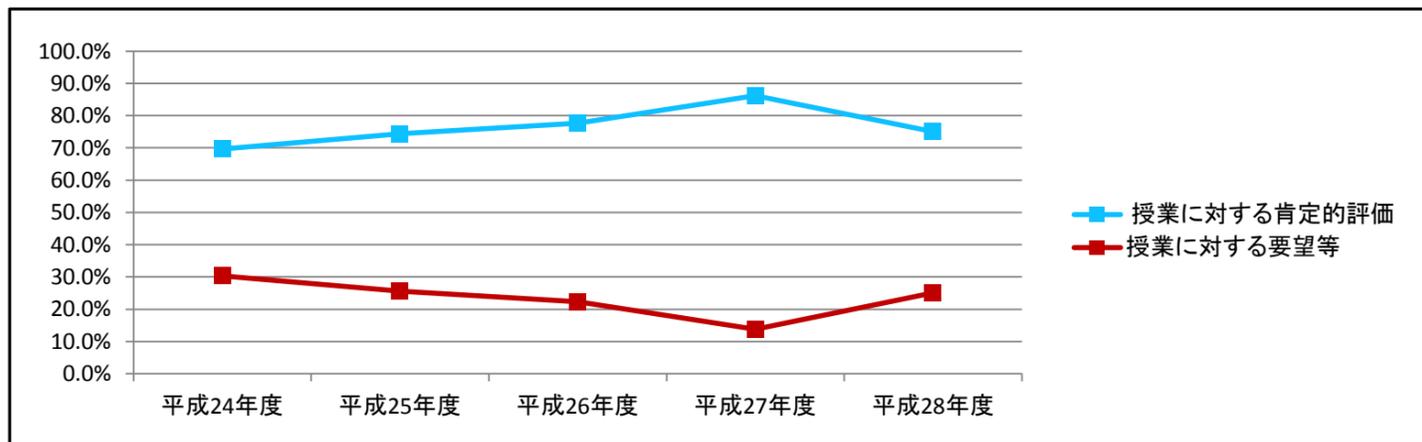
(%)

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	76.2	18.9	95.1	—
25年度	59.3	31.5	90.8	△ 4.3
26年度	61.9	29.7	91.6	+0.8
27年度	75.1	21.2	96.3	+4.7
28年度	71.2	20.5	91.7	△ 4.6

## ◆ 年度別 自由記述集計結果

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
授業に対する肯定的評価	(69.7%) 23	(74.4%) 87	(77.6%) 59	(86.2%) 75	(75.0%) 48
授業に対する要望等	(30.3%) 10	(25.6%) 30	(22.4%) 17	(13.8%) 12	(25.0%) 16
総件数	(100.0%) 33	(100.0%) 117	(100.0%) 76	(100.0%) 87	(100.0%) 64

※ ( ) 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



## ◆ 自由記述の主な内容（平成28年度）

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	48	他の領域のプレゼンテーションにて、院生全員の意見を聞いて現状と課題がわかり、これからの自分の課題が見えました。大変よい機会となりました。
		様々な先生方の専門分野が大変面白く、興味が持てました。国別、歴史の変遷、日本国内の地域別と様々な視点から医療経済について考えられるようになり、視野が広がりました。
		研究を進めるにあたって、どのように尺度を設定・分析していくか良く分かりました。今まで参考書を読むだけでは理解できなかったことが、先生の講義を聞いて理解できました。
		全体の様子を丁寧に見極めながら進めて下さり、スピード・内容共に大変満足 of いく内容でした。改めて、沢山の課題や新しく考えていく必要があることなど、キーワードを頂きました。ありがとうございました。
		クリティークや、概念枠組み、理論に基づいた事例展開など、今後の実践や、臨床に結びつく内容で大変良かったです。プレゼンテーションに慣れていない為、緊張しましたが、非常に良い経験になりました。ありがとうございました。
		自分が今まで学んだ中の不明瞭なところ、理解が浅い項目がクリアになるととても深い学びが出来ました。来年、同じ内容でももう一度学びたい授業です。ありがとうございました。
		色々な資料を元に、難しいトピックスを分かりやすく講義していただきました。関連する項目との相関も分かり、今後も興味深く関心を持っていきます。学ぶことの楽しさを体感した授業でした。
授業に対する 要望等	16	学生の実理解のペースに合わせて行ってくれていることと、記録をして下さるので、授業は非常に分かりやすかったです。しかし、その時は分かったような気がするのですが、深い理解は得られませんでした。もう少し、練習問題など実践できるものを多く取り入れてもらうとより理解が深まったのではないかと思います。
		研究を進めるにあたり、もう少し早い時期に学べたらというようにも思いましたが、今だからわかることも大変多かったです。できれば夏の集中講義に学べたら良かったと思いました。
		臨床現場で知識を利用出来る内容で、大変分かりやすくご教授いただき感謝しております。もっとこのような講義の割合を増やしていただけたらと思います。
計	64	

## 平成 28 年度 授業評価実施結果についての概要

東京医療保健大学東が丘・立川看護学部

○本学部では、前期・後期に実施された講義・演習科目及び実習・実験科目の全授業科目について、学生による授業評価を実施しました。授業評価結果については、当該教員に配布し、次年度以降の授業改善の基礎データとして活用していただくこととしており、その具体的な内容等については、学部年報に記載し公表するとともに、授業評価結果に対する考察を公表しております。

○授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか。」及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。」について尋ねる記述式の質問を新たに加えております。また、自由記述件数は、各年度により記述項目の増減があり、これに伴い、総件数も増減していますが、「授業に対する肯定的評価」は総件数の概ね 8 割で安定的に推移しています。

○授業評価結果の各質問項目別の集計結果については、「そう思う」、「ややそう思う」、「どちらともいえない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」及び「無回答」のそれぞれの割合(%)により表記しております。また、自由記述については、「授業に対する肯定的評価」、「授業に対する要望等」及び「施設・設備等に関する要望等」に分類するとともに、その主な具体的意見等が分かるよう表記しております。

質問項目別の肯定的な回答の「そう思う」「ややそう思う」の割合は以下のとおりとなっています。

		前年度
I. 学生として自分自身の授業態度について	88.9%	(86.4%)
II. 授業内容について	83.6%	(81.3%)
III. 教員の教え方について	83.1%	(80.9%)
IV. 教員の姿勢について	83.3%	(80.7%)
全質問項目の平均	84.4%	(82.0%)

## 平成 28 年度 東が丘・立川看護学部の授業評価結果に対する考察

副学長 学部長 山西 文子  
副学長 草間 朋子

- 授業評価の対象になった科目数は 190 科目で、授業評価に参加した学生数延べ 18,836 人である。アンケートへの回答率は 94%であり、授業評価に対する学生の関心・意識は高い。臨床看護学コース・災害看護学コースともに 1 年次生から 4 年次生まで揃った状態での授業評価は本年度が初めてである。
- 自己の授業態度については、「講義・演習科目」に対して 87.9%、「実習・実験科目」に対して 96%の学生が肯定的な回答をしており、学生の学習への取り組み態度に期待していききたい。一方、授業評価とは別に実施している「学生生活実態調査」の結果では、1 日当たりの自主学習の時間が想像以上に短いことが示されており、専門職をめざす学生にとって、事前学習、事後学習（本年度からシラバス上にも取り入れている）の必要性をしっかりと認識させていく必要があると考えている。
- 「授業内容」については、「講義・演習科目」に対して 81%、「実習・実験科目」に対して 94.9%の学生が肯定的な回答をしている。しかし、十分に授業内容を理解している（「そう思う」に回答）学生が 40%に満たない（例年も同様）結果から、教員は、学生の理解度をその都度、確認しながら授業を展開する工夫が必要とされる。
- 教員の教え方については、「講義・演習科目」に対して 80.4%、「実習・実験科目」に対して 92.5%の学生が肯定的な回答をしている。
- 教員の姿勢については、「講義・演習科目」に対して 82.1%、「実習・実験科目」に対して 92.1%の学生が肯定的な回答をしている。
- 「講義・演習」に比べて、参加型の授業である「実習・実験」に対する評価が高いことは当然予測されることではあるが、本学が進めている「実習連携会議」などを通して、実習現場の指導者のみなさまにご協力いただいている成果の反映でもあると感謝している。
- 本学部は、1 年次から実習を取り入れて、1 年次に 2 回（6 月に 1 週間、2 月に 2 週間）の基礎看護学領域の臨地実習を配置し、入学後の早い時期から「看護学」「看護」に対する目的意識、意欲を高め、看護学を学ぶことへのモチベーションを高めることとしている。実習に対して肯定的な意見が多いことなどからも、本学のカリキュラム・ポリシーが授業評価の結果にも反映されているものと確信している。
- 授業評価の結果は、授業を提供する教員達にとっては、概ね満足のものを受け止めている。授業評価の結果を真摯に受け止め、改善すべきところは改善し、本学部が教育目標に掲げている「tomorrow's Nurse の育成」を目指して教職員一同、教育の質の向上にさらに努めていきたい。
- 学習環境とくに講義室の整備に対して学生から毎年改善の要望が出されている。看護学を学ぶ学生にとっては、必須科目が多く、しかも科目を段階的に履修していかなければならず講義室に滞在する時間が長いことに鑑み、講義室の整備にはさらに尽力いただくよう働きかけていく所存である。

以上

## 平成28年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○全科目数 190科目    ○調査対象者数 18,836人（延人数）  
 ○総回答数 17,709枚（回答率 94.0%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果  
 〈上段（ ）は平成27年度アンケート結果〉  
 〈質問項目番号の（ ）は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉

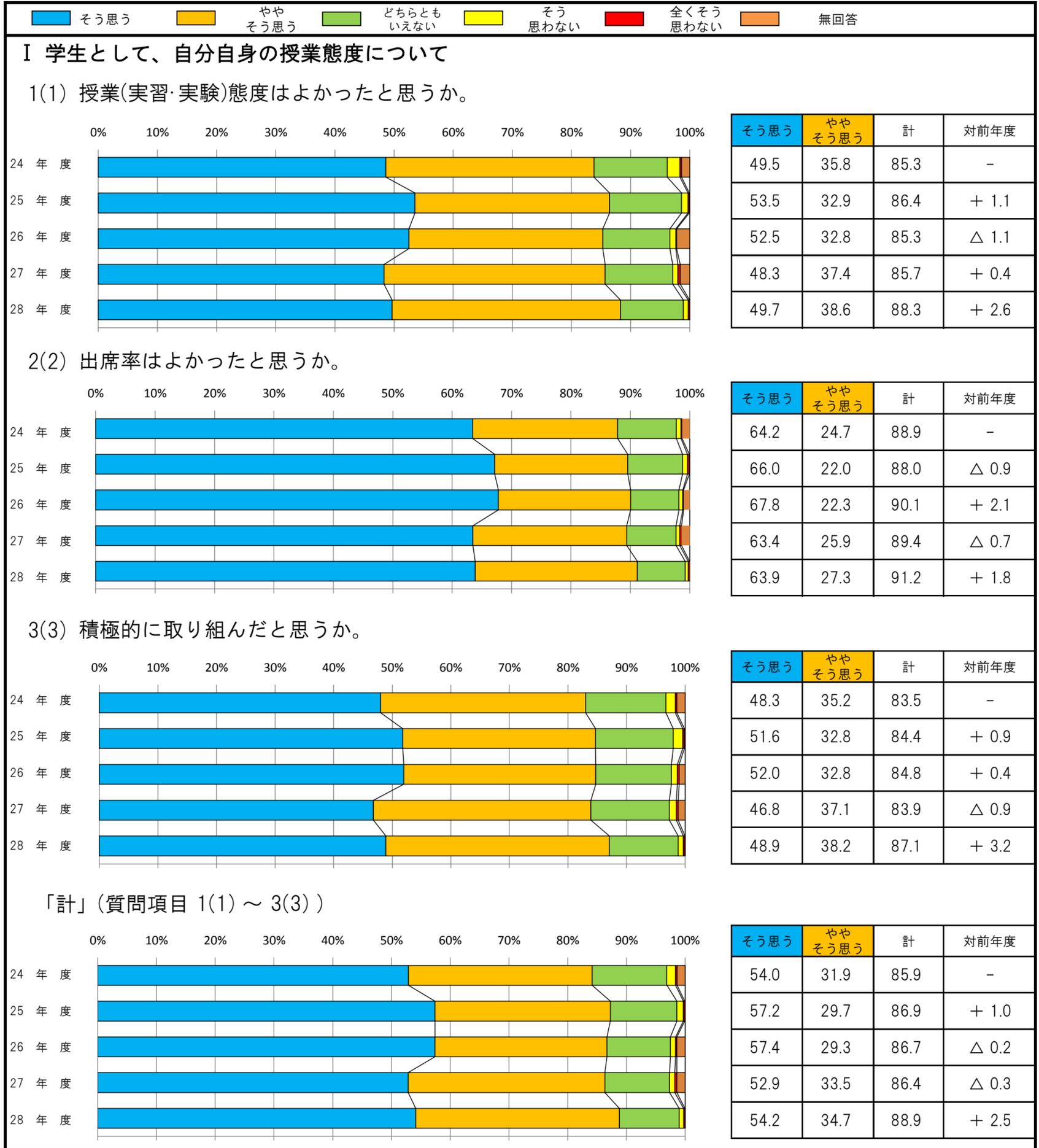
質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
<b>I 学生として、自分自身の授業態度について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)態度はよかったと思うか。	(48.3)	(37.4)	(11.4)	(1.0)	(0.4)	(1.5)	(100)
	49.7	38.6	10.6	0.9	0.2	0.0	100
2(2) 出席率はよかったと思うか。	(63.4)	(25.9)	(8.3)	(0.6)	(0.3)	(1.5)	(100)
	63.9	27.3	8.1	0.5	0.2	0.0	100
3(3) 積極的に取り組んだと思うか。	(46.8)	(37.1)	(13.4)	(1.2)	(0.4)	(1.1)	(100)
	48.9	38.2	11.7	0.9	0.3	0.0	100
計	(52.9)	(33.5)	(11.0)	(0.9)	(0.3)	(1.4)	(100)
	54.2	34.7	10.1	0.8	0.2	0.0	100
<b>II 授業内容について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)に興味・関心が持てたと思うか。	(42.5)	(39.5)	(13.6)	(1.9)	(0.9)	(1.5)	(100)
	43.3	40.8	13.3	1.8	0.7	0.1	100
5(5) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(37.4)	(41.5)	(16.0)	(2.5)	(1.1)	(1.5)	(100)
	39.0	42.8	15.2	2.3	0.7	0.0	100
6(6) この授業(実習・実験)内容は将来役立つと思うか。	(46.0)	(36.9)	(13.0)	(1.7)	(0.8)	(1.6)	(100)
	46.9	37.8	12.8	1.7	0.7	0.1	100
計	(42.0)	(39.3)	(14.2)	(2.1)	(0.9)	(1.5)	(100)
	43.1	40.5	13.7	1.9	0.7	0.1	100
<b>III 教員の教え方について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(7) 授業(実習・実験)はシラバスに沿って行われたと思うか。	(44.2)	(37.9)	(13.9)	(1.5)	(0.7)	(1.8)	(100)
	45.2	39.1	13.6	1.4	0.5	0.2	100
14(9) 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(42.3)	(37.3)	(15.3)	(2.1)	(1.0)	(2.0)	(100)
	43.4	38.5	14.8	2.2	0.9	0.2	100
計	(43.3)	(37.6)	(14.6)	(1.8)	(0.8)	(1.9)	(100)
	44.3	38.8	14.2	1.8	0.7	0.2	100
<b>IV 教員の姿勢について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15(10) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(43.7)	(37.4)	(14.0)	(1.9)	(1.0)	(2.0)	(100)
	45.3	38.6	13.5	1.7	0.7	0.2	100
16(11) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(45.2)	(36.7)	(13.3)	(1.7)	(0.9)	(2.2)	(100)
	46.1	38.0	13.3	1.6	0.7	0.3	100
17(12) 教員は学生のレベルを把握して授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(41.3)	(37.8)	(14.9)	(2.3)	(1.2)	(2.5)	(100)
	43.1	38.8	14.9	2.1	0.8	0.3	100
計	(43.4)	(37.3)	(14.1)	(2.0)	(1.0)	(2.2)	(100)
	44.8	38.5	13.9	1.8	0.7	0.3	100
<b>V 総合評価</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
18(13) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(40.6)	(37.2)	(14.4)	(2.0)	(1.1)	(4.7)	(100)
	42.7	37.2	14.0	2.3	0.8	3.0	100
<b>全質問項目の平均</b>	(45.1)	(36.9)	(13.5)	(1.7)	(0.8)	(2.0)	(100)
	46.4	38.0	13.0	1.6	0.6	0.4	100

# 授業評価アンケート集計結果 年度別比較

## ◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

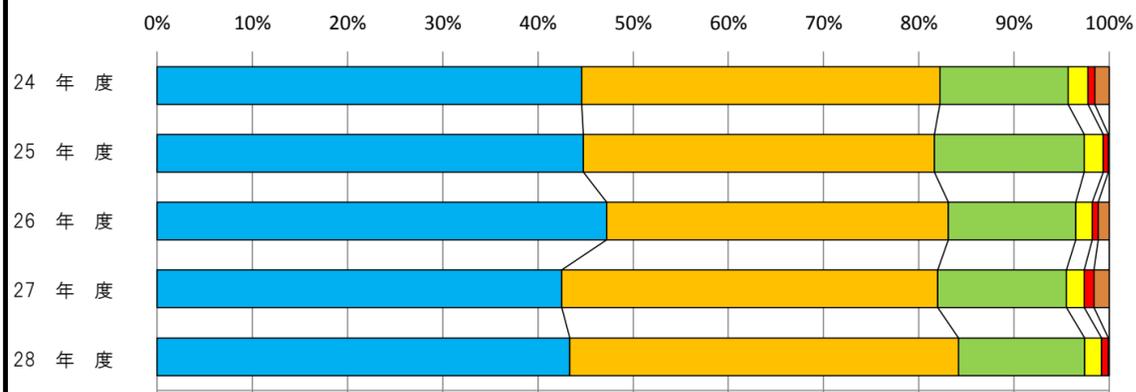
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
全科目数	103科目	103科目	119科目	157科目	190科目
調査対象者数	9,499人	10,115人	12,915人	14,772人	18,836人
総回答数(回答率)	8876枚(93.4%)	9,195枚(90.9%)	12,360枚(95.7%)	14,383枚(97.4%)	17,709枚(94.0%)

## ◆ 年度別・質問項目別 集計結果



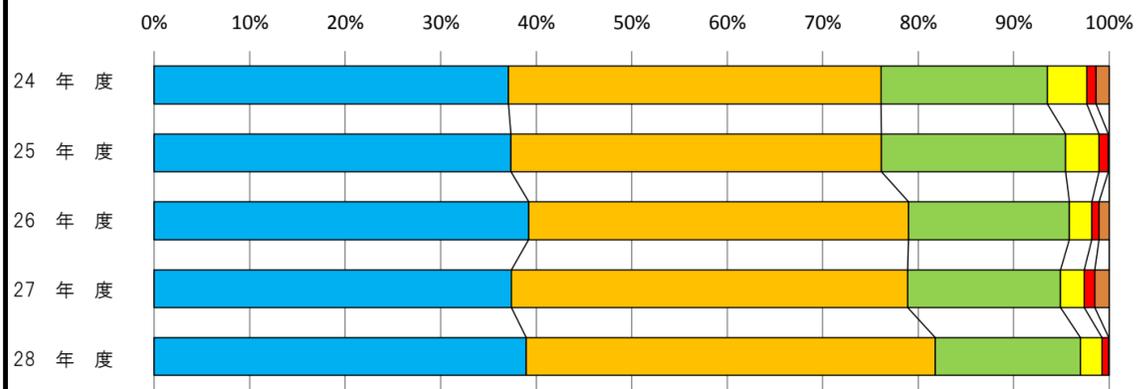
## Ⅱ 授業内容について

### 4(4) 授業(実習・実験)に興味・関心が持てたと思うか。



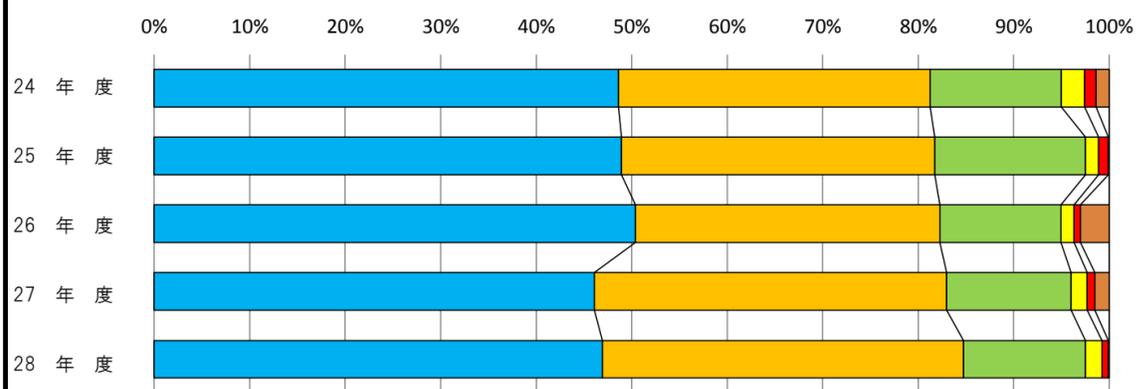
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.6	37.6	82.2	-
44.5	36.7	81.2	△ 1.0
47.2	35.9	83.1	+ 1.9
42.5	39.5	82.0	△ 1.1
43.3	40.8	84.1	+ 2.1

### 5(5) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



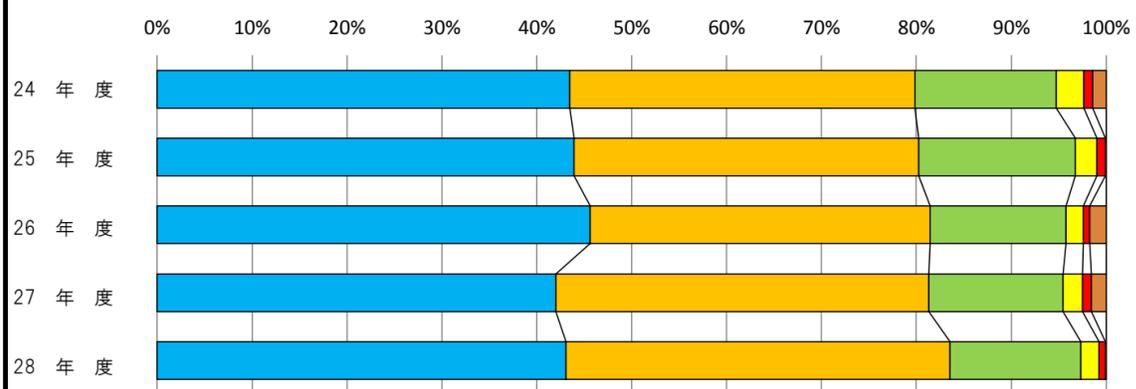
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.9	39.9	77.8	-
37.7	39.2	76.9	△ 0.9
39.2	39.8	79.0	+ 2.1
37.4	41.5	78.9	△ 0.1
39.0	42.8	81.8	+ 2.9

### 6(6) この授業(実習・実験)内容は将来役立つと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.6	33.3	82.9	-
49.5	33.2	82.7	△ 0.2
50.4	31.9	82.3	△ 0.4
46.0	36.9	83.0	+ 0.7
46.9	37.8	84.7	+ 1.7

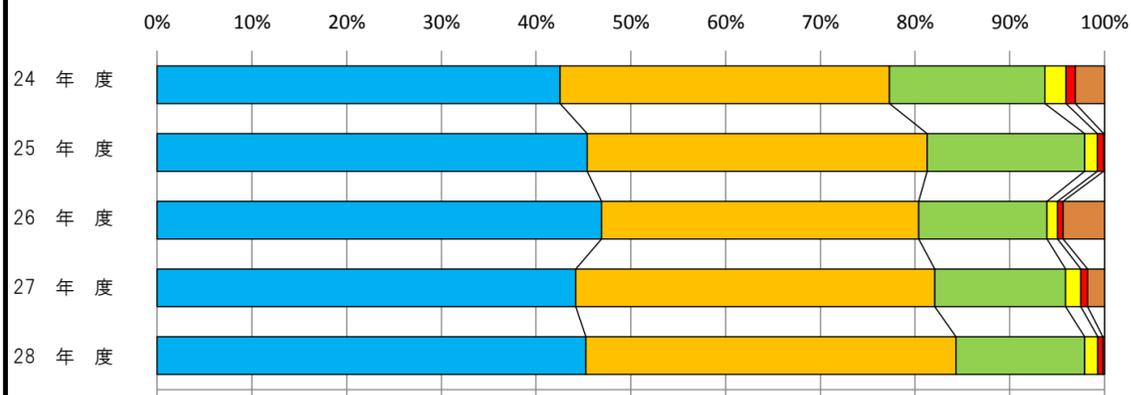
### 「計」(質問項目 4(4) ~ 6(6))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.1	36.9	81.0	-
43.9	36.3	80.2	△ 0.8
45.6	35.8	81.4	+ 1.2
42.0	39.3	81.3	△ 0.1
43.1	40.5	83.6	+ 2.3

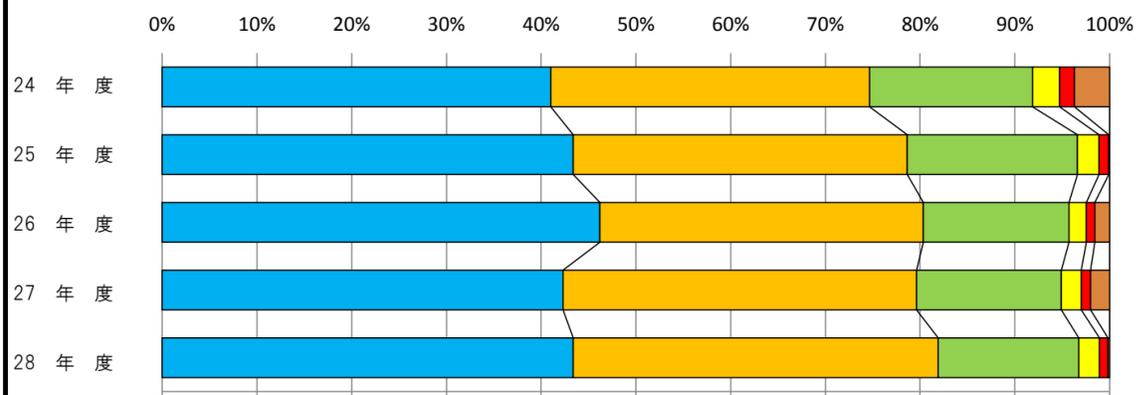
### Ⅲ 教員の教え方について

8(7) 授業(実習・実験)はシラバスに沿って行われたと思うか。



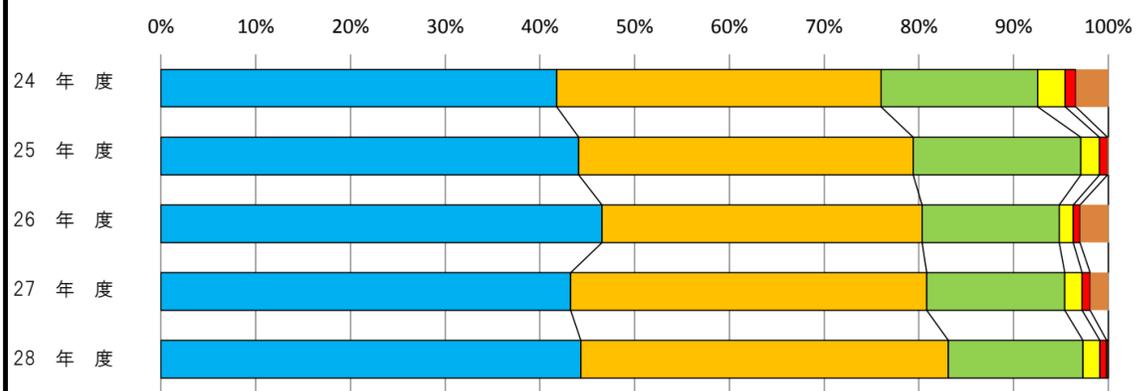
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.0	36.0	80.0	-
45.3	35.8	81.1	+ 1.1
46.9	33.5	80.4	△ 0.7
44.2	37.9	82.1	+ 1.7
45.2	39.1	84.3	+ 2.2

14(9) 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.9	35.2	78.1	-
43.4	35.3	78.7	+ 0.6
46.2	34.1	80.3	+ 1.6
42.3	37.3	79.6	△ 0.7
43.4	38.5	81.9	+ 2.3

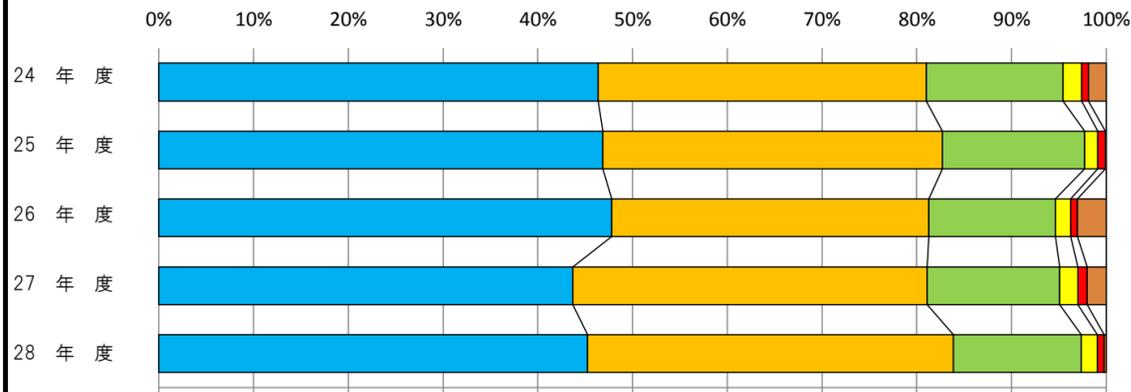
「計」(質問項目 8(7)・14(9))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.5	35.6	79.1	-
44.4	35.5	79.9	+ 0.8
46.6	33.8	80.4	+ 0.5
43.3	37.6	80.9	+ 0.5
44.3	38.8	83.1	+ 2.2

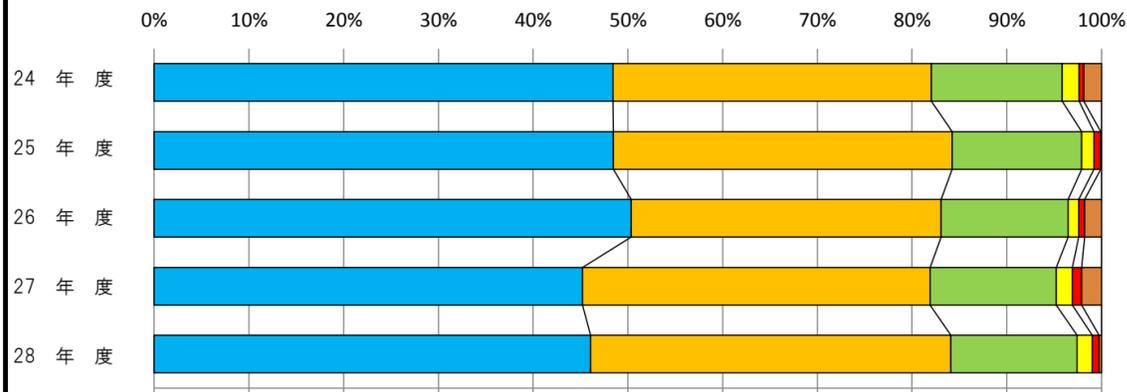
#### IV 教員の姿勢について

15(10) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



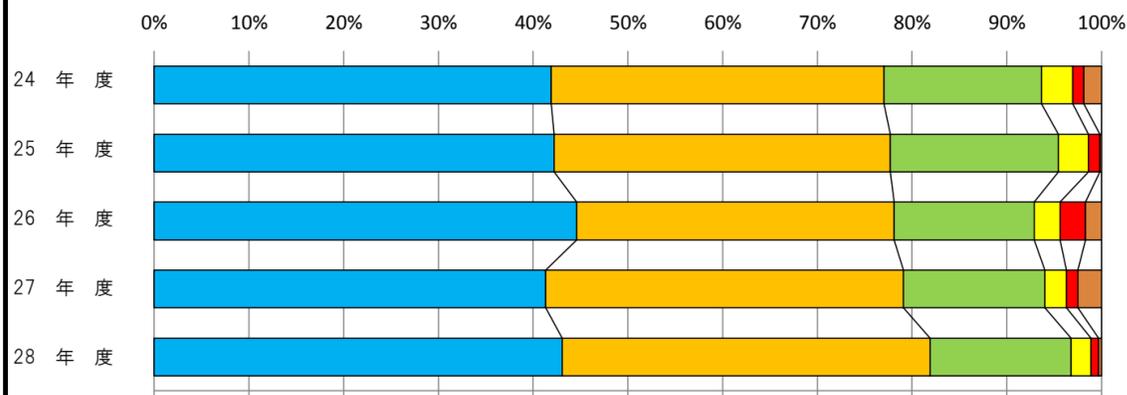
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.6	34.8	81.4	-
46.2	35.3	81.5	+ 0.1
47.8	33.5	81.3	△ 0.2
43.7	37.4	81.1	△ 0.2
45.3	38.6	83.9	+ 2.8

16(11) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って臨んでいたと思うか。



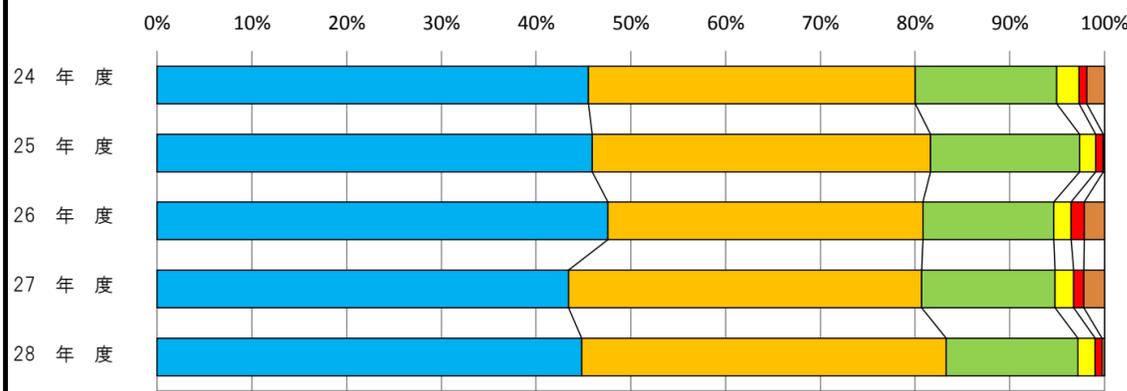
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
48.8	33.9	82.7	-
47.8	35.3	83.1	+ 0.4
50.3	32.7	83.0	△ 0.1
45.2	36.7	81.9	△ 1.1
46.1	38.0	84.1	+ 2.2

17(12) 教員は学生のレベルを把握して授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.9	36.0	78.9	-
42.8	35.9	78.7	△ 0.2
44.6	33.5	78.1	△ 0.6
41.3	37.8	79.1	+ 1.0
43.1	38.8	81.9	+ 2.8

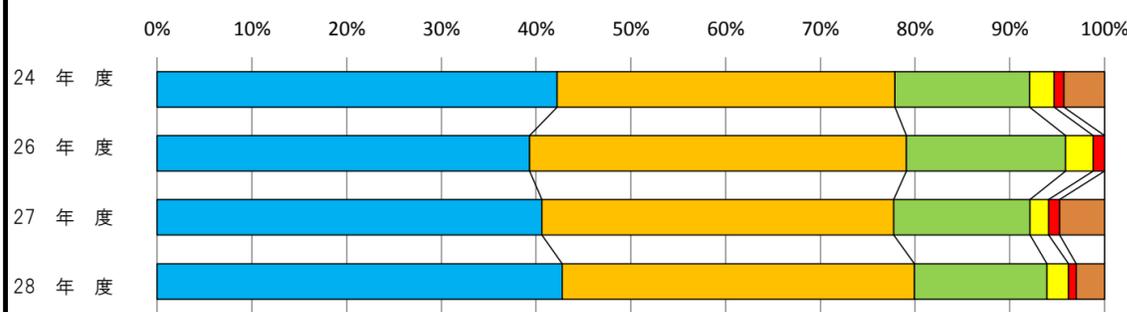
「計」(質問項目 15(10) ~ 17(12))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.1	34.9	81.0	-
45.6	35.5	81.1	+ 0.1
47.6	33.3	80.9	△ 0.2
43.4	37.3	80.7	△ 0.2
44.8	38.5	83.3	+ 2.6

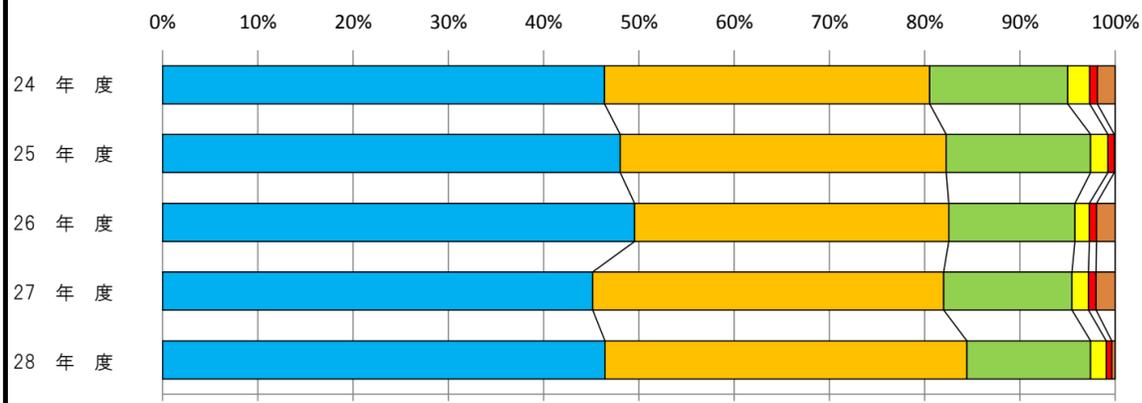
#### V 総合評価

18(13) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.2	35.7	77.9	-
39.3	39.8	79.1	+ 1.2
40.6	37.2	77.8	△ 1.3
42.7	37.2	79.9	+ 2.1

### 全質問項目の平均

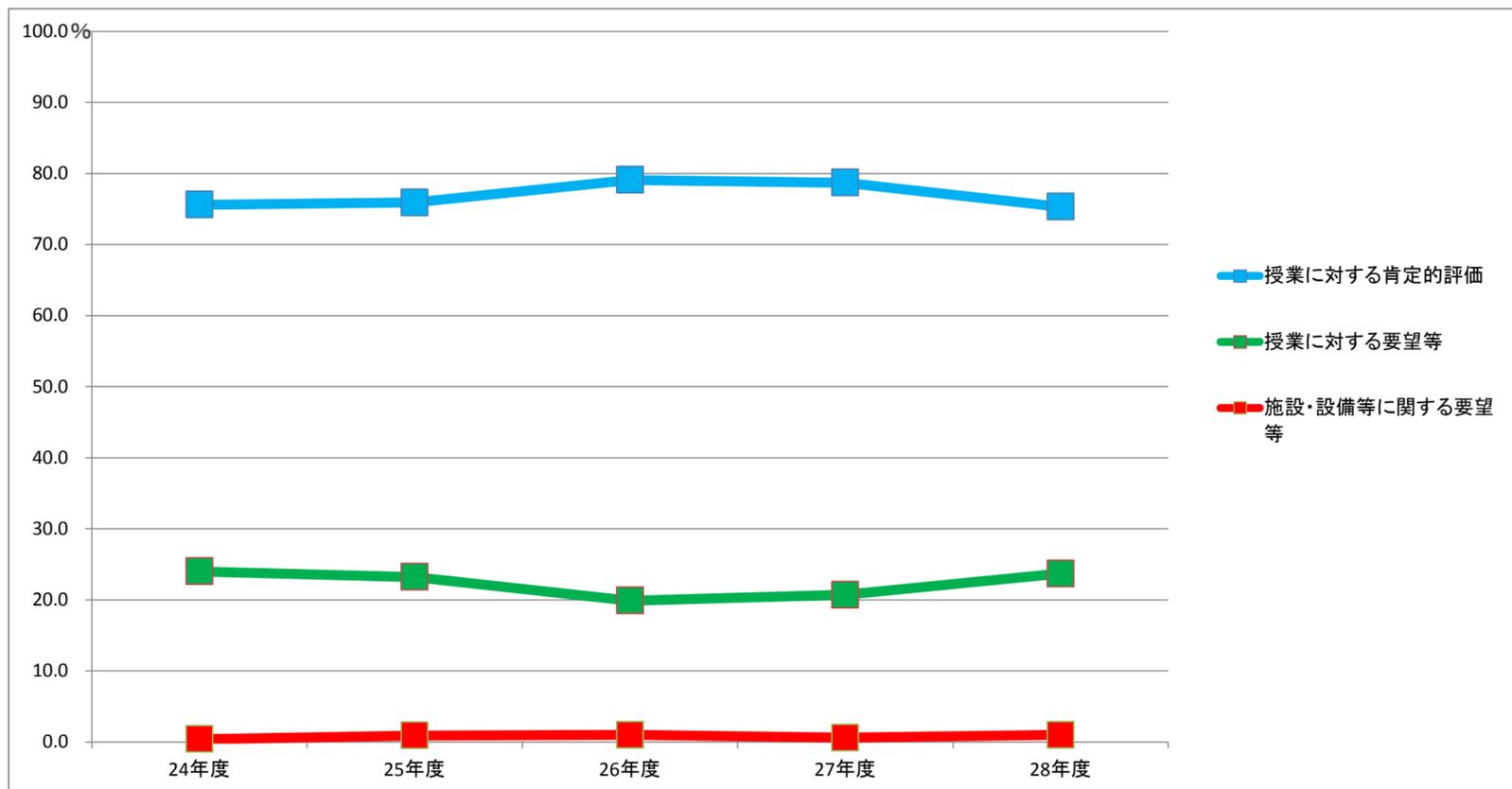


	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24 年 度	47.2	34.8	82.0	-
25 年 度	48.0	34.2	82.2	+ 0.2
26 年 度	49.5	33.0	82.5	+ 0.3
27 年 度	45.1	36.9	82.0	△ 0.5
28 年 度	46.4	38.0	84.4	+ 2.4

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
授業に対する肯定的評価	(75.6%) 1,853	(75.9%) 245	(79.1%) 743	(78.7%) 373	(75.3%) 492
授業に対する要望等	(24.0%) 589	(23.2%) 75	(19.9%) 187	(20.7%) 98	(23.7%) 155
施設・設備等に関する要望等	(0.4%) 9	(0.9%) 3	(1.0%) 9	(0.6%) 3	(1.0%) 6
総件数	(100.0%) 2,451	(100.0%) 323	(100.0%) 939	(100.0%) 474	(100.0%) 653

※ ( ) 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	492	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質疑応答があつてよく理解できた。</li> <li>・ 興味がある内容ばかりで、とてもおもしろい授業でした。</li> <li>・ 今まで自分が考えていたことが、講義を受けたことで考えが変わり、深まった。</li> <li>・ とても充実した実習でした。この時期にこのような実習を行えたことはとても価値のあることだと思いました。</li> <li>・ これから働き始める上で、とても役に立ちそうなことを学べたのでよかった。内容に関心があったので面白く学べた。</li> </ul>
授業に対する要望等	155	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生との対話を増やして欲しかった。</li> <li>・ もっと、プリントの穴埋めを増やして欲しかった。</li> <li>・ 書きながら話を聞くのが難しいので、ゆっくり話して欲しい。</li> <li>・ チーム分けは自由が良かった。</li> </ul>
施設・設備等に関する要望等	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平面教室の黒板は見づらい。</li> <li>・ 教室の椅子はパソコンに適さない。首が疲れた。</li> </ul>
計	653	

## 平成28年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○講義・演習科目数 166科目    ○調査対象者数 16,308人(延人数)  
 ○総回答数 15,569枚(回答率 95.5%)

### ◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は平成27年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
<b>I 学生として、自分自身の授業態度について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業態度はよかったと思うか。	(45.8)	(39.0)	(12.4)	(1.0)	(0.4)	(1.4)	(100)
	46.8	40.4	11.5	1.0	0.3	0.0	100
2. 出席率はよかったと思うか。	(60.9)	(27.7)	(9.0)	(0.7)	(0.3)	(1.4)	(100)
	61.8	28.7	8.8	0.5	0.2	0.0	100
3. 積極的に取り組んだと思うか。	(43.8)	(38.7)	(14.5)	(1.3)	(0.4)	(1.3)	(100)
	45.9	40.0	12.8	1.0	0.2	0.1	100
計	(50.2)	(35.1)	(12.0)	(1.0)	(0.4)	(1.4)	(100)
	51.5	36.4	11.1	0.8	0.2	0.0	100
<b>II 授業内容について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。	(39.5)	(41.3)	(14.4)	(2.1)	(1.0)	(1.7)	(100)
	40.2	42.5	14.5	2.0	0.7	0.1	100
5. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(35.0)	(42.5)	(17.1)	(2.7)	(1.2)	(1.5)	(100)
	36.0	44.0	16.6	2.5	0.8	0.1	100
6. この授業内容は将来役立つと思うか。	(43.4)	(38.7)	(14.0)	(1.9)	(0.9)	(1.5)	(100)
	43.7	39.5	14.1	1.9	0.8	0.0	100
7. この授業は他学科の学生等にも薦めたいと思うか。	(37.4)	(38.8)	(17.9)	(2.6)	(1.5)	(1.8)	(100)
	38.6	39.6	17.9	2.6	1.2	0.1	100
計	(38.8)	(40.3)	(15.9)	(2.3)	(1.1)	(1.6)	(100)
	39.6	41.4	15.8	2.2	0.9	0.1	100
<b>III 教員の教え方について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。	(42.0)	(39.1)	(14.7)	(1.6)	(0.7)	(1.9)	(100)
	42.7	40.4	14.6	1.5	0.6	0.2	100
9. 授業に集中できる雰囲気は保たれていたと思うか。	(39.5)	(40.1)	(15.2)	(2.5)	(1.1)	(1.6)	(100)
	40.0	40.5	15.8	2.6	1.0	0.1	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(41.7)	(38.1)	(15.3)	(2.2)	(1.2)	(1.5)	(100)
	41.9	39.4	15.0	2.5	1.0	0.2	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 わかりやすい板書であったと思うか。	(36.9)	(37.2)	(18.0)	(2.5)	(1.3)	(4.1)	(100)
	38.8	38.7	17.5	2.4	1.0	1.6	100
12. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(39.6)	(38.8)	(16.0)	(2.6)	(1.2)	(1.8)	(100)
	40.4	39.8	16.1	2.4	0.9	0.4	100
13. 12の場合に、プリント等が配布された際にパワーポイント による説明を聞くだけでなく、授業内容の要点 を書き留めるよう予め指示等があったと思うか。	(38.5)	(38.5)	(17.2)	(2.4)	(1.2)	(2.2)	(100)
	39.3	39.9	16.8	2.5	1.1	0.4	100
14. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(39.9)	(38.8)	(16.1)	(2.2)	(1.1)	(1.9)	(100)
	40.8	39.7	16.1	2.3	0.9	0.2	100
計	(39.7)	(38.7)	(16.1)	(2.3)	(1.1)	(2.1)	(100)
	40.6	39.8	16.0	2.3	0.9	0.4	100
<b>IV 教員の姿勢について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(41.8)	(38.8)	(14.9)	(1.9)	(1.0)	(1.6)	(100)
	42.8	39.9	14.6	1.7	0.7	0.3	100
16. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(43.0)	(38.2)	(14.1)	(1.7)	(1.0)	(2.0)	(100)
	43.5	39.4	14.3	1.7	0.7	0.4	100
17. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。	(39.4)	(39.1)	(15.7)	(2.5)	(1.3)	(2.0)	(100)
	40.6	40.0	16.1	2.2	0.8	0.3	100
計	(41.4)	(38.7)	(14.9)	(2.0)	(1.1)	(1.9)	(100)
	42.3	39.8	15.0	1.9	0.7	0.3	100
<b>V 総合評価</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
18. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(38.3)	(38.6)	(15.2)	(2.1)	(1.3)	(4.5)	(100)
	40.1	38.6	15.2	2.4	0.8	2.9	100
<b>全質問項目の平均</b>	(41.5)	(38.5)	(15.0)	(2.0)	(1.0)	(2.0)	(100)
	42.4	39.5	14.9	2.0	0.8	0.4	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

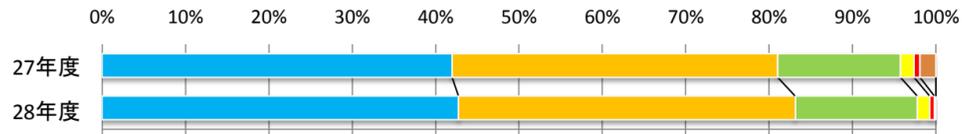
	27年度	28年度
全科目数	140科目	166科目
調査対象者数	13,052人	16,308人
総回答数（回答率）	12,803枚（98.0%）	15,569枚（95.5%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

		そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答				
<b>I 学生として、自分自身の授業態度について</b>											
1. 授業態度はよかったと思うか。											
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
27年度											
28年度											
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度							
	45.8	39.0	84.8	—							
	46.8	40.4	87.2	+ 2.4							
2. 出席率はよかったと思うか。											
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
27年度											
28年度											
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度							
	60.9	27.7	88.6	—							
	61.8	28.7	90.5	+ 1.9							
3. 積極的に取り組んだと思うか。											
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
27年度											
28年度											
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度							
	43.8	38.7	82.5	—							
	45.9	40.0	85.9	+ 3.4							
「計」（質問項目 1～3）											
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
27年度											
28年度											
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度							
	50.2	35.1	85.3	—							
	51.5	36.4	87.9	+ 2.6							
<b>II 授業内容について</b>											
4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。											
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
27年度											
28年度											
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度							
	39.5	41.3	80.8	—							
	40.2	42.5	82.7	+ 1.9							
5. 授業内容をよく理解できたと思うか。											
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
27年度											
28年度											
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度							
	35.0	42.5	77.5	—							
	36.0	44.0	80.0	+ 2.5							
6. この授業内容は将来役立つと思うか。											
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
27年度											
28年度											
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度							
	43.4	38.7	82.1	—							
	43.7	39.5	83.2	+ 1.1							
7. この授業は他学科の学生等にも薦めたいと思うか。											
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
27年度											
28年度											
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度							
	37.4	38.8	76.2	—							
	38.6	39.6	78.2	+ 2.0							
「計」（質問項目 4～7）											
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
27年度											
28年度											
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度							
	38.8	40.3	79.1	—							
	39.6	41.4	81.0	+ 1.9							

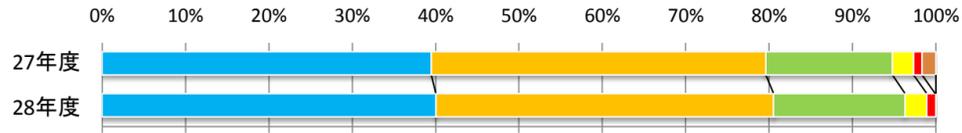
### Ⅲ 教員の教え方について

8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。



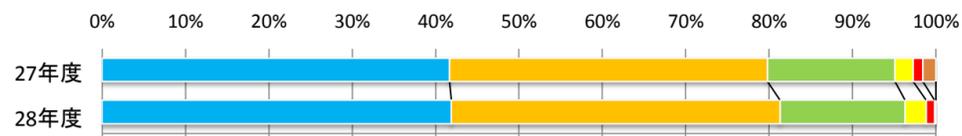
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.0	39.1	81.1	-
42.7	40.4	83.1	+ 2.0

9. 授業に集中できる雰囲気が保たれていたと思うか。



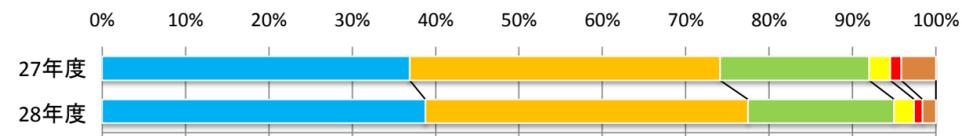
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.5	40.1	79.6	-
40.0	40.5	80.5	+ 0.9

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



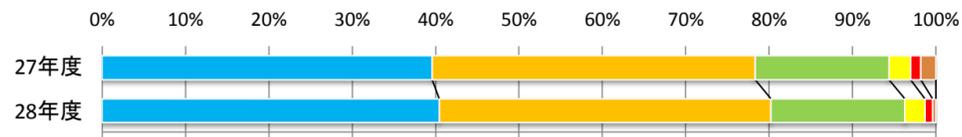
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.7	38.1	79.8	-
41.9	39.4	81.3	+ 1.5

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい板書であったと思うか。



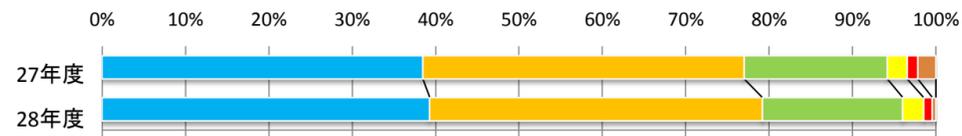
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.9	37.2	74.1	-
38.8	38.7	77.5	+ 3.4

12. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容はわかりやすかったと思うか。



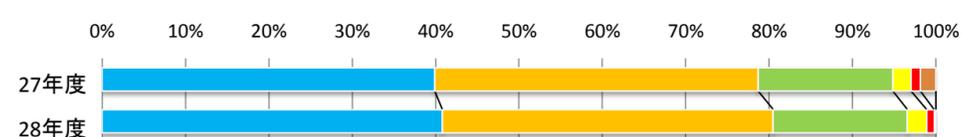
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.6	38.8	78.4	-
40.4	39.8	80.2	+ 1.8

13. 12の場合に、プリント等が配布された際にパワーポイントによる説明を聞くだけでなく、授業内容の要点を書き留めるよう予め指示等があったと思うか。



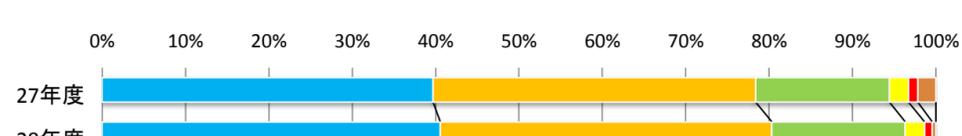
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.5	38.5	77.0	-
39.3	39.9	79.2	+ 2.2

14. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.9	38.8	78.7	-
40.8	39.7	80.5	+ 1.8

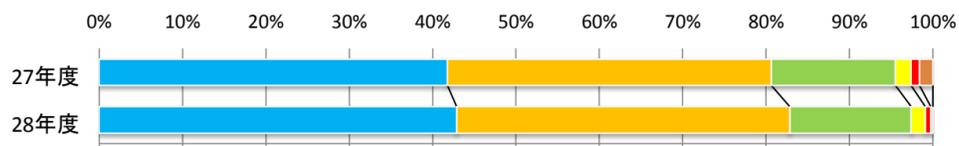
「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.7	38.7	78.4	-
40.6	39.8	80.4	+ 2.0

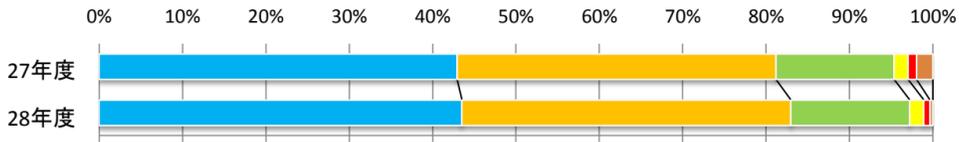
#### IV 教員の姿勢について

15. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



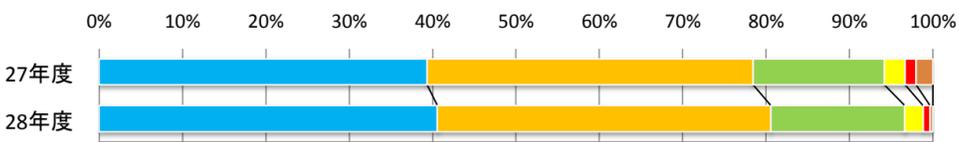
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.8	38.8	80.6	—
42.8	39.9	82.7	+ 2.1

16. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。



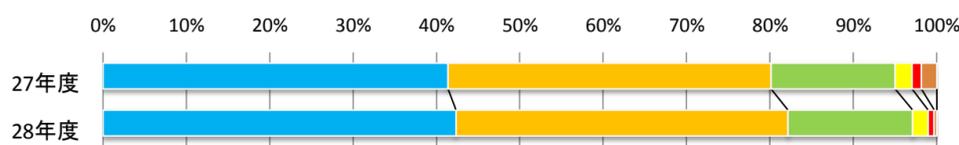
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.0	38.2	81.2	—
43.5	39.4	82.9	+ 1.7

17. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.4	39.1	78.5	—
40.6	40.0	80.6	+ 2.1

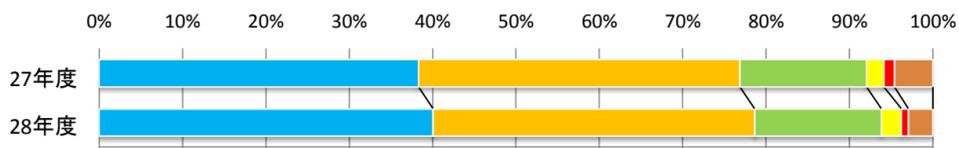
「計」(質問項目 15 ~ 17)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.4	38.7	80.1	—
42.3	39.8	82.1	+ 2.0

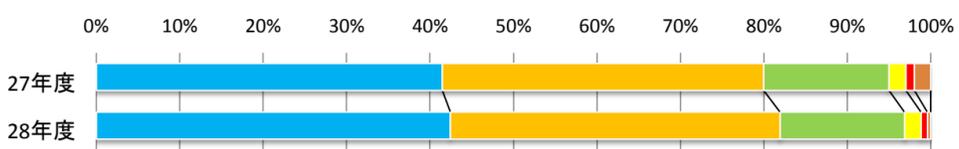
#### V 総合評価

18. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.3	38.6	76.9	—
40.1	38.6	78.7	+ 1.8

#### 全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.5	38.5	80.0	—
42.4	39.5	81.9	+ 1.9

◆ VII この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 1,100】

科目名	件数	主な内容
看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術と判断) 【臨床看護学コース：1年次前期】	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来役に立つ技術なので受けてよかったと思う。</li> <li>・看護について深いことが知ることができ、将来の仕事のためになる内容をたくさん学べた。</li> <li>・看護師になるために必要不可欠な丁寧な技術を得ることができて良かった。</li> </ul>
慢性期看護論 【臨床看護学コース：2年次前期】	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期について学べてよかった。</li> <li>・また看護師になるために1歩進めたと思う。</li> <li>・とても考えさせられる授業だった。</li> </ul>
ヘルスアセスメント 【災害看護学コース：1年次前期】	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識が身についた。</li> <li>・看護師になる上でのモチベーションを上げるきっかけになりました。</li> </ul>
成人看護の探求 【災害看護学コース：3年次後期】	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を振り返ることができてよかった。</li> <li>・ナラティブプラクティスを通して、自分の看護感を考えるきっかけになりました。今後の実習などで生かしていきます。</li> </ul>

◆ VIII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 434】

科目名	件数	主な内容
自然科学の基礎 【臨床看護学コース：1年次前期】	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントがレジюмеだったので少し分かりづらかったです。</li> <li>・高校である程度みんなやったはずの内容を丁寧にやりすぎていて、遅すぎた。</li> <li>・教員が変わると授業の進め方がかわるのでやりにくかったです。</li> </ul>
小児看護実践論 【臨床看護学コース：3年次前期】	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドの文字が多すぎて、後ろだと全く見えなかった。</li> <li>・レジюмеに穴埋めがあるのに、記述する時間が十分に設けられていなかった。</li> <li>・教員同士での意見の違いがあって混乱します。</li> </ul>
看護学概論 【災害看護学コース：1年次前期】	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントを穴埋めにしてほしいです。</li> <li>・後方の席で私語が多く、集中できる環境にない。注意もあまりしないため、授業中ずっとしゃべっている人がいる。</li> </ul>
在宅看護実践論 【災害看護学コース：3年次後期】	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント・レジюмеなど見にくい。</li> <li>・時間配分も進行も悪く内容もよくわかりませんでした。</li> </ul>

## 平成28年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○実習・実験科目数 24科目

○調査対象者数 2,528人(延人数)

○総回答数 2,140枚(回答率 84.7%)

### ◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は平成27年度アンケート結果〉

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
<b>I 学生として、自分自身の実習・実験態度について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験態度はよかったと思うか。	(69.0)	(24.2)	(3.6)	(0.3)	(0.2)	(2.7)	(100)
	70.5	25.7	3.6	0.2	0.0	0.0	100
2. 出席率はよかったと思うか。	(84.5)	(10.8)	(2.8)	(0.3)	(0.2)	(1.5)	(100)
	79.0	17.0	3.4	0.4	0.2	0.0	100
3. 積極的に取り組んだと思うか。	(71.1)	(23.3)	(4.1)	(0.3)	(0.1)	(1.1)	(100)
	71.4	24.5	3.6	0.4	0.1	0.0	100
計	(74.8)	(19.4)	(3.5)	(0.3)	(0.2)	(1.8)	(100)
	73.6	22.4	3.6	0.3	0.1	0.0	100
<b>II 実習・実験内容について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験に興味・関心が持てたと思うか。	(66.6)	(24.6)	(6.9)	(0.4)	(0.3)	(1.2)	(100)
	66.4	28.7	4.1	0.5	0.3	0.0	100
5. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(56.9)	(33.5)	(7.1)	(0.5)	(0.1)	(1.9)	(100)
	60.2	34.2	4.8	0.6	0.2	0.0	100
6. この実習・実験内容は将来役立つと思うか。	(71.4)	(22.2)	(4.5)	(0.7)	(0.1)	(1.1)	(100)
	69.5	25.6	4.0	0.5	0.2	0.2	100
計	(65.0)	(26.8)	(6.1)	(0.5)	(0.2)	(1.4)	(100)
	65.4	29.5	4.3	0.5	0.2	0.1	100
<b>III 教員の実習・実験指導について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
7. 実習・実験はシラバスに沿って行われたと思うか。	(62.4)	(28.1)	(6.9)	(0.9)	(0.3)	(1.4)	(100)
	63.4	29.7	5.8	0.7	0.3	0.1	100
8. 教員の指導は実習・実験内容に応じて適切だったと思うか。	(59.1)	(27.3)	(8.1)	(2.2)	(0.6)	(2.7)	(100)
	62.8	29.5	5.9	1.0	0.7	0.1	100
9. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(62.0)	(24.9)	(7.8)	(1.6)	(0.3)	(3.4)	(100)
	62.1	29.9	6.0	1.3	0.6	0.1	100
計	(61.2)	(26.8)	(7.5)	(1.6)	(0.4)	(2.5)	(100)
	62.8	29.7	5.9	1.0	0.5	0.1	100
<b>IV 教員の姿勢について</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
10. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(59.9)	(25.0)	(6.9)	(1.7)	(0.7)	(5.8)	(100)
	62.9	29.0	6.0	1.4	0.5	0.2	100
11. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(64.2)	(23.8)	(6.4)	(1.8)	(0.6)	(3.2)	(100)
	64.9	27.8	5.6	1.0	0.6	0.1	100
12. 教員は学生のレベルを把握して実習・実験を行ったと思うか。	(57.2)	(26.9)	(7.7)	(1.1)	(0.6)	(6.5)	(100)
	61.3	30.4	6.4	1.3	0.5	0.1	100
計	(60.4)	(25.2)	(7.0)	(1.5)	(0.6)	(5.3)	(100)
	63.0	29.1	6.0	1.2	0.5	0.2	100
<b>V 総合評価</b>	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
13. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(59.7)	(25.3)	(7.7)	(1.2)	(0.1)	(6.0)	(100)
	61.7	26.9	5.0	1.4	0.4	4.6	100
<b>全質問項目の平均</b>	(64.9)	(24.6)	(6.2)	(1.0)	(0.3)	(3.0)	(100)
	65.8	27.6	5.0	0.8	0.4	0.4	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

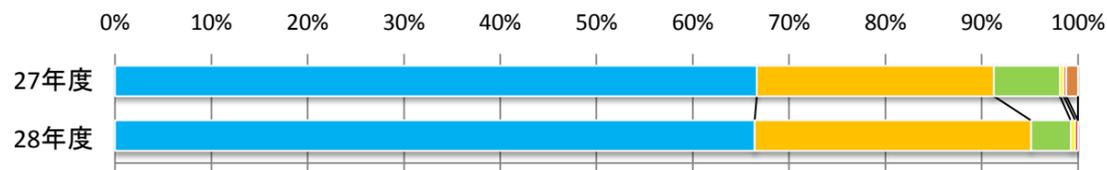
	27年度	28年度
全科目数	17科目	24科目
調査対象者数	1,720人	2,528人
総回答数（回答率）	1,580枚（91.8%）	2,140枚（84.7%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

		■ そう思う	■ やや そう思う	■ どちらとも いえない	■ そう 思わない	■ 全くそう 思わない	■ 無回答	
<b>I 学生として、自分自身の実習・実験態度について</b>								
1. 実習・実験態度はよかったと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		69.0	24.2					
28年度		70.5	25.7					
		計					対前年度	
							93.2	
							—	
							+ 3.0	
2. 出席率はよかったと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		84.5	10.8					
28年度		79.0	17.0					
		計					対前年度	
							95.3	
							—	
							+ 0.7	
3. 積極的に取り組んだと思うか。								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		71.1	23.3					
28年度		71.4	24.5					
		計					対前年度	
							94.4	
							—	
							+ 1.5	
<u>「計」（質問項目 1～3）</u>								
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%							
27年度		74.8	19.4					
28年度		73.6	22.4					
		計					対前年度	
							94.2	
							—	
							+ 1.8	

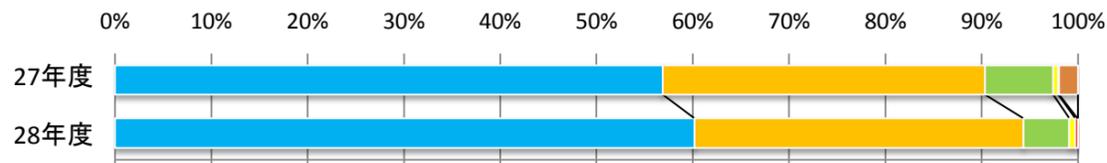
## II 実習・実験内容について

4. 実習・実験に興味・関心が持てたと思うか。



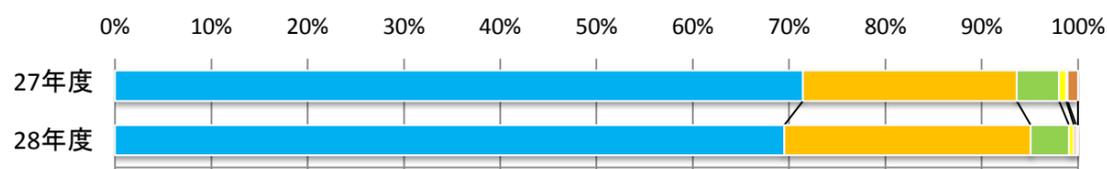
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
66.6	24.6	91.2	—
66.4	28.7	95.1	+ 3.9

5. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



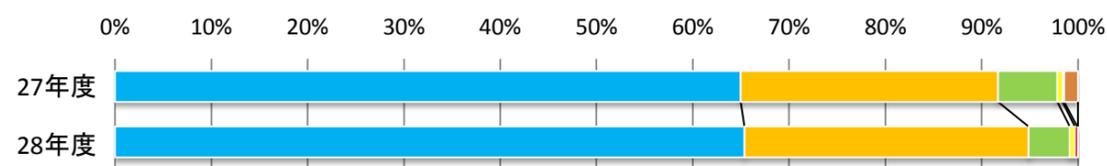
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.9	33.5	90.4	—
60.2	34.2	94.4	+ 4.0

6. この実習・実験内容は将来役立つと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
71.4	22.2	93.6	—
69.5	25.6	95.1	+ 1.5

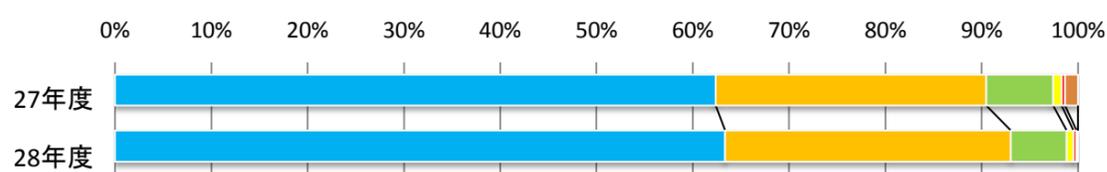
「計」(質問項目 4 ~ 6)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.0	26.8	91.8	—
65.4	29.5	94.9	+ 3.1

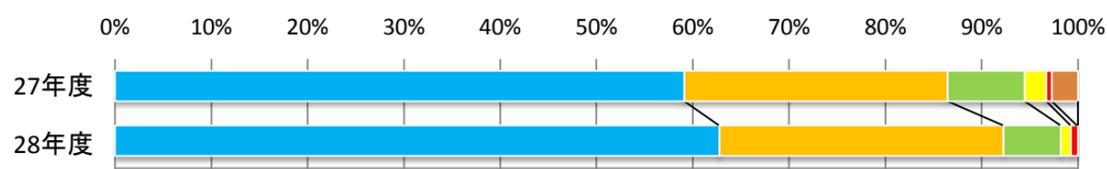
## III 教員の实習・実験指導について

7. 実習・実験はシラバスに沿って行われたと思うか。



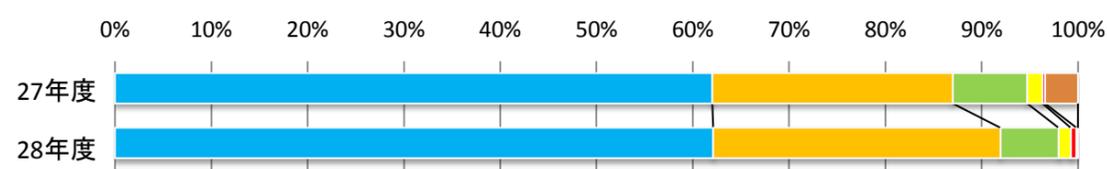
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
62.4	28.1	90.5	—
63.4	29.7	93.1	+ 2.6

8. 教員の指導は実習・実験内容に応じて適切だったと思うか。



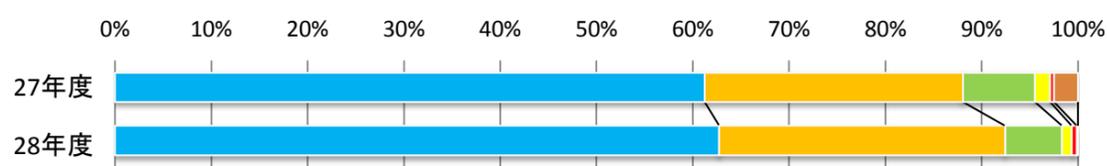
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
59.1	27.3	86.4	—
62.8	29.5	92.3	+ 5.9

9. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
62.0	24.9	86.9	—
62.1	29.9	92.0	+ 5.1

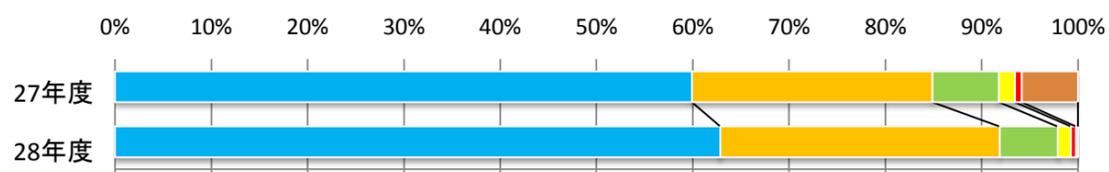
「計」(質問項目 7 ~ 9)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
61.2	26.8	88.0	—
62.8	29.7	92.5	+ 4.5

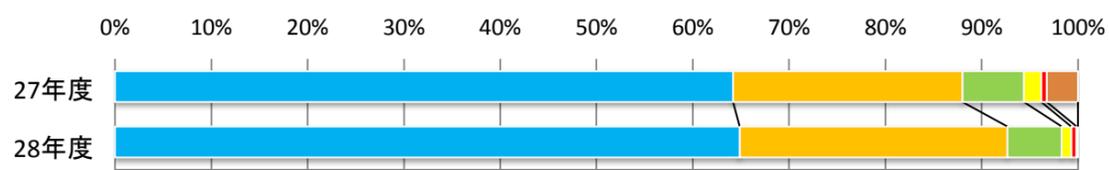
#### IV 教員の姿勢について

10. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



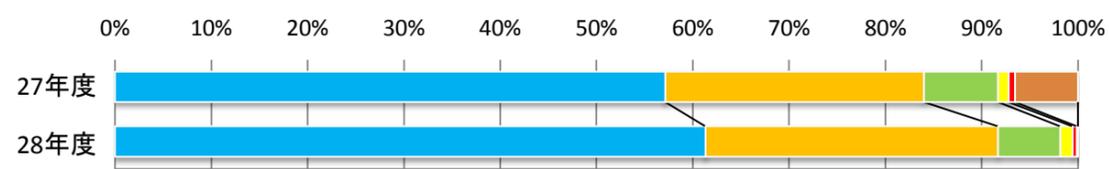
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
59.9	25.0	84.9	-
62.9	29.0	91.9	+ 7.0

11. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



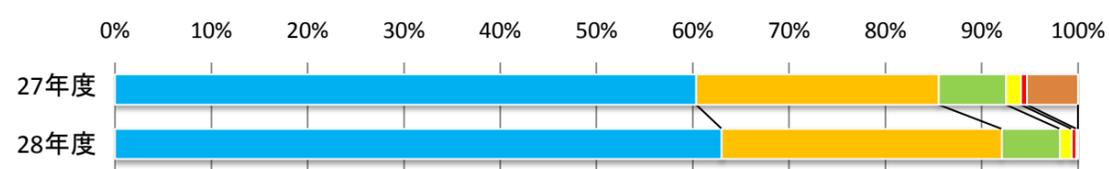
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
64.2	23.8	88.0	-
64.9	27.8	92.7	+ 4.7

12. 教員は学生のレベルを把握して実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
57.2	26.9	84.1	-
61.3	30.4	91.7	+ 7.6

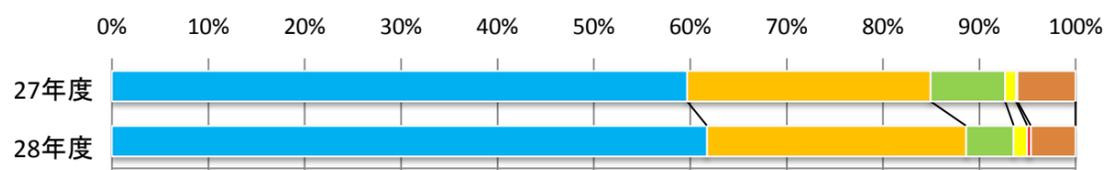
「計」(質問項目 10 ~ 12)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
60.4	25.2	85.6	-
63.0	29.1	92.1	+ 6.5

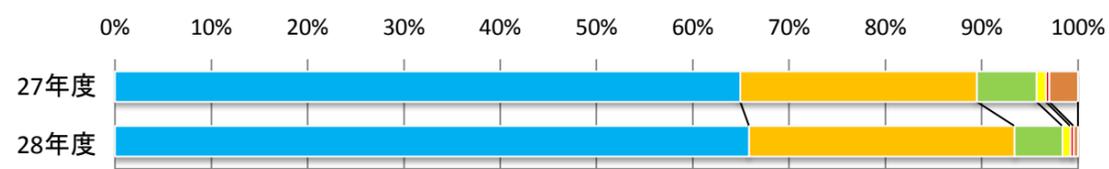
#### V 総合評価

13. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
59.7	25.3	85.0	-
61.7	26.9	88.6	+ 3.6

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
64.9	24.6	89.5	-
65.8	27.6	93.4	+ 3.9

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 227】

科目名	件数	主な内容
日常生活援助展開実習 【臨床看護学コース：1年次後期】	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に患者さんを受けもって学ぶことが多くあった。</li> <li>・実際の病院内でのケアなどの難しさなどを理解することができたので良かった。</li> <li>・看護師のやりがいを感じることができ、看護師になりたいと思えたこと</li> </ul>
精神看護学実習 【臨床看護学コース：3年次後期】	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール専門病棟での実習だったため、とても勉強になった。</li> <li>・井ノ頭病院で実習させて頂いたが、今までの実習で一番学が得られた。環境も良く指導者も分かりやすく、教員の指導も分かりやすかった。さすが精神看護領域だと感じた。</li> </ul>
看護過程展開実習 【災害看護学コース：1年前期】	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の先生が声をかけてくださったり、学生のことを見てくれた。</li> <li>・「個別性」の大切さを身をもって学べた。</li> <li>・自分の足りないところがわかった。</li> </ul>
老年看護学実習Ⅰ 【災害看護学コース：2年後期】	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクが盛り上がってうれしかった。</li> <li>・Ⅱ週目が大変だったが、得るものもその分多かった。</li> <li>・レクが好評価で利用者と一緒に楽しめた為よかった。</li> </ul>

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 80】

科目名	件数	主な内容
在宅看護学実習 【臨床看護学コース：4次前期】	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習助手と教科責任者の間で情報共有をしっかりと欲したい。</li> <li>・記録の書き方について、みんな書き方がばらばらだったので統一して欲しかったかなと思います。</li> </ul>
母性看護学実習 【臨床看護学コース：3年後期】	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沐浴をもう少しやりたかったです。</li> <li>・赤ちゃんを1回しか抱っこ出来なかった。もっと抱っこしたかった。</li> </ul>
看護学体験実習 【災害看護学コース：1年前期】	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスの前準備の時間がほしかった。</li> <li>・もう少し色々な（手術室など）所を見たかった。</li> </ul>
成人看護学実習Ⅲ 【災害看護学コース：3年後期】	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を始めるタイミング。一番初めに終末期が来るのは、久しぶりの実習ということもあり、なかなかキツかった。</li> <li>・受け持ちの看護師で、時間をつくってくれず、実習の進め方がどうしようもない日が数日あった。学べる機会を減らされて気分が悪い。</li> </ul>

## 平成 28 年度 大学院看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・研究科長 草間 朋子

「高度実践看護コース」「高度実践助産コース」「看護科学コース」の学生による授業評価の対象科目数は、それぞれ 21 科目、31 科目、14 科目であり、回答した大学院生は、延べ 362 名、221 名、38 名、回答率は、96.4%、83.7%、100%であった。3 コースともに授業に対する総合的な満足度は約 75%を超えており、院生の期待に応える授業が提供できたと考える。

### 「高度実践看護コース」

8 つの評価項目すべてにおいて「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の割合が前年度に比べて低下しており、「期待していた通りの内容であったか」「授業の進め方は適切であったか」「教材、教具は適切であったか」の 3 つの評価項目では、60%台であった。大学としては数年間かけて設備・備品の充実を図り改善に努めてきたが、学生の受け止めとの間に齟齬のあることが分かった。授業展開に関しては、グループワークの進め方等に改善が必要である。時間が足りないとの意見があるが、限定された 2 年間で必要とされる知識・技術・態度を修得するためには事前学習、事後学習を効果的に活用することを徹底していく必要がある。本コースは、昼間開講であるにも拘わらず、「授業時間外に、よく自己学習をしたと思う」の評価項目に「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の割合が 65%に過ぎなかった。

### 「高度実践助産コース」

8 項目の評価項目すべてにおいて「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の割合が前年度に比べて減少しており、「期待していた通りの内容であったか」「授業の進め方は適切であったか」「教材、教具は適切であったか」の 3 つの評価項目では、60%台であった。大学として、設備・備品の充実にはかなり力を入れ改善に努めてきた（学外の非常勤講師の先生方からは、備品の整備状況を評価いただいている）が、学生の受け止めとの間に齟齬のあることが分かった。助産の中核的な科目の中に、授業内容の理解度、授業に対する満足度等が 50%に達していない科目があることを真摯に受け止め、授業のあり方・進め方に対する改善が必要とされる。また、授業評価の回答率が低く、学生からの自由意見の記載も他の 2 つのコースに比べて極端に少ないことも学生の授業内容等に対する意思表示の一面を表しているのではないかと考えている。

### 「看護科学コース」

授業評価の対象学生が数名（科目により異なり 1~4 名）であるが、ほぼすべての科目において学生の評価は高い（「非常にそう思う」との評価が 100%の科目が 14 科目中 8 科目ある）。すべての科目が、夜間開講であるが、授業に対する満足感、学生たちの達成感が高いことは、自由意見記載の中からも明らかである。個々の学生の問題意識も高く、チュートリアル形式で授業が展開されるために、学生の満足感も高いものと思われる。

以上

# 平成28年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程

○全科目数 66科目

○調査対象者数 621枚（延人数）

○総回答数 572枚（回答率92.1%）

## ◆ 質問項目別集計結果 【上段（）は平成27年度集計結果】

(%)

質問項目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計	
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(30.5)	(59.7)	(8.4)	(1.3)	(0.2)	(100.0)	
	25.9	62.9	9.3	1.7	0.2	100.0	
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(19.5)	(58.1)	(16.8)	(5.5)	(0.2)	(100.0)	
	13.8	63.1	18.7	4.0	0.3	100.0	
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(28.1)	(44.0)	(22.6)	(4.9)	(0.4)	(100.0)	
	19.6	48.3	25.2	5.2	1.7	100.0	
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(50.5)	(44.4)	(4.2)	(0.9)	(0.0)	(100.0)	
	37.4	50.9	10.1	1.4	0.2	100.0	
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(27.4)	(45.6)	(20.8)	(5.3)	(0.9)	(100.0)	
	17.5	51.9	23.6	5.6	1.4	100.0	
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(25.4)	(43.5)	(23.6)	(6.2)	(1.3)	(100.0)	
	16.4	51.7	24.7	4.7	2.4	100.0	
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(25.4)	(47.4)	(22.1)	(4.6)	(0.5)	(100.0)	
	16.6	51.6	25.0	4.0	2.8	100.0	
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(26.3)	(52.2)	(15.5)	(5.5)	(0.5)	(100.0)	
	19.9	55.9	18.9	3.8	1.4	100.0	
全質問項目の平均	平成27年度	(29.1)	(49.4)	(16.7)	(4.3)	(0.5)	(100.0)
	平成28年度	20.9	54.5	19.4	3.8	1.3	100.0

# 授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程

## ◆ 年度別 授業評価集計結果

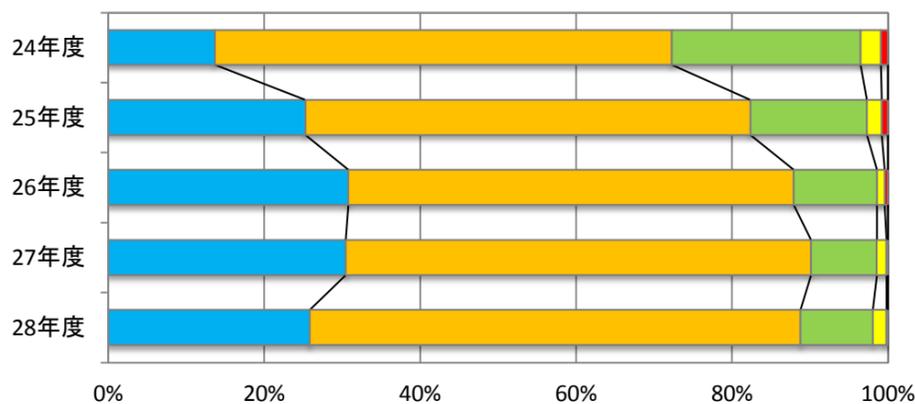
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
全科目数	48科目	48科目	63科目	67科目	66科目
調査対象者数（延人数）	588人	621人	584人	608人	621人
総回答数（回答率）	343枚（58.3%）	524枚（84.4%）	497枚（85.1%）	549枚（90.3%）	572枚（92.1%）

## ◆ 年度別・質問項目別 集計結果

<span style="color: blue;">■</span> 非常に そう思う	<span style="color: orange;">■</span> そう思う	<span style="color: green;">■</span> どちらとも いえない	<span style="color: yellow;">■</span> そう思わない	<span style="color: red;">■</span> 全くそう 思わない
---	--	--	--	---

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

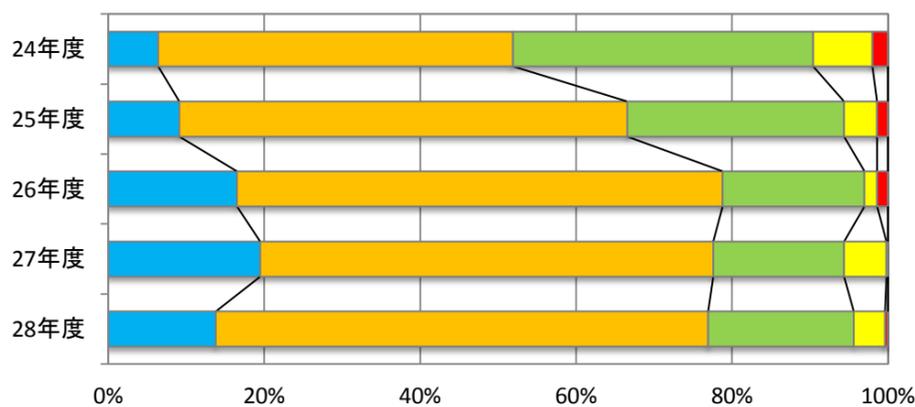
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	13.7	58.6	72.3	—
25年度	25.3	57.1	82.4	+10.1
26年度	30.8	57.1	87.9	+5.5
27年度	30.5	59.7	90.1	+2.2
28年度	25.9	62.9	88.8	△ 1.3

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

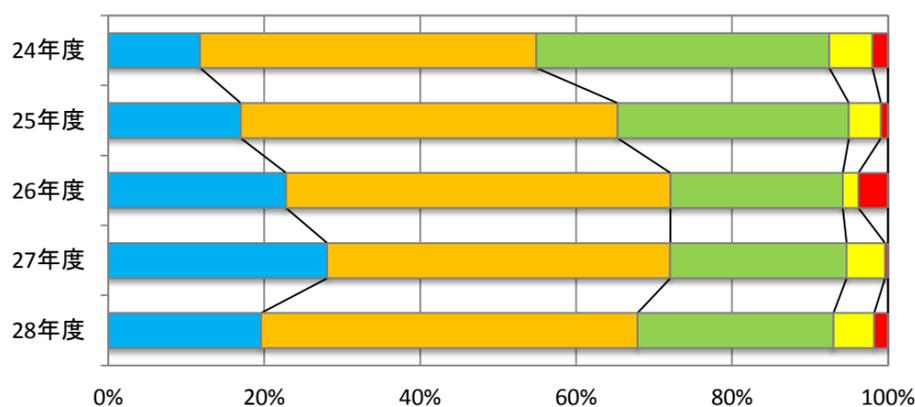
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	6.4	45.5	51.9	—
25年度	9.1	57.5	66.6	+14.7
26年度	16.5	62.3	78.8	+12.2
27年度	19.5	58.1	77.6	△ 1.2
28年度	13.8	63.1	76.9	△ 0.7

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

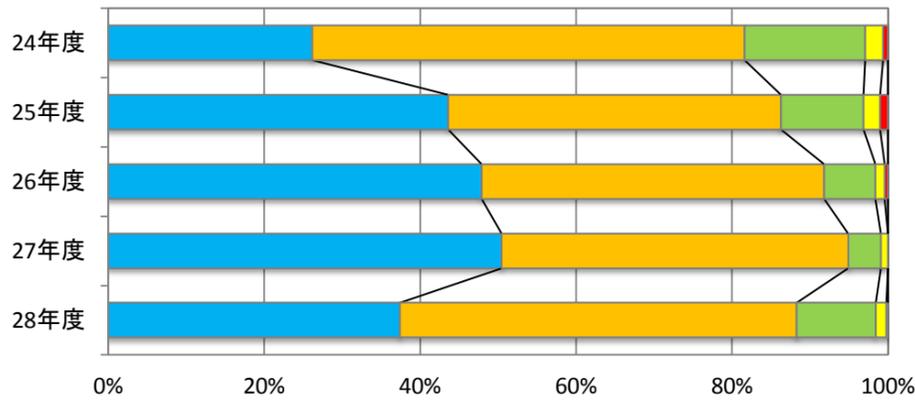
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	11.8	43.1	54.9	—
25年度	17.0	48.3	65.3	+10.4
26年度	22.8	49.3	72.1	+6.8
27年度	28.1	44.0	72.1	0.0
28年度	19.6	48.3	67.9	△ 4.2

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。

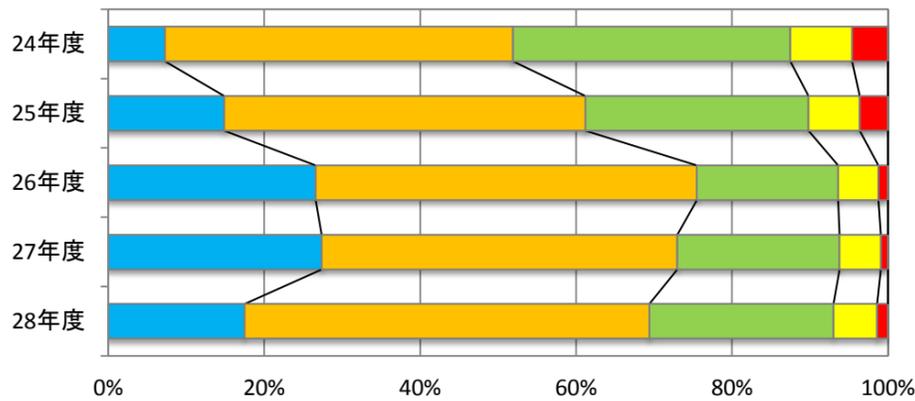
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	26.2	55.4	81.6	—
25年度	43.6	42.7	86.3	+4.7
26年度	47.9	43.9	91.8	+5.5
27年度	50.5	44.4	94.9	+3.1
28年度	37.4	50.9	88.3	△ 6.6

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。

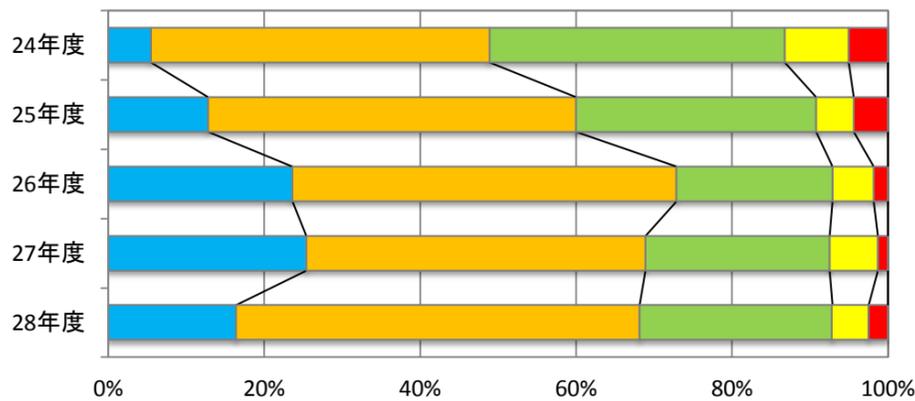
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	7.3	44.6	51.9	—
25年度	14.9	46.3	61.2	+9.3
26年度	26.6	48.9	75.5	+14.3
27年度	27.4	45.6	73.0	△ 2.5
28年度	17.5	51.9	69.4	△ 3.6

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。

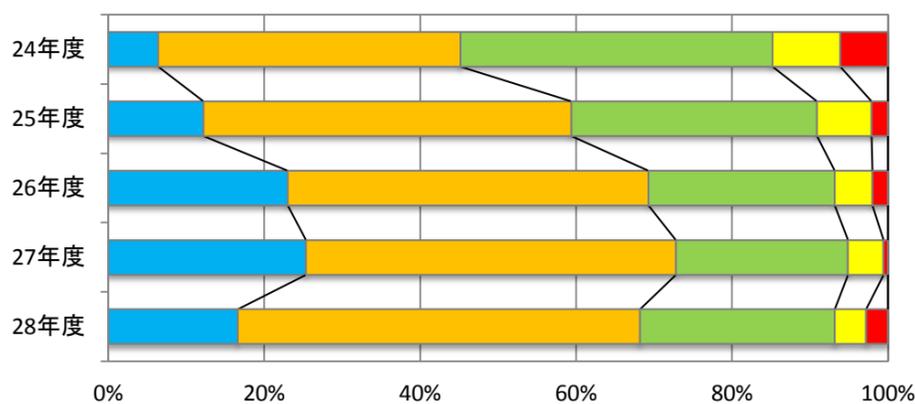
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	5.5	43.4	48.9	—
25年度	12.8	47.2	60.0	+11.1
26年度	23.6	49.3	72.9	+12.9
27年度	25.4	43.5	68.9	△ 4.0
28年度	16.4	51.7	68.1	△ 0.8

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

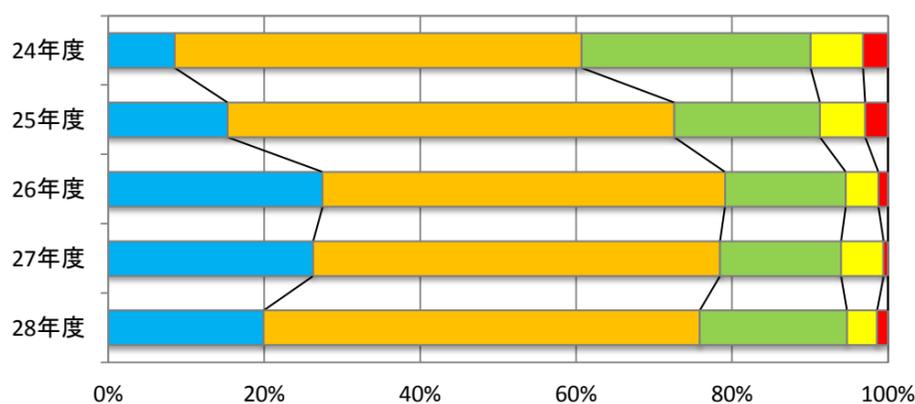
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	6.4	38.8	45.2	—
25年度	12.2	47.2	59.4	+14.2
26年度	23.0	46.3	69.3	+9.9
27年度	25.4	47.4	72.8	+3.5
28年度	16.6	51.6	68.2	△ 4.6

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。

(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	8.5	52.2	60.7	—
25年度	15.3	57.3	72.6	+11.9
26年度	27.5	51.6	79.1	+6.5
27年度	26.3	52.2	78.5	△ 0.6
28年度	19.9	55.9	75.8	△ 2.7

## ◆ 年度別 自由記述集計結果

### 高度実践看護コース

	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
授業に対する肯定的評価	(39.3%)	178	(58.1%)	265	(58.0%)	145	(59.6%)	124	(59.3%)	169
授業に対する要望等	(60.7%)	275	(41.9%)	191	(42.0%)	105	(40.4%)	84	(40.7%)	116
計	(100.0%)	453	(100.0%)	456	(100.0%)	250	(100.0%)	208	(100.0%)	285

### 高度実践助産コース

	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
授業に対する肯定的評価	(73.3%)	11	(71.6%)	58	(57.4%)	35	(59.8%)	67	(42.1%)	16
授業に対する要望等	(26.7%)	4	(28.4%)	23	(42.6%)	26	(40.2%)	45	(57.9%)	22
計	(100.0%)	15	(100.0%)	81	(100.0%)	61	(100.0%)	112	(100.0%)	38

### 看護科学コース

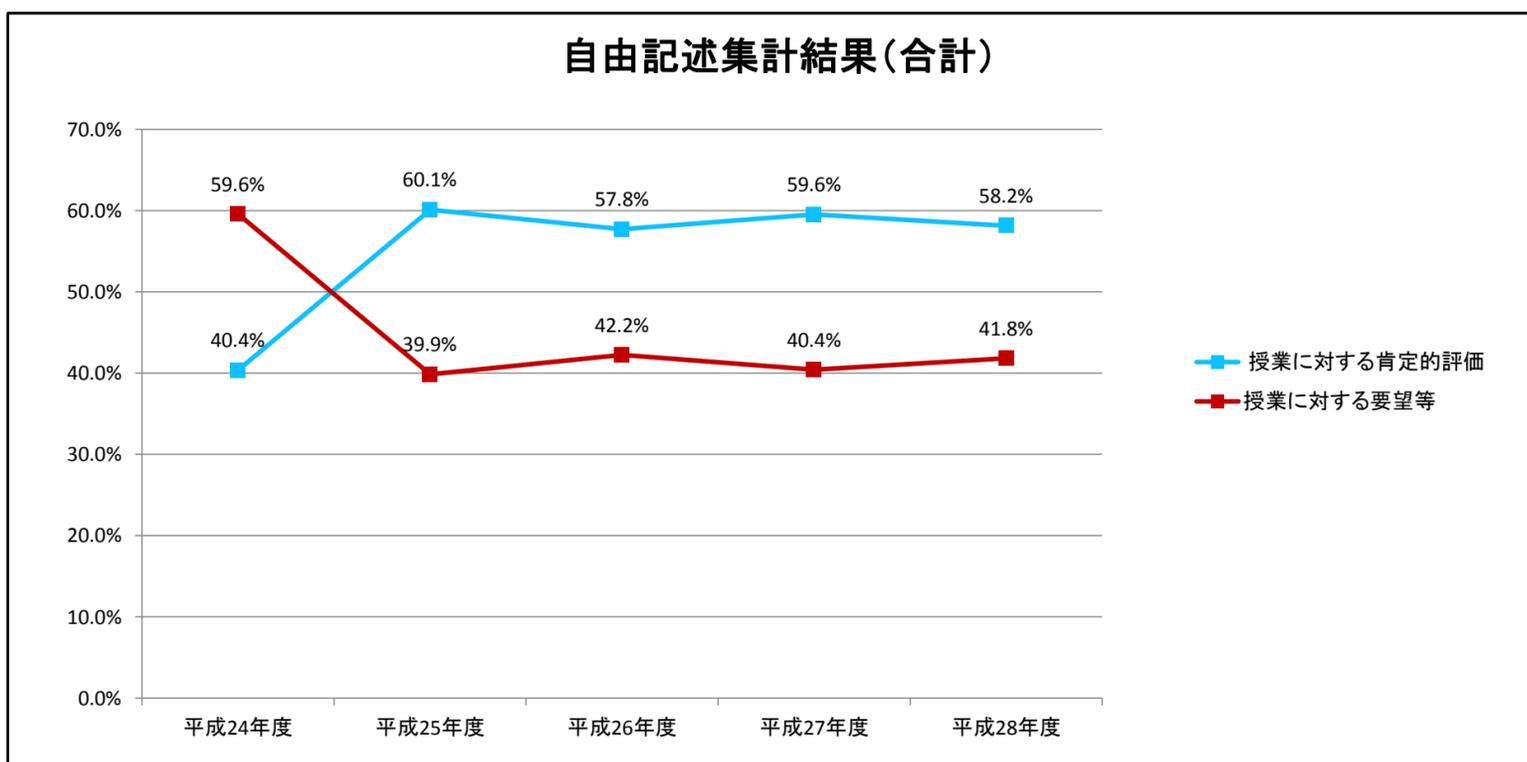
	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
授業に対する肯定的評価	—	—	—	—	(55.6%)	10	(55.6%)	5	(69.2%)	18
授業に対する要望等	—	—	—	—	(44.4%)	8	(44.4%)	4	(30.8%)	8
計	—	—	—	—	(100.0%)	18	(100.0%)	9	(100.0%)	26

### 3コースの合計

24年度、25年度は高度実践看護コースと高度実践助産コースの2コースの合計

	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
授業に対する肯定的評価	(40.4%)	189	(60.1%)	323	(57.8%)	190	(59.6%)	196	(58.2%)	203
授業に対する要望等	(59.6%)	279	(39.9%)	214	(42.2%)	139	(40.4%)	133	(41.8%)	146
合計	(100.0%)	468	(100.0%)	537	(100.0%)	329	(100.0%)	329	(100.0%)	349

※ ( ) 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



## ◆ 自由記述の主な内容（平成28年度）

### 高度実践看護コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	169	クリティカル領域の医学的知識は大変不足していたので、医長のドクターから疾患について教えていただいたのは本当に勉強になりました。
		NPには大切な科目のため、各講師の方が丁寧に教えてくれ、とても理解できた。
		覚えることがあって大変だけど、患者1人を見るのに、いろんな視点でみることの重要性を再認識した。
		解剖演習では、自分に足りないことをあらためて学ぶことができました。
		よく現場で行っていたことでも再度勉強し直すことで、考え直すいい機会になった。
授業に対する 要望等	116	もっと時間をかけて学びたかった。
		講義資料のハンドアウトが欲しい。
		内容により、他の科目と混同することがありました。
		倫理の問題は非常に難しく、取り組むのに苦労しました。大学院生としては、もっと深く踏み込んだ学びが必要だったと思います。
計	285	

### 高度実践助産コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	16	他学生のプレゼンを通しての学びや自分とは異なる視点での物事のとらえ方が学べてよかった。
		助産院実習で本来の助産師のあり方を学ぶことができ、自分の理想の助産師像や助産観を構築できた。
		自分たちで地域の子育てしている親子を対象にワークショップを企画・実施できて良かった。
		2週間を通して受持ちの方と密に関わることができ、とても貴重な実習になりました。
授業に対する 要望等	22	研究的な授業展開の科目と実際の研究の時期が重なったので、時期を検討して欲しい。
		テスト前にたくさん授業があったので、もう少し余裕をもって受講したかったです。
		先生方からの講義時間をもう少し充実させてほしいと思う。
		臨床経験のある他コースとの共通科目では、経験のない学生でも分かるように補足が欲しかった。
計	38	

### 看護科学コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	18	学んだことがすぐ実践に活かせる内容だったと思います。
		現場の見学など貴重な体験をさせていただき、この大学でなければ学べなかったものと考えています。
		自己課題があることで、より学びを深めることができました。
		丁寧に学生のレベルに合わせてくり返しご指導いただきました。
授業に対する 要望等	8	論文抄読、クリティークの時間がもう少しほしかったです。
		演習科目では、予習できるように各回ごとの内容を事前に教えていただけるとありがたかったです。
計	26	

## 平成28年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程  
高度実践看護コース

○全科目数 21科目

○調査対象者数 362人（延人数）

○総回答数 349枚（回答率96.4%）

### ◆ 質問項目別集計結果 【上段（ ）は平成27年度集計結果】

（%）

質 問 項 目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計	
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(25.6)	(64.2)	(8.4)	(1.5)	(0.3)	(100.0)	
	24.9	64.5	7.4	2.9	0.3	100.0	
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(12.5)	(66.3)	(17.7)	(3.2)	(0.3)	(100.0)	
	13.8	63.0	18.3	4.3	0.6	100.0	
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(23.0)	(48.8)	(23.3)	(4.4)	(0.6)	(100.0)	
	20.1	44.7	26.1	6.6	2.6	100.0	
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(50.0)	(45.9)	(3.5)	(0.6)	(0.0)	(100.0)	
	43.3	47.9	6.9	1.7	0.3	100.0	
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(20.6)	(52.3)	(20.9)	(4.9)	(1.2)	(100.0)	
	18.1	51.3	24.1	4.3	2.3	100.0	
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(17.2)	(49.3)	(27.1)	(5.0)	(1.5)	(100.0)	
	15.8	51.0	25.5	5.2	2.6	100.0	
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(17.5)	(51.9)	(24.8)	(5.0)	(0.9)	(100.0)	
	15.5	50.4	26.1	4.6	3.4	100.0	
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(19.0)	(59.5)	(15.2)	(5.5)	(0.9)	(100.0)	
	19.8	56.2	18.3	4.6	1.1	100.0	
全質問項目の平均	平成27年度	(23.2)	(54.8)	(17.6)	(3.7)	(0.7)	(100.0)
	平成28年度	21.4	53.6	19.1	4.3	1.6	100.0

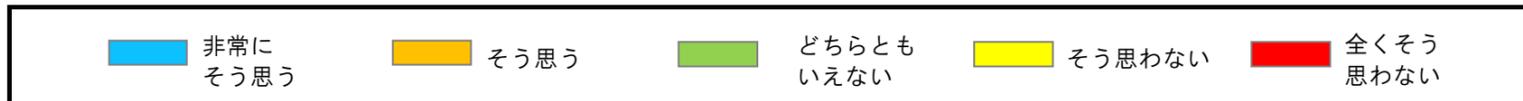
# 授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程  
高度実践看護コース

## ◆ 年度別 授業評価集計結果

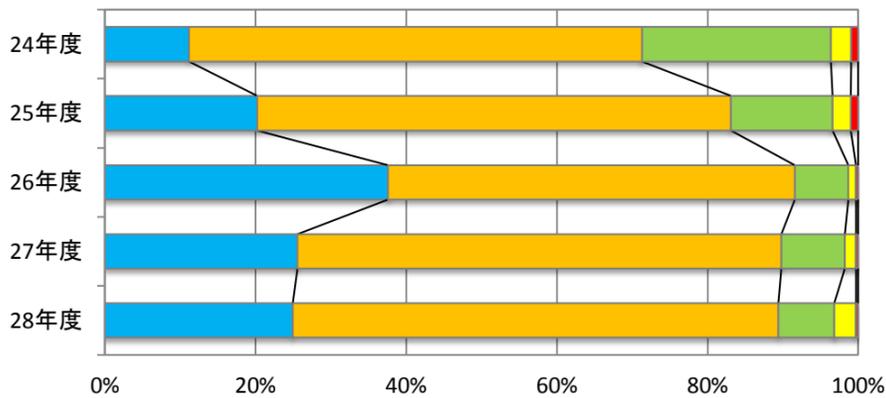
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
全科目数	20科目	20科目	20科目	22科目	21科目
調査対象者数（延人数）	410人	383人	343人	388人	362人
総回答数（回答率）	331枚（80.7%）	377枚（98.4%）	322枚（93.9%）	345枚（88.9%）	349枚（96.4%）

## ◆ 年度別・質問項目別 集計結果



Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

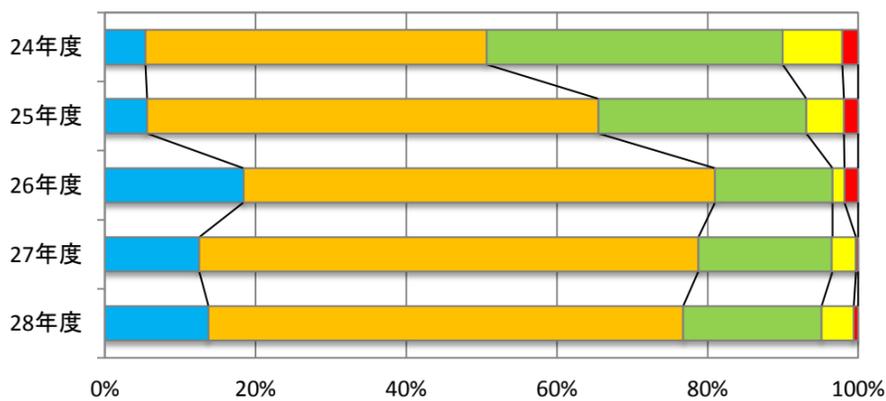
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	11.2	60.1	71.3	—
25年度	20.2	62.9	83.1	+11.8
26年度	37.6	54.0	91.6	+8.5
27年度	25.6	64.2	89.8	△ 1.8
28年度	24.9	64.5	89.4	△ 0.4

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

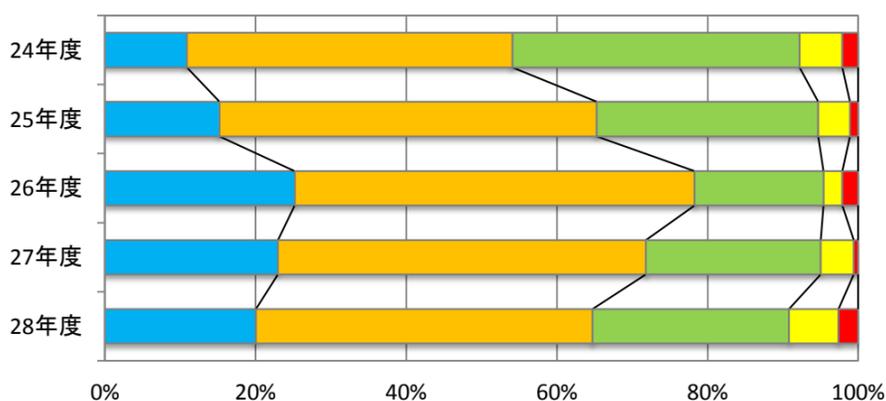
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	5.4	45.3	50.7	—
25年度	5.6	59.9	65.5	+14.8
26年度	18.4	62.6	81.0	+15.5
27年度	12.5	66.3	78.8	△ 2.2
28年度	13.8	63.0	76.8	△ 2.0

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

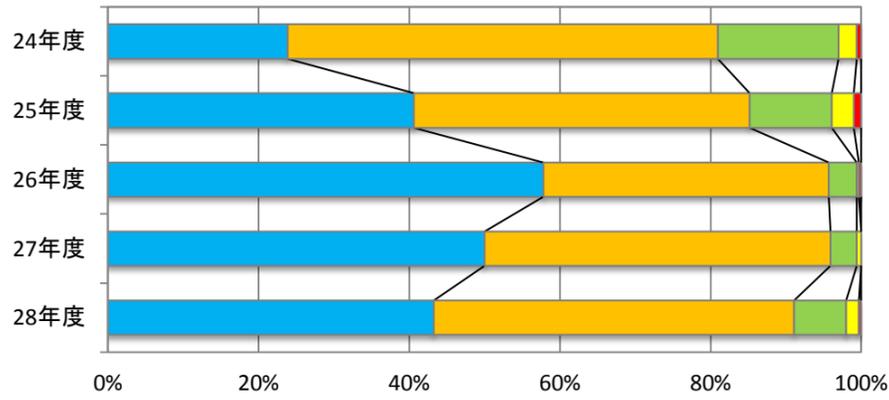
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	10.9	43.2	54.1	—
25年度	15.2	50.1	65.3	+11.2
26年度	25.2	53.1	78.3	+13.0
27年度	23.0	48.8	71.8	△ 6.5
28年度	20.1	44.7	64.8	△ 7.0

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。

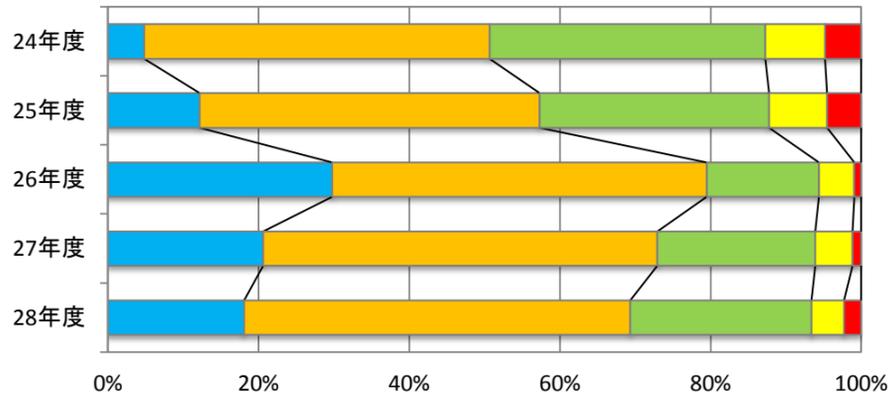
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	23.9	57.1	81.0	—
25年度	40.6	44.6	85.2	+4.2
26年度	57.8	37.9	95.7	+10.5
27年度	50.0	45.9	95.9	+0.2
28年度	43.3	47.9	91.2	△ 4.7

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。

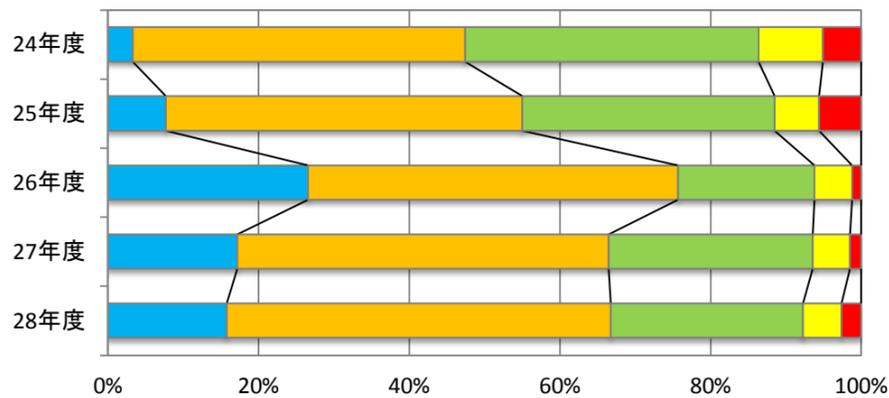
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	4.8	45.9	50.7	—
25年度	12.2	45.1	57.3	+6.6
26年度	29.8	49.7	79.5	+22.2
27年度	20.6	52.3	73.0	△ 6.5
28年度	18.1	51.3	69.4	△ 3.6

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。

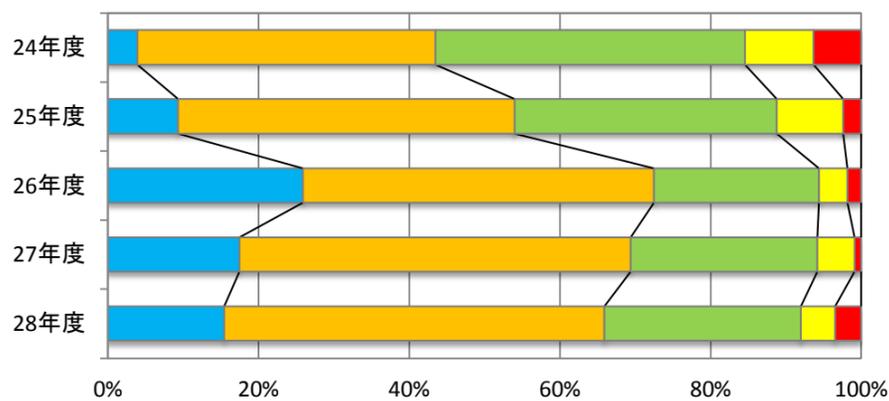
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	3.3	44.1	47.4	—
25年度	7.7	47.3	55.0	+7.6
26年度	26.6	49.1	75.7	+20.7
27年度	17.2	49.3	66.5	△ 9.2
28年度	15.8	51.0	66.8	+0.3

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

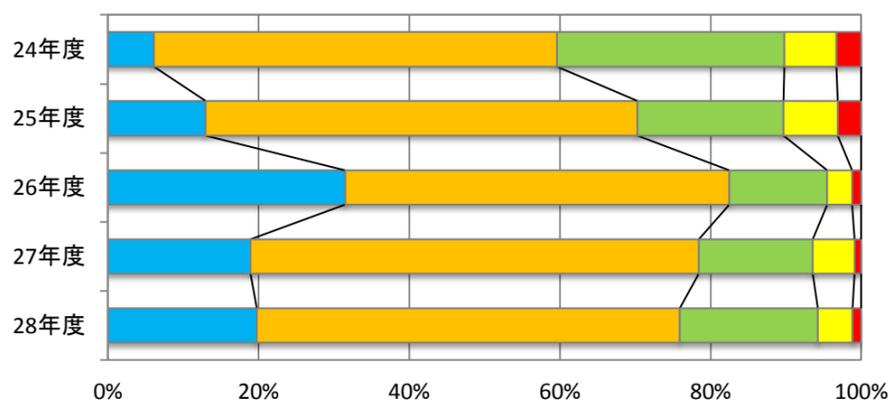
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	3.9	39.6	43.5	—
25年度	9.3	44.7	54.0	+10.5
26年度	25.9	46.6	72.5	+18.5
27年度	17.5	51.9	69.4	△ 3.1
28年度	15.5	50.4	65.9	△ 3.5

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。

(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	6.1	53.5	59.6	—
25年度	13.0	57.3	70.3	+10.7
26年度	31.5	51.0	82.5	+12.2
27年度	19.0	59.5	78.4	△ 4.1
28年度	19.8	56.2	76.0	△ 2.4

## 平成28年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程  
高度実践助産コース

○全科目数 31科目

○調査対象者数 221人（延人数）

○総回答数 185枚（回答率83.7%）

### ◆ 質問項目別集計結果 【上段（ ）は平成27年度集計結果】

（%）

質 問 項 目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計	
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(39.3)	(50.8)	(8.7)	(1.1)	(0.0)	(100.0)	
	18.4	67.0	14.6	0.0	0.0	100.0	
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(32.6)	(41.3)	(15.8)	(10.3)	(0.0)	(100.0)	
	9.2	67.0	19.5	4.3	0.0	100.0	
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(37.2)	(36.1)	(20.2)	(6.6)	(0.0)	(100.0)	
	17.3	54.6	25.4	2.7	0.0	100.0	
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(51.6)	(40.8)	(6.0)	(1.6)	(0.0)	(100.0)	
	21.1	60.5	17.3	1.1	0.0	100.0	
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(38.8)	(35.5)	(18.6)	(6.6)	(0.5)	(100.0)	
	9.7	56.8	24.3	9.2	0.0	100.0	
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(39.3)	(33.9)	(16.4)	(9.3)	(1.1)	(100.0)	
	10.3	56.8	25.4	4.9	2.7	100.0	
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(38.6)	(40.8)	(16.3)	(4.3)	(0.0)	(100.0)	
	10.3	58.4	25.9	3.2	2.2	100.0	
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(38.0)	(40.8)	(15.2)	(6.0)	(0.0)	(100.0)	
	13.0	60.0	21.6	3.2	2.2	100.0	
全質問項目の平均	平成27年度	(39.4)	(40.0)	(14.6)	(5.7)	(0.2)	(100.0)
	平成28年度	13.6	60.1	21.8	3.6	0.9	100.0

# 授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程  
高度実践助産コース

## ◆ 年度別 授業評価集計結果

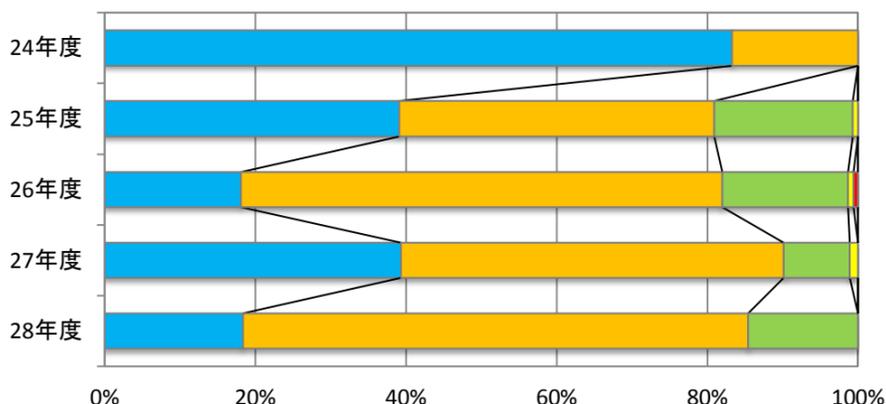
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
全科目数	28科目	28科目	31科目	33科目	31科目
調査対象者数（延人数）	178人	244人	205人	198人	221人
総回答数（回答率）	12枚（6.7%）	141枚（57.8%）	144枚（70.2%）	183枚（92.4%）	185枚（83.7%）

## ◆ 年度別・質問項目別 集計結果



Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

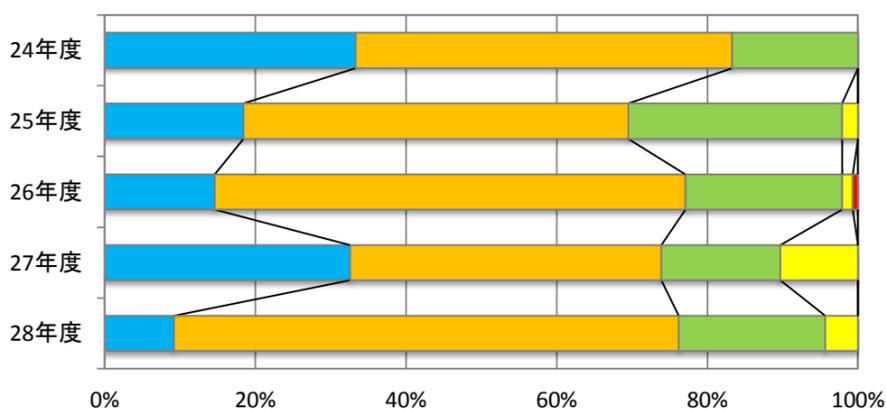
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	83.3	16.7	100.0	—
25年度	39.1	41.8	80.9	△ 19.1
26年度	18.1	63.9	82.0	+1.1
27年度	39.3	50.8	90.2	+8.2
28年度	18.4	67.0	85.4	△ 4.8

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

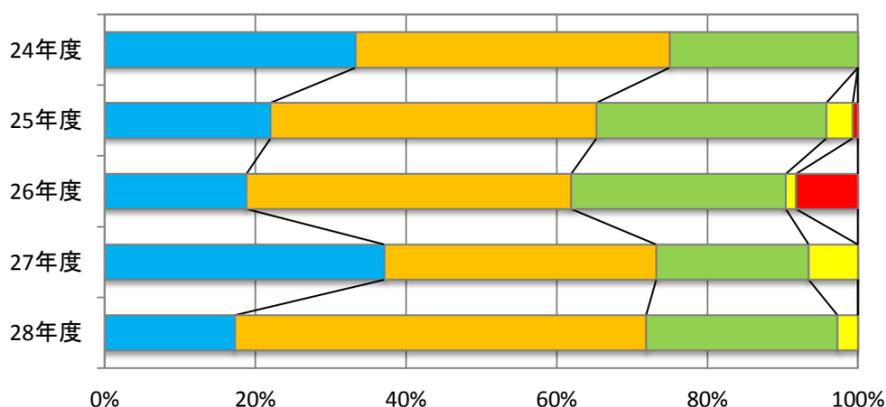
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	33.3	50.0	83.3	—
25年度	18.4	51.1	69.5	△ 13.8
26年度	14.6	62.5	77.1	+7.6
27年度	32.6	41.3	73.9	△ 3.2
28年度	9.2	67.0	76.2	+2.3

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

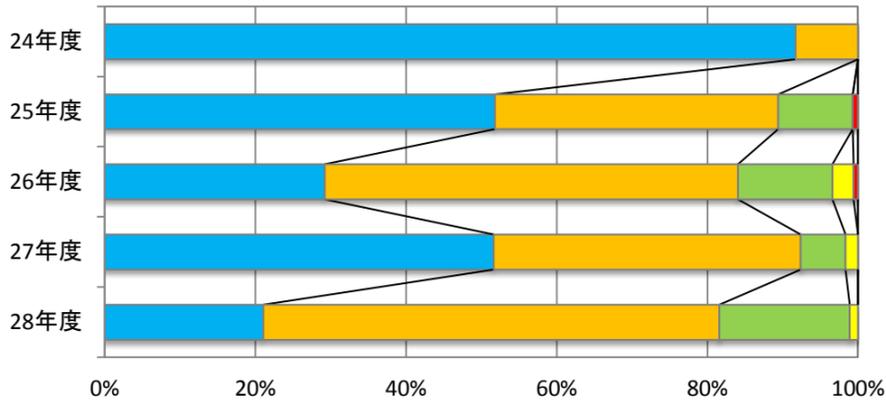
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	33.3	41.7	75.0	—
25年度	22.0	43.3	65.3	△ 9.7
26年度	18.8	43.1	61.9	△ 3.4
27年度	37.2	36.1	73.2	+11.3
28年度	17.3	54.6	71.9	△ 1.3

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。

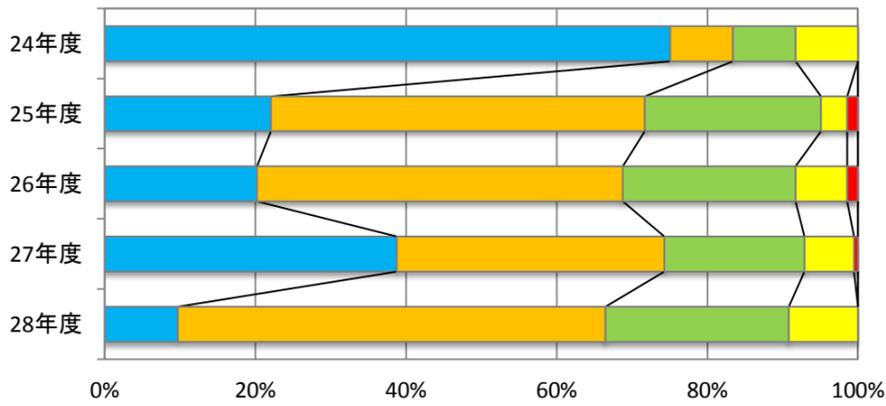
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	91.7	8.3	100.0	—
25年度	51.8	37.6	89.4	△ 10.6
26年度	29.2	54.9	84.1	△ 5.3
27年度	51.6	40.8	92.4	+8.3
28年度	21.1	60.5	81.6	△ 10.8

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。

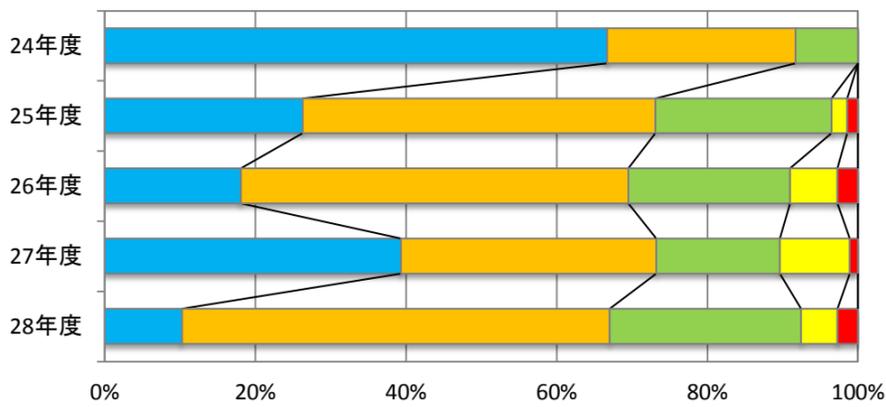
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	75.1	8.3	83.4	—
25年度	22.1	49.6	71.7	△ 11.7
26年度	20.2	48.6	68.8	△ 2.9
27年度	38.8	35.5	74.3	+5.5
28年度	9.7	56.8	66.5	△ 7.8

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。

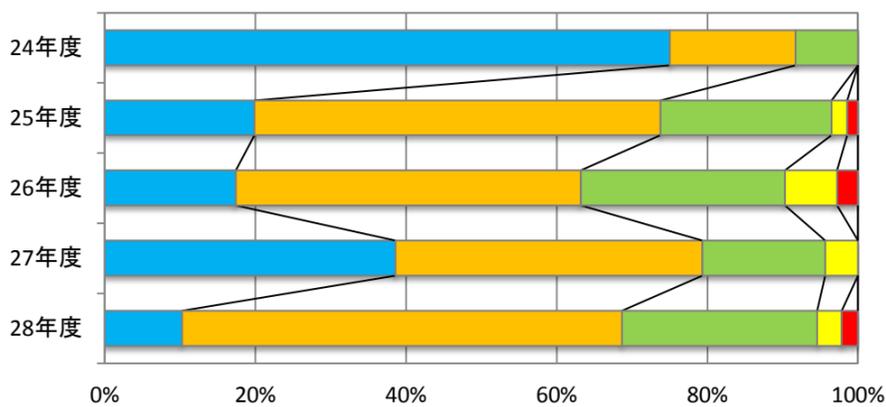
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	66.7	25.0	91.7	—
25年度	26.3	46.8	73.1	△ 18.6
26年度	18.1	51.4	69.5	△ 3.6
27年度	39.3	33.9	73.2	+3.7
28年度	10.3	56.8	67.1	△ 6.1

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

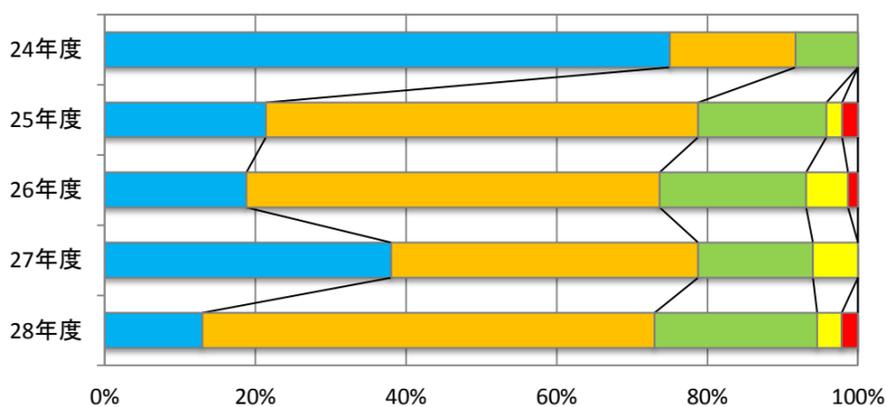
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	75.0	16.7	91.7	—
25年度	19.9	53.9	73.8	△ 17.9
26年度	17.4	45.8	63.2	△ 10.6
27年度	38.6	40.8	79.3	+16.1
28年度	10.3	58.4	68.7	△ 10.6

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。

(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	75.0	16.7	91.7	—
25年度	21.4	57.4	78.8	△ 12.9
26年度	18.8	54.9	73.7	△ 5.1
27年度	38.0	40.8	78.8	+5.1
28年度	13.0	60.0	73.0	△ 5.8

## 平成28年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程  
看護科学コース

※平成26年度設置

○全科目数 14科目

○調査対象者数 38人（延人数）

○総回答数 38枚（回答率100.0%）

### ◆ 質問項目別集計結果 【上段（ ）は平成27年度集計結果】

（%）

質 問 項 目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう 思わない	全くそう 思わない	計	
	5	4	3	2	1		
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(33.3)	(61.9)	(4.8)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	71.1	28.9	0.0	0.0	0.0	100.0	
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(19.0)	(71.4)	(9.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	36.8	44.7	18.4	0.0	0.0	100.0	
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(33.3)	(33.3)	(33.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	26.3	50.0	15.8	5.3	2.6	100.0	
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(47.6)	(52.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	63.2	31.6	5.3	0.0	0.0	100.0	
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(38.1)	(23.8)	(38.1)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	50.0	34.2	15.8	0.0	0.0	100.0	
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(38.1)	(33.3)	(28.6)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	52.6	34.2	13.2	0.0	0.0	100.0	
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(38.1)	(33.3)	(28.6)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	57.9	28.9	10.5	2.6	0.0	100.0	
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(42.9)	(33.3)	(23.8)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	55.3	34.2	10.5	0.0	0.0	100.0	
全質問項目の平均	平成27年度	(36.3)	(42.9)	(20.8)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	平成28年度	51.6	35.9	11.2	1.0	0.3	100.0

# 授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程  
看護科学コース  
※平成26年度設置

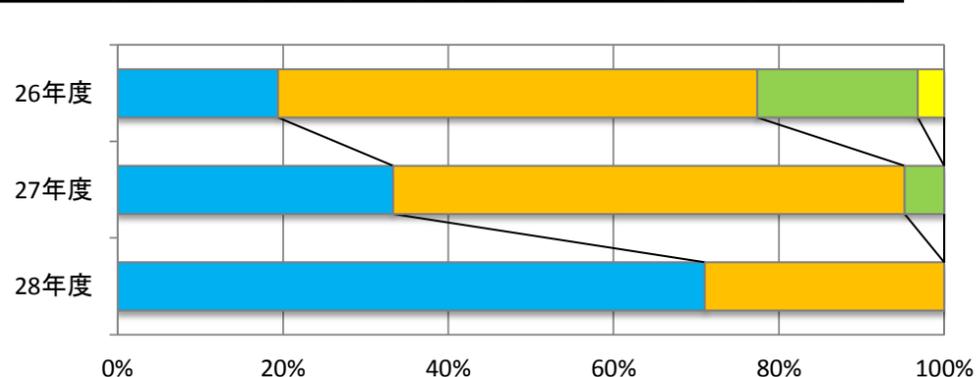
## ◆ 年度別 授業評価集計結果

	26年度	27年度	28年度
全科目数	12科目	12科目	14科目
調査対象者数（延人数）	36人	22人	38人
総回答数（回答率）	31枚（86.1%）	21枚（95.5%）	38枚（100.0%）

## ◆ 年度別・質問項目別 集計結果

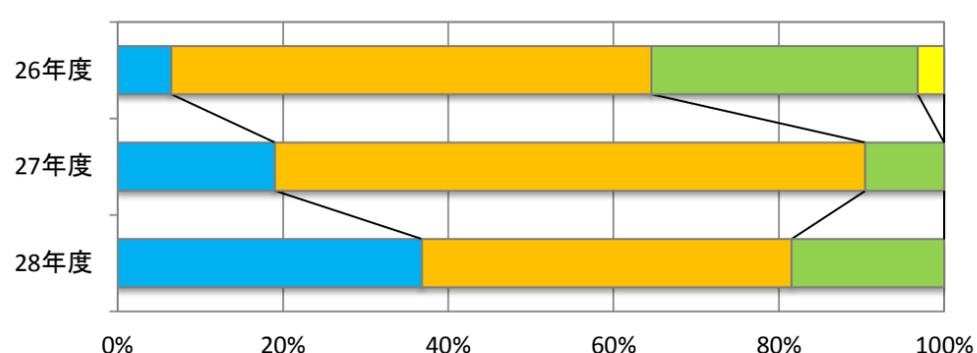


Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



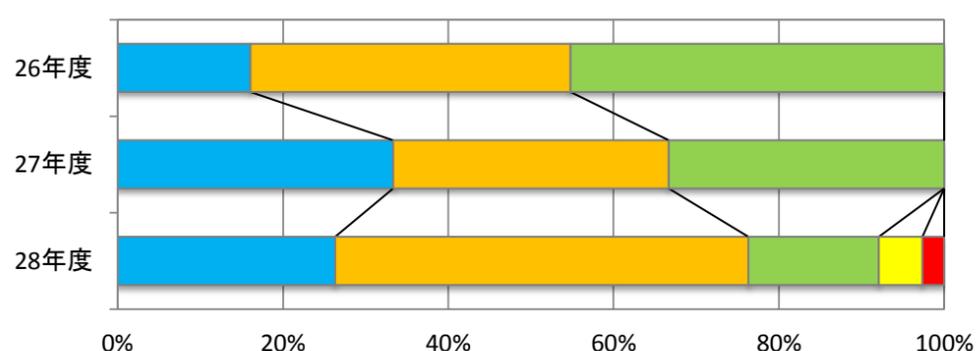
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	58.0	77.4	-
27年度	33.3	61.9	95.2	+17.8
28年度	71.1	28.9	100.0	+4.8

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



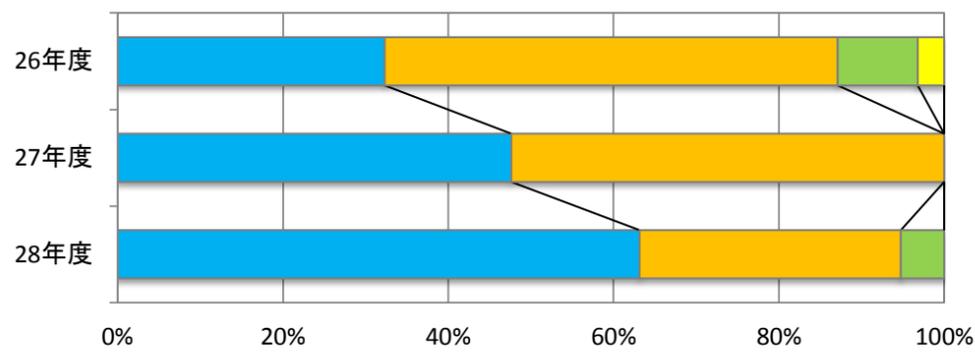
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	6.5	58.1	64.6	-
27年度	19.0	71.4	90.5	+25.9
28年度	36.8	44.7	81.5	△ 9.0

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



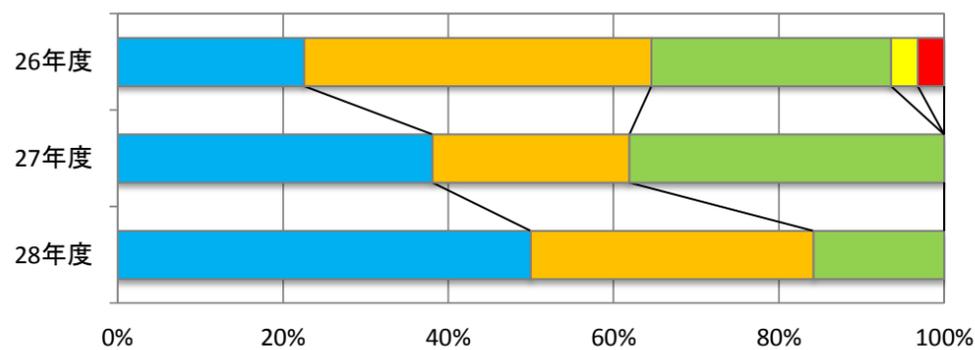
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	16.1	38.7	54.8	-
27年度	33.3	33.3	66.7	+11.9
28年度	26.3	50.0	76.3	+9.6

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



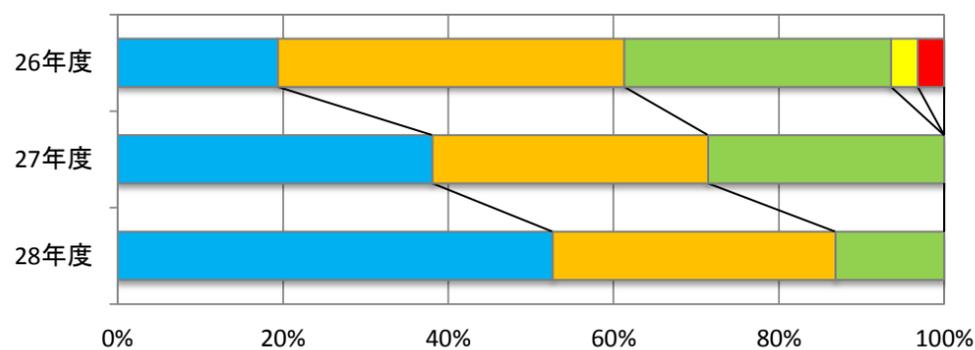
(%)				
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	32.3	54.8	87.1	-
27年度	47.6	52.4	100.0	+12.9
28年度	63.2	31.6	94.8	△ 5.2

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



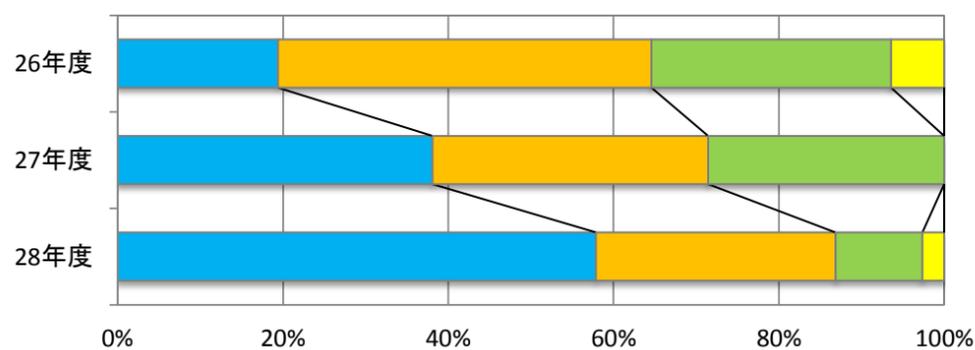
(%)				
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	22.6	42.0	64.6	-
27年度	38.1	23.8	61.9	△ 2.7
28年度	50.0	34.2	84.2	+22.3

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



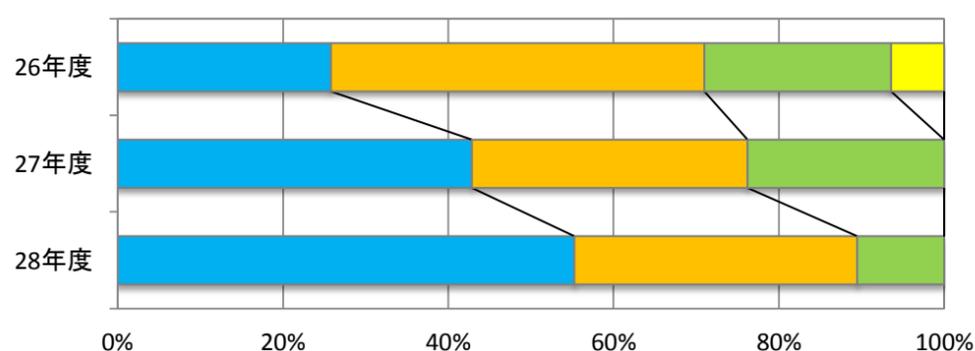
(%)				
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	41.9	61.3	-
27年度	38.1	33.3	71.4	+10.1
28年度	52.6	34.2	86.8	+15.4

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



(%)				
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	45.2	64.6	-
27年度	38.1	33.3	71.4	+6.8
28年度	57.9	28.9	86.8	+15.4

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



(%)				
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	25.8	45.2	71.0	-
27年度	42.9	33.3	76.2	+5.2
28年度	55.3	34.2	89.5	+13.3